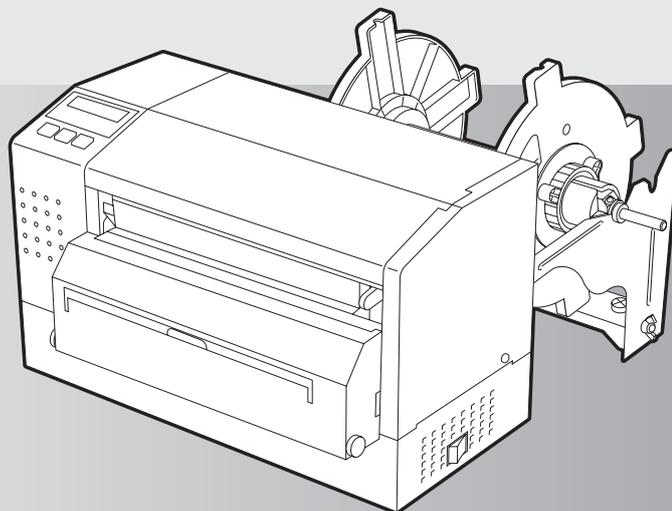


TEC

取扱説明書

テック ラベルプリンタ

B-857-TC35-CTY-R



- このたびは本機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- お使いになる前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ず読んで、正しくお使いください。
- お読みになったあとは本機のそばなど、いつも手元においてお使いください。

目次

▶ 安全上のご注意(安全にお使いいただくために)	3
▶ 本書の表記と公的規格等について	10
操作に関する表記	10
本書で使用しているマークの意味	10
重要なお知らせ	10
公的規格等について	11
▶ 仕様	12
本機の仕様	12
外形寸法	12
用紙の仕様	13
▶ 付属品の確認	14
▶ 各部の名前と働き	15
外観	15
内部	16
操作パネル	17
▶ 本機をお使いになる前の準備	18
設置場所について	18
用紙ダンパーの取り付け方	18
サプライスタンドを組み立てる	19
コンピュータと接続する	20
プリンタケーブルで接続する	20
シリアルケーブルで接続する	21
LANケーブルで接続する	21
USBケーブルで接続する	22
電源コードを接続する	23
▶ 電源のON/OFFについて	25
電源をONにする	25
電源をOFFにする	26
▶ 用紙の取り付け方	27
取付手順	27
▶ 用紙検出センサーの位置調整	33
反射/透過センサーの位置関係と検出方法	33
上反射センサーの位置を調整する	33
下反射センサーの位置を調整する	34
透過センサーの位置を調整する	34
▶ キー操作について	35
キー操作の流れ	36
インラインモードの機能	37
インラインモードの操作例	37
スレッシュホールドの設定(プリ印刷用紙)	38
リセット操作	40
各種パラメータ設定内容の変更	41
各種微調値設定内容の変更	50
受信バッファのダンプリスト出力	57
オートキャリブレーション設定	60
LAN有効/無効設定	62
RTC設定	63
システムモードの機能	65
システムモードの概要	65
自己診断	66
テスト印字	75
センサー表示/調整	83
RAMクリア	96
IPアドレス設定	90
ベーシック設定	95
▶ 日常のお手入れ	97
カバーの清掃	97
印字ヘッド/プラテンの清掃	98
用紙検出センサー部の清掃	99
カッターの清掃	99
▶ 困ったときは	101
エラーメッセージについて	101
正しく動作しないとき	103
用紙が詰まったとき	104
本機内部で詰まった場合	104
カッター内部で詰まった場合(オプション)	105
▶ 保証とアフターサービス(必ずお読みください) ..	106
▶ サービスステーション所在地一覧	107
▶ 用紙の交換方法	巻末

安全上のご注意(安全にお使いいただくために)

お買い上げいただきました製品(本機)および取扱説明書には、お使いになる方や他の人々への危害と財産の損害を未然に防ぎ、本機を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

■ 表示の意味



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および物的損害(※3)のみの発生が想定される内容を示しています。

※1: 重傷とは失明や、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例



注意

△は、注意(警告を含む)を促す事項を示しています。具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示しています。



分解禁止

⊘は、してはいけない行為(禁止事項)を示しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。



プラグを抜く

●は、必ずしてほしい行為(強制事項)を示しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。

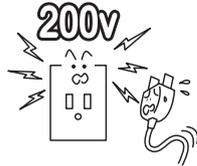
警告

交流100V以外では使用しないこと

火災・感電の恐れがあります。



100V以外禁止

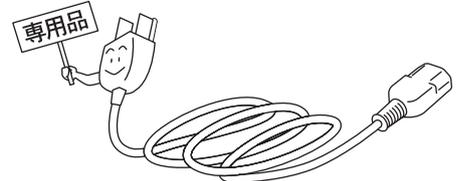


電源コードは本体付属品を使用すること

付属品以外の電源コードを使用すると、火災の恐れがあります。また、本機以外の機器に付属の電源コードを使用しないでください。



専用品使用

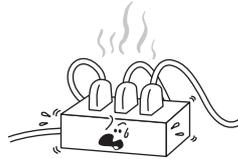


タコ足配線や延長コードを使用した配線はしないこと

電源容量を超えると、火災・感電の恐れがあります。



禁止

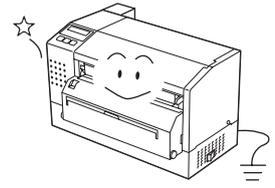


必ずアース(接地)すること

万一漏電した場合、火災・感電の恐れがあります。ただし、ガス管、水道管、蛇口、避雷針などにはアース(接地)を行わないでください。



アース接続する

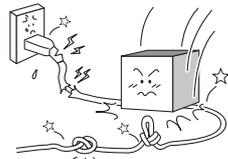


電源コードを無理に曲げたり、傷つけたり、引っぱったり、重い物を乗せたり、加熱したりしないこと

電源コードを傷つけると、火災・感電の恐れがあります。万一、電源コードを傷つけたときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。



禁止



濡れた手で本機を操作したり、電源プラグを抜き差ししないこと

濡れた手で操作すると、感電の恐れがあります。



ぬれ手禁止

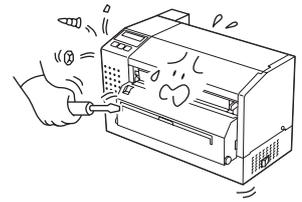


分解や改造、ご自身での修理はしないこと

火災・感電の恐れがあります。点検や修理については、お買い上げの販売店にご連絡ください。



分解禁止



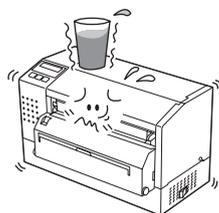
警告

本機の上に液体の入った容器やアクセサリなどの金属類を置かないこと

こぼれて中に入ると、火災・感電の恐れがあります。



禁止

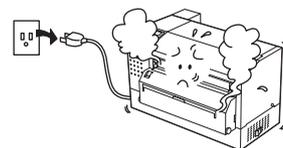


万一、煙が出たり変な臭いがしたときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡すること

そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。



プラグを抜く

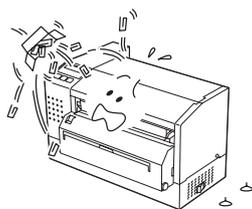


本機の内部にクリップなどの金属類、液体、燃えやすい物などを落としたり、差し込んだりしないこと

配線がショートし、火災・感電の恐れがあります。



禁止

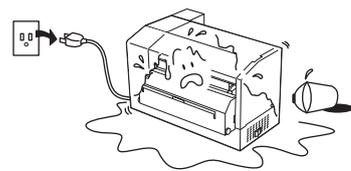


万一、異物(金属片・液体)が本機に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡すること

そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。



プラグを抜く

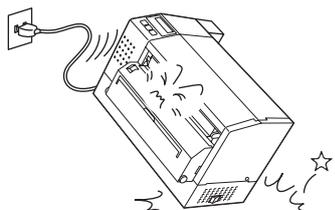


本機を落としたり、本機に強い衝撃を与えないこと

カバーなどが破損し、火災・感電の恐れがあります。



禁止

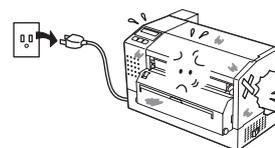


万一、本機を落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡すること

そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。



プラグを抜く

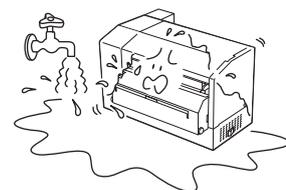


水がかかる場所で使用したり、水に濡らさないこと

火災・感電の恐れがあります。



水ぬれ禁止



⚠️ 注意

電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込むこと

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となることがあります。



確実に差し込む

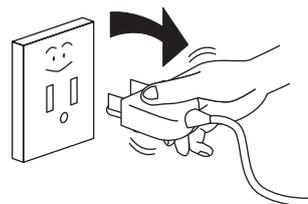


電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと

電源コードを引っばると、中の芯線が切れたり露出したりして、火災・感電の原因となることがあります。



プラグを持つ



電源プラグは年1回以上コンセントから抜き、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃すること

ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。



ほこりを取る

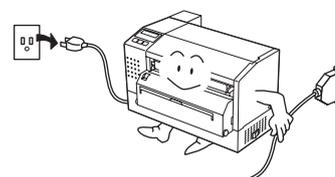


移動するときは、電源コードや他の接続コードを抜くこと

接続したまま移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



コードを抜く

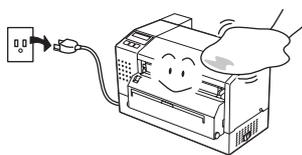


お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜くこと

感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

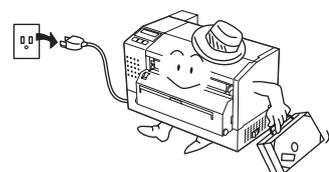


長期間使用しないときは安全のため、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くこと

火災の原因となることがあります。



プラグを抜く



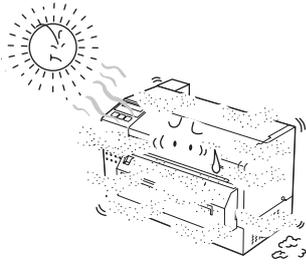
⚠️ 注意

湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる暑い場所に置かないこと

内部の温度が上がったり、絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

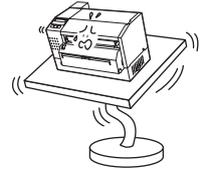


ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の多い場所に置かないこと

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

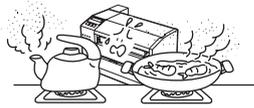


調理台や加湿器、熱器具のそばなど、油煙や湯気、熱が当たる場所に置かないこと

絶縁が悪くなったり、カバーや電源コードの被膜が溶け、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

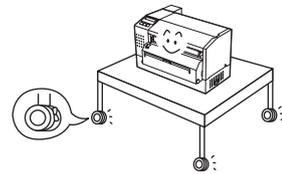


本機をキャスター付きの台に設置したときは、必ずキャスター止めをすること

動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



キャスターを止める

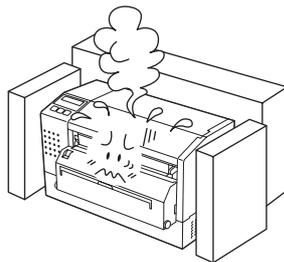


通風口をふさがないこと

通風口をふさぐと内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



禁止

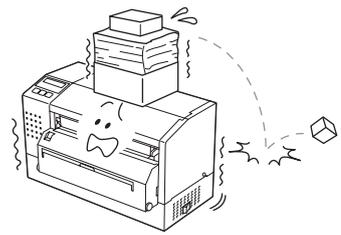


本機の上に重い物を置かないこと

置いた物がバランスを崩して倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



禁止



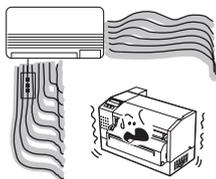
⚠️ 注意

冷気が直接当たる場所に本機を置かないこと

露がつき、火災・感電の原因となることがあります。



禁止



本機を子供に使わせたり、幼児の手の届くところに置かないこと

感電・けがの原因となることがあります。



禁止

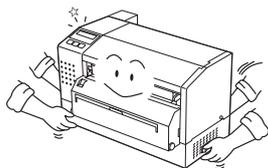


本機を移動するときは、必ず2人以上で行うこと

1人で移動しようとする、けがの原因となることがあります。



強制

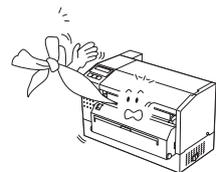


用紙・リボン・インクロールなどの消耗品を交換するときは、プリンタのギアなどに髪の毛やスカーフ、ネクタイを巻き込まれないこと

けがの原因となることがあります。



注意

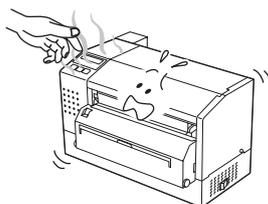


プリンタのヘッド部周辺は高温になっている場合があるので、消耗品の交換時などに手を触れないこと

やけどの原因となることがあります。



高温注意

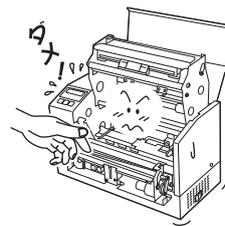


カッターの刃には手を触れないこと

けがの原因となることがあります。



接触禁止

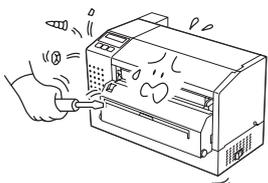


取扱説明書で指定する箇所以外のカバーの開閉、点検、清掃、消耗品の交換などはしないこと

感電・けがの原因となることがあります。



禁止



シンナーやベンジン、可燃性ガスを使用したクリーナーなどで本機を清掃しないこと

火災の原因となることがあります。



禁止



お願い

本機を正しくお使いいただくために、次のことを守ってください。守らないと、故障・誤動作・破損の原因となります。

<p>●急激な温度変化を与えないでください。 結露が生じ、故障・誤動作の原因となります。</p>	 禁止
<p>●ほこりの多いところ、振動が強いところに置かないでください。 故障・誤動作の原因となります。</p>	 禁止
<p>●直射日光の当たるところ、熱器具や調理台のそば、水や油煙のかかるところには置かないでください。 故障・誤動作・破損・変形の原因となります。</p>	 禁止
<p>●磁石やスピーカーなど、磁気を発するものの近くに置かないでください。 故障・誤動作の原因となります。</p>	 禁止
<p>●テレビやラジオの近くでは使用しないでください。 電波妨害を引き起こす原因となります。</p>	 禁止
<p>●本機を落としたりぶついたり、本機に強い衝撃を与えないでください。 故障・誤動作・破損・変形の原因となります。</p>	 禁止
<p>●お手入れをするときは、シンナーやベンジンなどの薬品類を使用しないでください。 変質・変形・変色・故障の原因となります。</p>	 禁止
<p>●印字した用紙の表面を先の尖ったものでこすったり、火を近づけたり、水をかけたり、薬品・溶剤等で拭かないでください。 印字内容の判読不能の原因となります。印字面の堅牢性を確認の上、適切な方法で取り扱ってください。</p>	 禁止
<p>●当社指定の用紙やリボンを使用してください。 当社指定品以外の用紙やリボンを使用すると、印字品質への悪影響や故障の原因となります。</p>	 専用品使用
<p>●用紙やリボンなどの消耗品は、室温で適度な湿度のところに保管してください。 直射日光の当たるところ、高温で多湿なところに保管すると、変質・変色の原因となります。また、変質・変色した用紙やリボンを使用すると、印字品質への悪影響や故障の原因となります。</p>	 禁止
<p>●オプション類は当社純正品(指定品)を使用してください。 当社純正品(指定品)以外を使用すると、故障・誤動作の原因となります。</p>	 指定品使用

本書の表記と公的規格等について

操作に関する表記

● キーの表記

本機のキーは次のように表記します。



● ランプの表記

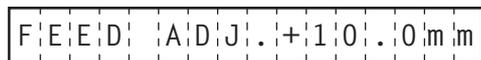
本機のランプは、状態によって次のように表記します。

●:消灯 ○:点灯 ◎:点滅

● 液晶表示部の表記

キー操作の説明で液晶表示部の表示と連動するところは、操作内容と表示例を表記します。

例)



① フィード量微調設定

 または  で設定します。

②  キーを押します。

本書で使用しているマークの意味

お願い :できないこと、してはいけないこと、注意していただきたい情報を記述しています。

補足 :知っていると便利なことや補足情報を記述しています。

(→) :詳しい説明のある項目やページを記述しています。

例)(→『困ったときは』) (→P.101)

重要なお知らせ

- 本機をお使いになるときは、必ず本書に従ってください。本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 製品本来の使用目的以外に使用して生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しております。万一、ご不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
- 本機(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格などには適合していません。本機を日本国外で使用された場合、当社は責任を負いかねます。また、当社は本機に関する日本国外での保守サービス、および技術サポートなどは行っていません。
- 本書に記載している会社名、商品名は、各社の登録商標または商標になっている場合があります。

公的規格等について

⚡無線機器(テレビ・ラジオ)の近くでは使用しないでください⚡

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

高調波電流規格 JIS C61000-3-2 適合品

本機はRoHS^{*}指令に対応しています。

※RoHS : Restriction of the use of certain Hazardous Substances

EU(欧州連合)加盟国では、コンピュータや通信機器、家電などの電気・電子製品中に特定有害物質(6物質群)の使用禁止を定めたRoHS指令が2006年7月から施行されました。

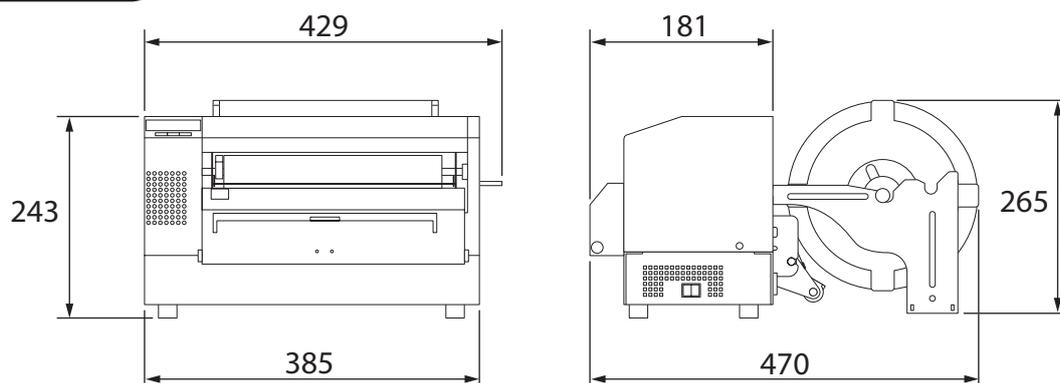
対象となる特定有害物質: 鉛、六価クロム、水銀カドミウム、
ポリ臭化ビフェニル類、ポリ臭化ジフェニルエーテル類

仕様

本機の仕様

項目		仕様
型式		B-857-TC35-CTY-R
定格電源		交流100V±10% 50/60Hz
消費電力		印字中:162W 待機中:12W
使用温度範囲		5～40℃
使用湿度範囲		25～85% (ただし、結露しないこと)
印字方式		感熱方式(熱直接発色)
印字ヘッド密度		11.8ドット/mm (300dpi)
印字速度		50.8mm (2インチ) /秒または101.6mm (4インチ) /秒……切換式
発行モード		連続発行/カット発行
表示方式		液晶ドットマトリックス 16桁×1行
表示文字		英字、数字、カタカナ、記号
有効印字幅		最大216.8mm
印字可能文字種	英/数/カナ	タイムスローマン、ヘルベチカ、プレゼンテーション、レターゴシック、プレステージエリート、クーリエ、OCR-A、OCR-B
	漢字	16×16、24×24、36×36、48×48 (角ゴシック)、24×24、32×32 (明朝)
	外字	16×16、24×24、36×36、48×48ドット…各1種、フリーサイズ…最大41種
	その他	アウトラインフォント…4種、価格フォント…3種
印字可能バーコード		JAN8/13、EAN8/13/128、UPC-A/E、NW-7、CODE39(スタンダード/フルアスキー)/93/128、ITF、MSI、インダストリアル2of5、RM4SCC、KIX code、POSTNET、カスタマーバーコード、GS1 DataBar
印字可能二次元コード		データコード、PDF417、QRコード、Maxi code、Micro PDF417、CPコード
インターフェース		シリアルポート×1 (RS-232C準拠)…………… D-Sub 9ピン パラレルポート×1 (セントリクス準拠)…………… ソフトウェア 36ピン USBポート×1 (USB V1.1準拠/V2.0フルスピード対応) LANポート×1 (10BASE-T/100BASE-TX準拠)
質量		約15.6kg
オプション(別売)		外置きサプライホルダー (B-7908-PH-R) 拡張I/Oボード(B-SA704-IO-QM-R)

外形寸法



(単位:mm)

用紙の仕様

用紙には熱直接発色タイプのラベルとタグがあります。

用紙は当社認定の純正品をご使用ください。

用紙のご用命および用紙の作成につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

項目		種類	ラベル	タグ
用紙長さ(ピッチ)	連続発行		15 ~ 640mm	
	カット発行		38 ~ 640mm	25.4 ~ 640mm
用紙幅(台紙含む)	連続発行		70 ~ 242mm	
	カット発行		70 ~ 235mm	
ギャップ長(黒マーク長)			2 ~ 20mm	2 ~ 10mm
黒マーク幅			—	10mm以上
厚さ(台紙含む)			0.13 ~ 0.18mm	0.08 ~ 0.18mm
最大ロール径			230mm	
紙管の内径			38,40,42,76.2±0.3mm(標準)	
巻き方向			内巻き	

お願い

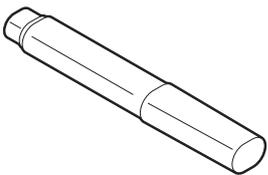
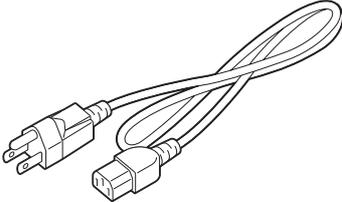
- ・ 用紙は高温、多湿をきらいますので、涼しい場所に保管してください。
- ・ 用紙にホコリや紙粉が付かないように気を付けてください。
- ・ 用紙の詳細につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

補足

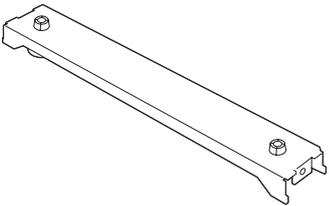
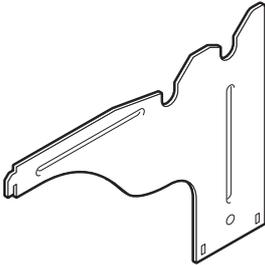
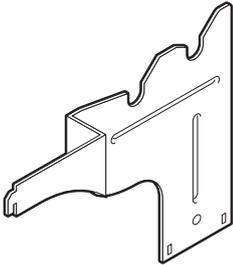
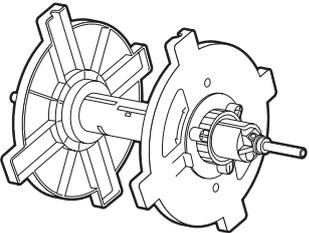
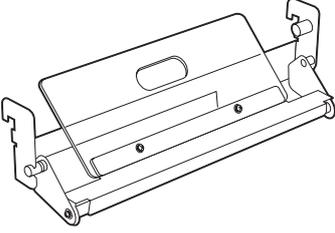
- ・ 当社認定品以外の用紙を使用して印字した結果につきましては、本体も含めて保証の範囲外とさせていただきます。
- ・ 紙管の内径は76.2±0.3mmが標準です。紙管の内径が38,40,または42±0.3mmの用紙を使用する場合は、左右のサプライホルダーからスペーサーを取り外してください。(→『P.27』)

付属品の確認

付属品がすべて揃っているか確認してください。万一、不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。なお、コンピュータと接続する通信ケーブルは付属していません。通信ケーブルの詳細につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

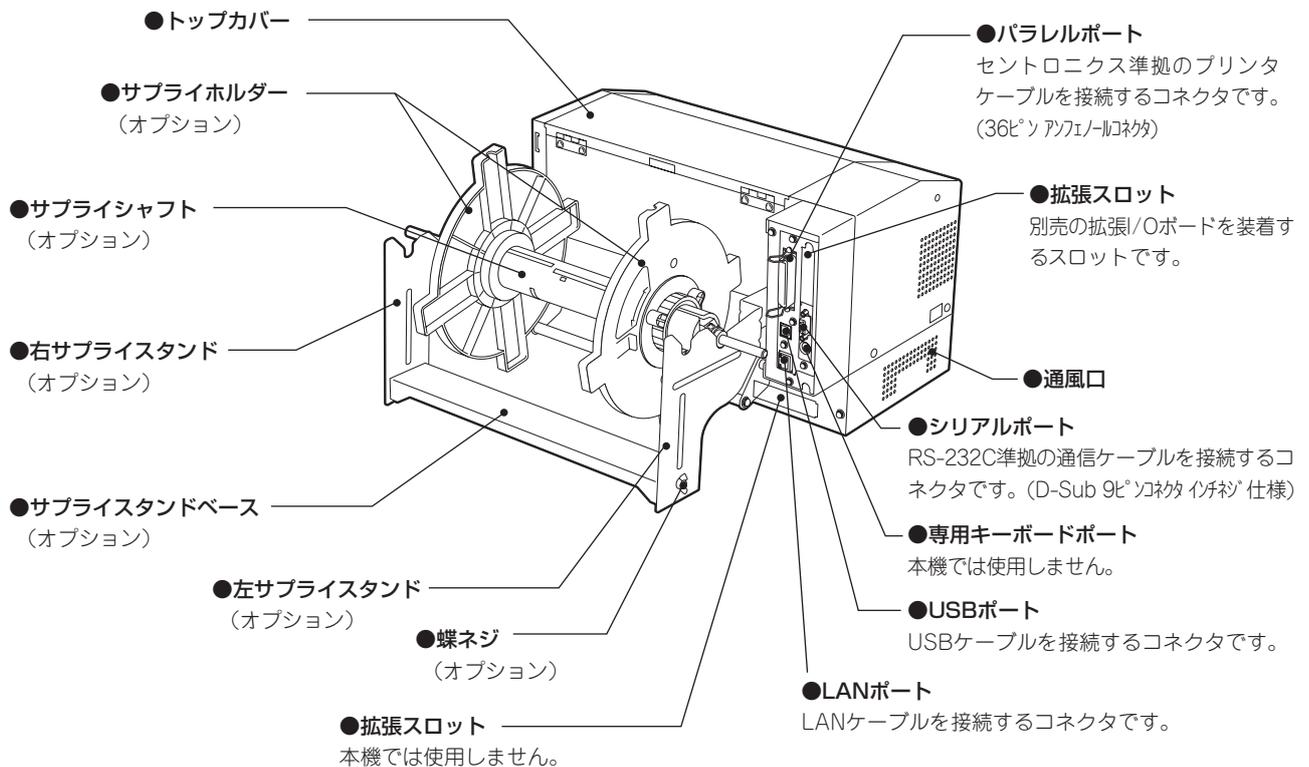
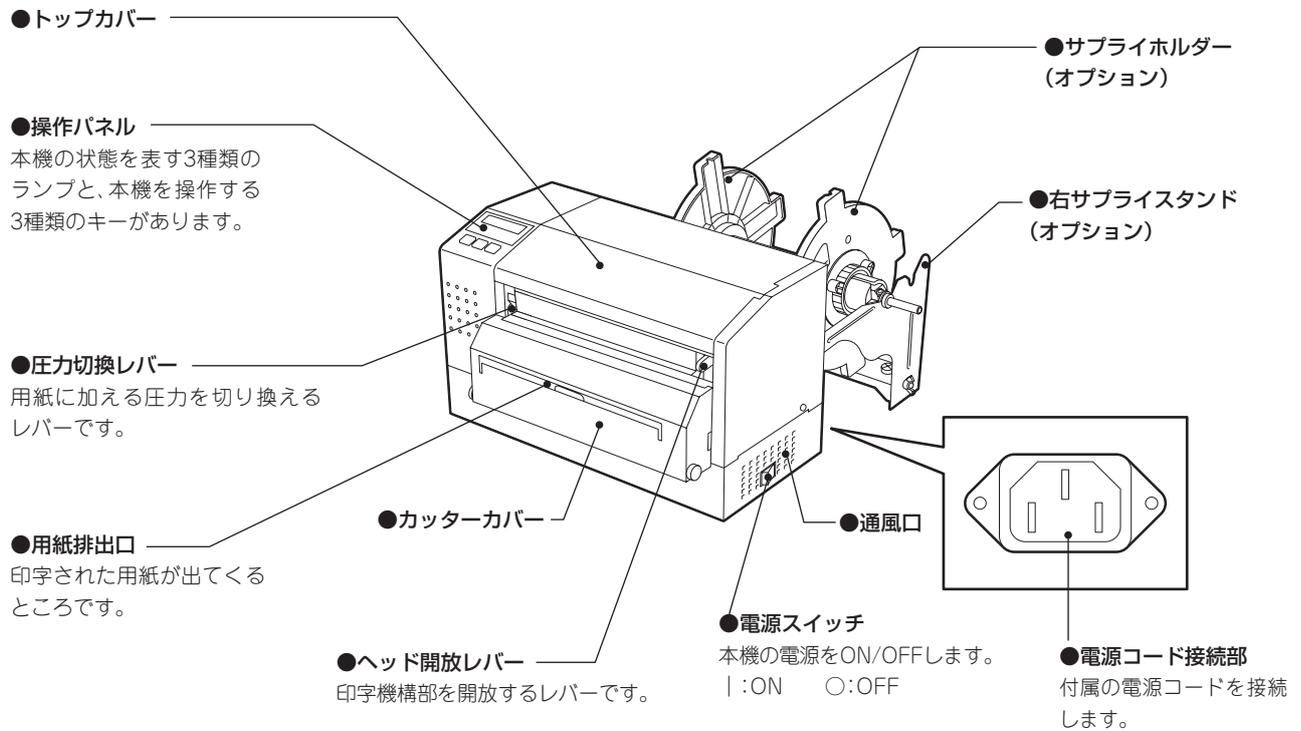
<p>●ヘッドクリーナーペン(1個)</p> 	<p>●電源コード(1本)</p> 	<p>●取扱説明書(本書) ●保証書</p> 
--	---	--

下記付属品はオプション「外置きサプライホルダー」に付属しています。

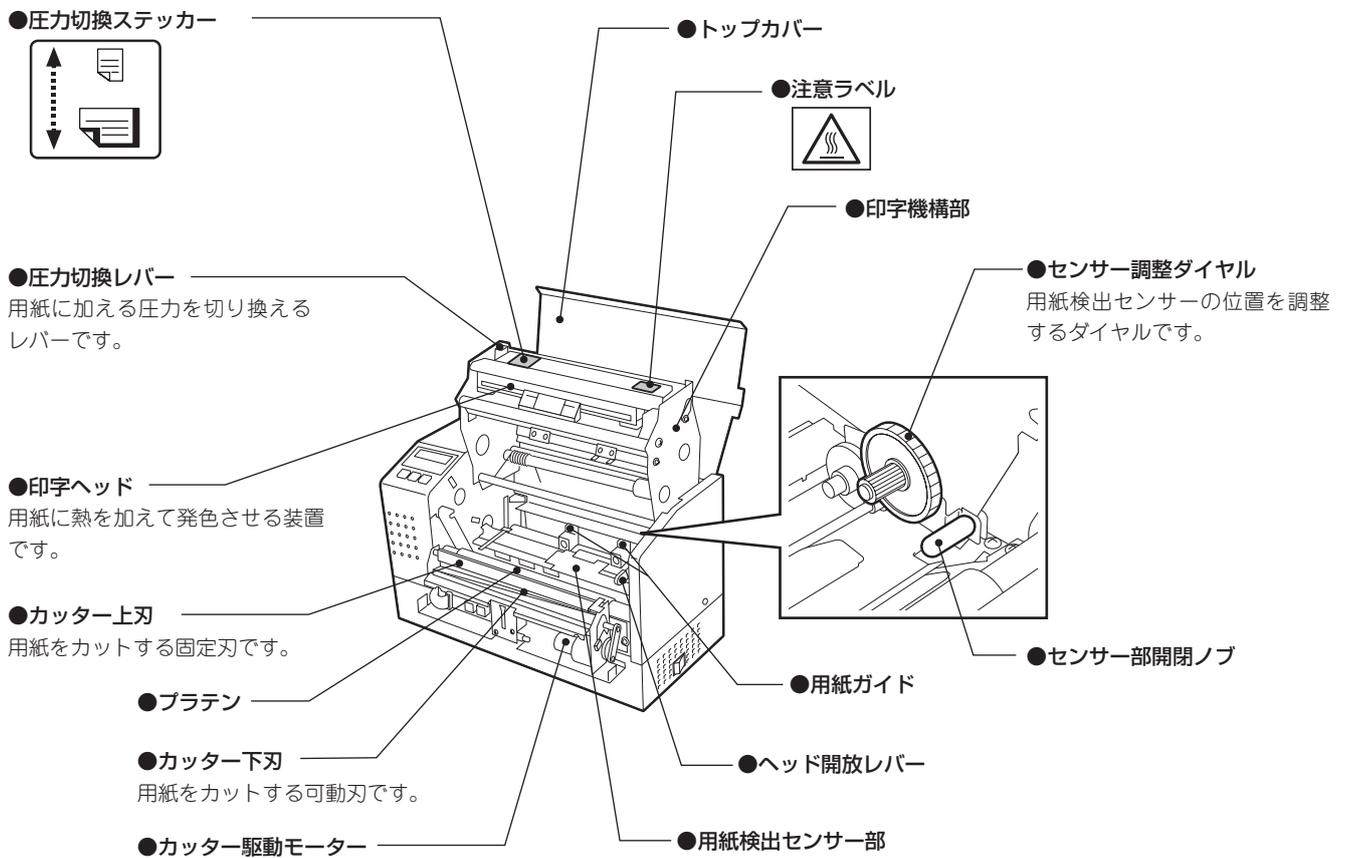
<p>●サプラスタンドベース(1個)</p> 	<p>●右サプラスタンド(1個)</p> 	<p>●左サプラスタンド(1個)</p> 
<p>●サプラホルダーユニット(1個)</p> 	<p>●用紙ダンパー (1個)</p> 	<p>●蝶ネジ(2個)</p> 

各部の名前と働き

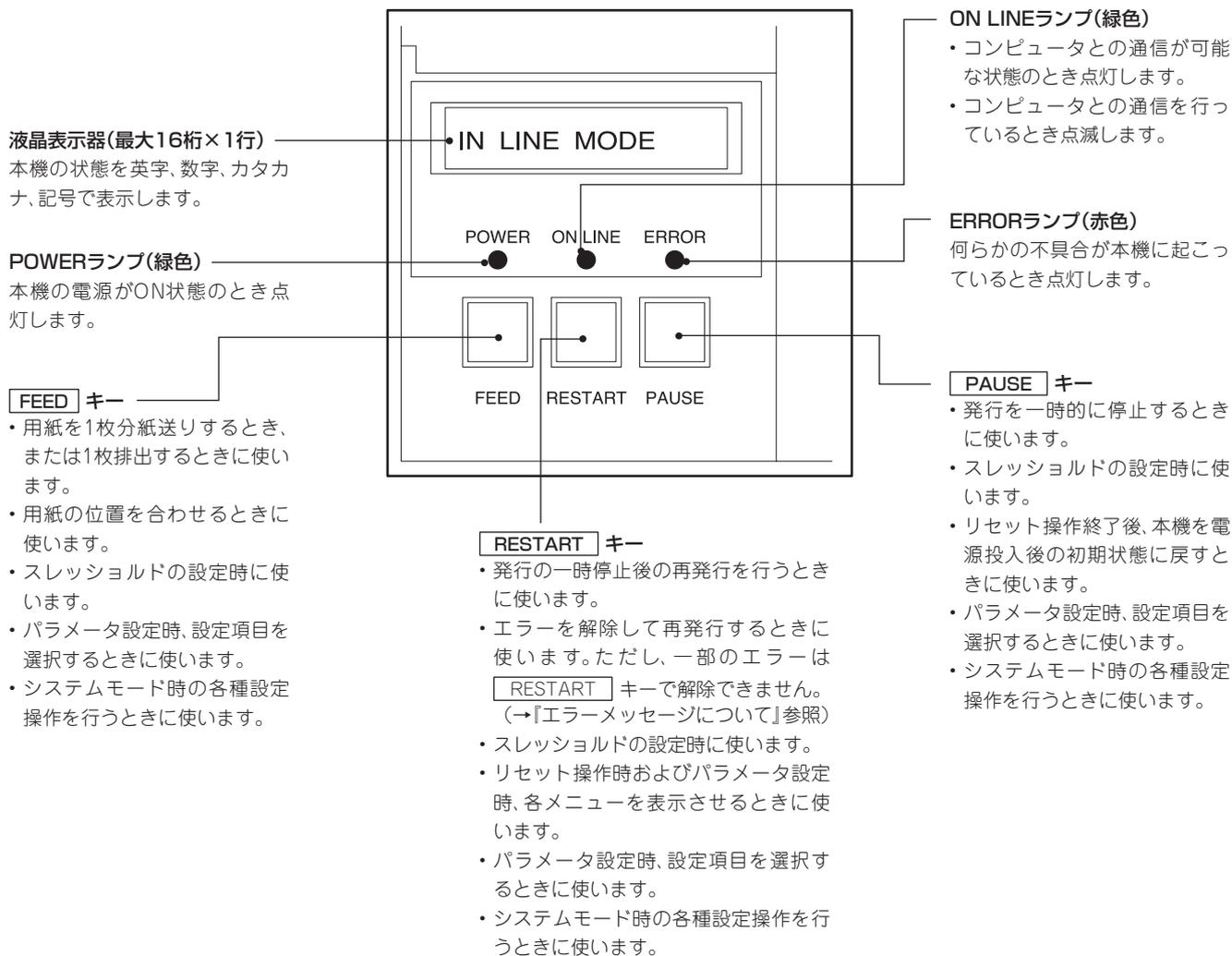
外観



内部



操作パネル



液晶表示器(最大16桁×1行)
本機の状態を英字、数字、カタカナ、記号で表示します。

POWERランプ(緑色)
本機の電源がON状態のとき点灯します。

FEED キー

- 用紙を1枚分紙送りするとき、または1枚排出するときに使います。
- 用紙の位置を合わせるときに使います。
- スレッシュホールドの設定時に使います。
- パラメータ設定時、設定項目を選択するときに使います。
- システムモード時の各種設定操作を行うときに使います。

RESTART キー

- 発行の一時停止後の再発行を行うときに使います。
- エラーを解除して再発行するときに使います。ただし、一部のエラーは **RESTART** キーで解除できません。(→『エラーメッセージについて』参照)
- スレッシュホールドの設定時に使います。
- リセット操作時およびパラメータ設定時、各メニューを表示させるときに使います。
- パラメータ設定時、設定項目を選択するときに使います。
- システムモード時の各種設定操作を行うときに使います。

ON LINEランプ(緑色)

- コンピュータとの通信が可能な状態のとき点灯します。
- コンピュータとの通信を行っているとき点滅します。

ERRORランプ(赤色)
何らかの不具合が本機に起こっているとき点灯します。

PAUSE キー

- 発行を一時的に停止するときに使います。
- スレッシュホールドの設定時に使います。
- リセット操作終了後、本機を電源投入後の初期状態に戻すときに使います。
- パラメータ設定時、設定項目を選択するときに使います。
- システムモード時の各種設定操作を行うときに使います。

本機をお使いになる前の準備

ここでは本機の設置、ダンパーの取り付け方、サプライススタンドの組み立て方、コンピュータとの接続、および電源コードの接続について説明します。

設置場所について

操作するための十分なスペースが確保でき、風通しが良く、平坦で水平な場所に本機を設置してください。

また本機の周辺には、右図のような空間を確保してください。

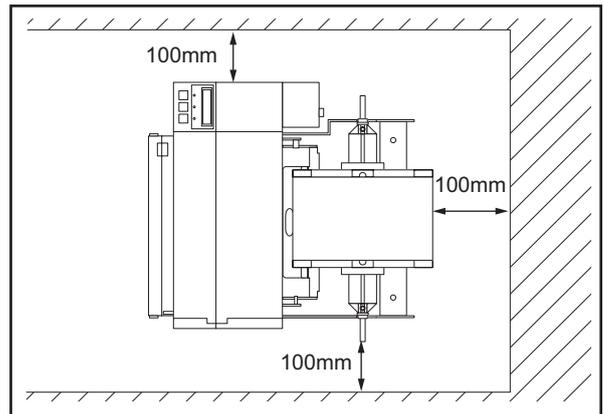
注意

• 次のような場所には設置しないこと

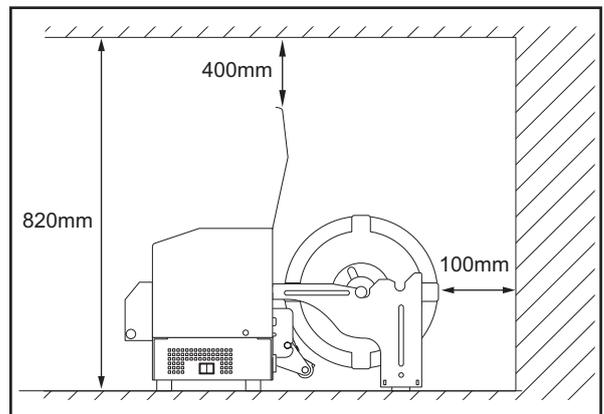
- ・直射日光が当たる場所
- ・高温、多湿な場所
- ・急激な温度変化がある場所
- ・振動のある場所
- ・ほこりが多い場所
- ・磁気や電磁波を発生する機器の近く
- ・火気や水気に近い場所
- ・不安定な台の上

火災・感電・けがの原因となることがあります。

【上から見た図】



【横から見た図】



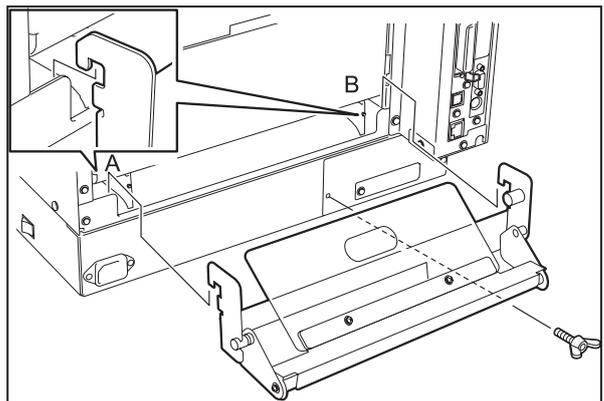
用紙ダンパーの取り付け方

用紙ダンパーは、次の手順で本機の後部に取り付けてください。

- 1 本機後部の蝶ネジを外します。
- 2 用紙ダンパーのフックを用紙挿入口左右の板金部(A、B)に引っ掛け、手順1で外した蝶ネジで固定します。

お願い

- 取付時に用紙ダンパーを変形させないでください。印字不要の原因となります。



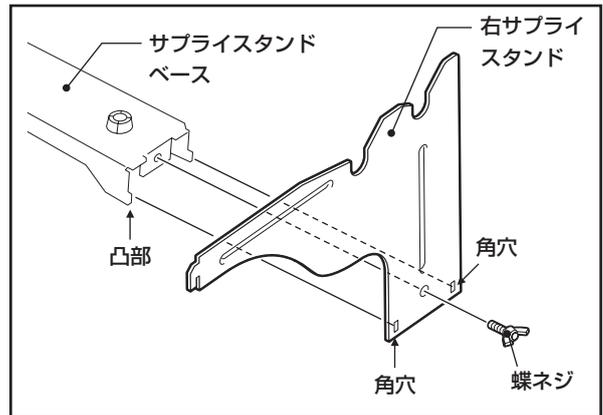
サプライスタンドを組み立てる

サプライスタンドは次の手順で組み立て、本機の後部に取り付けてください。

- 1 右サプライスタンドの角穴にサプライスタンドベースの凸部を合わせ、付属の蝶ネジでサプライスタンドをしっかりと固定します。

補足

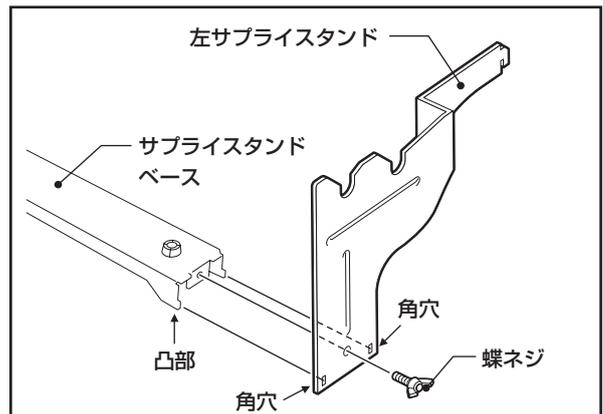
- サプライスタンドベースに前後左右はありません。



- 2 同様に左サプライスタンドを付属の蝶ネジでしっかりと固定します。

お願い

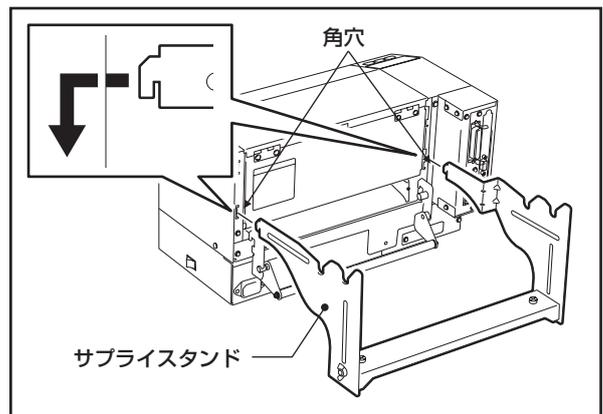
- サプライスタンドは、同じ方向に向くように組み立ててください。



- 3 組み立てたサプライスタンドは、本機後部の取付穴に正しく取り付けます。

補足

- 取付穴に正しく取り付けないと、用紙の蛇行や紙送り不良の原因となります。

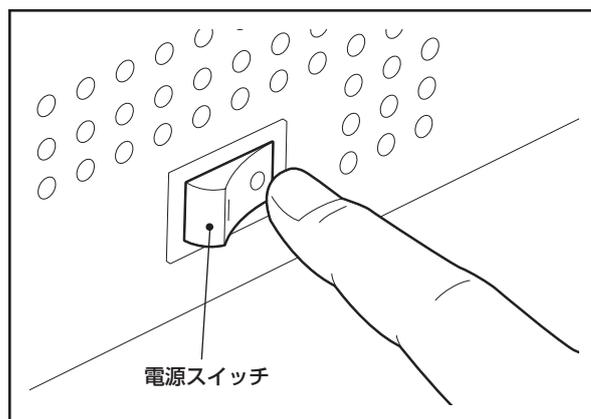


コンピュータと接続する

コンピュータとの通信方法により、使用する通信ケーブルが異なります。
詳細はお買い上げの販売店にご相談ください。

プリンタケーブルで接続する

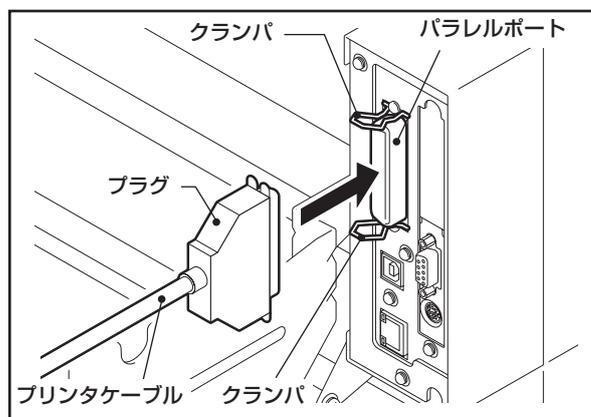
- 1 本機の電源スイッチがOFFになっていることを確認します。(○)側がOFFです。



- 2 プリンタケーブルのプリンタ側プラグを、本機後部のパラレルポートに接続し、クランプで固定します。

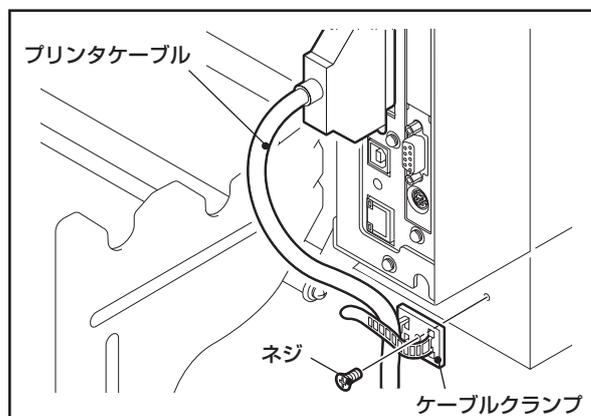
お願い

- プリンタケーブルはIEEE1284準拠のものをご使用ください。



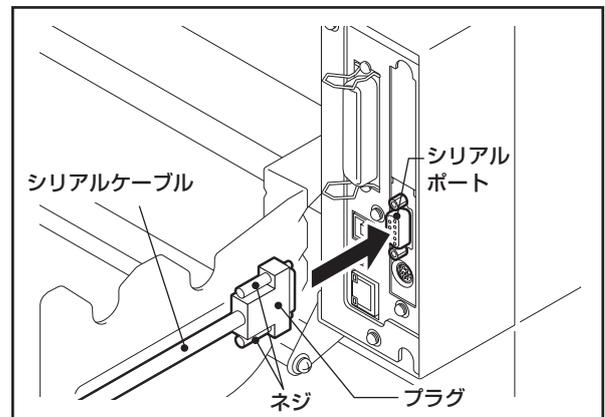
- 3 付属のケーブルクランプを本機に取り付け、右図のようにプリンタケーブルを固定します。

- 4 プリンタケーブルのコンピュータ側プラグを、コンピュータのプリンタポートに接続します。
(→『コンピュータの取扱説明書』)



シリアルケーブルで接続する

- 1 本機の電源スイッチがOFFになっていることを確認します。(○)側がOFFです。
- 2 シリアルケーブルのプリンタ側プラグを、本機後部のシリアルポートに接続し、ネジでプラグを固定します。
- 3 シリアルケーブルのコンピュータ側プラグを、コンピュータのシリアルポートに接続します。
(→『コンピュータの取扱説明書』)



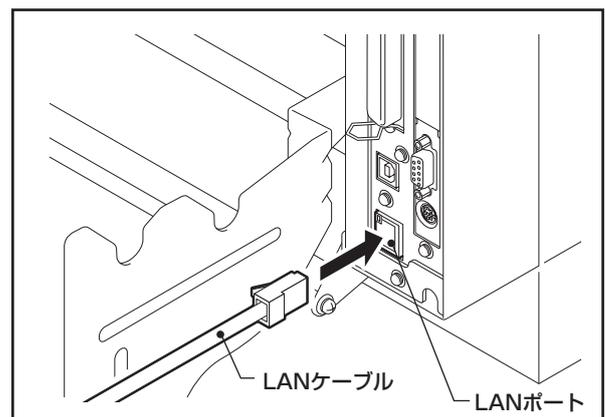
LANケーブルで接続する

- 1 本機後部のLANポートに、LANケーブルのコネクタを接続します。

補足

- 本機およびコンピュータの電源をOFFにする必要はありません。

- 2 LANケーブルのも一方のコネクタを、コンピュータのLANポートに接続します。
(→『コンピュータの取扱説明書』)

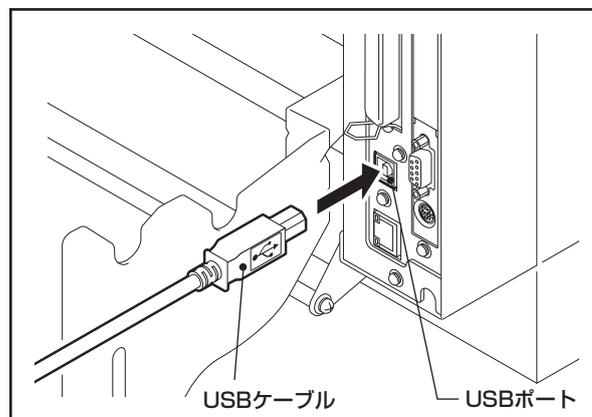


お願い

- LANケーブルは、規格に合ったものをご使用ください。
 10BASE-T規格 : カテゴリー 3 以上
 100BASE-TX規格 : カテゴリー 5 以上
 ケーブル長 : セグメント長最大100mまで
- 接続するLAN環境やノイズ環境によっては、通信エラーが起こる場合があります。その場合は、シールドケーブル(STP)や接続機器のマッチングが求められることがあります。

USBケーブルで接続する

- 1 コンピュータの電源をONにし、Windowsシステムを起動しておきます。
- 2 本機の電源スイッチをONにします。
(|)側がONです。
- 3 本機後部のUSBポートに、USBケーブルのコネクタを接続します。
- 4 USBケーブルのもう一方のコネクタを、コンピュータのUSBポートに接続します。
(→『コンピュータの取扱説明書』)



お願い

- USBケーブルはV1.1以上の規格品で、本機側に接続するコネクタがBタイプのものでご使用ください。
- 本機とコンピュータを接続しているUSBケーブルを取り外すときは、コンピュータの「ハードウェアの安全な取り外し」等に従って取り外してください。

電源コードを接続する

付属の電源コードは、次の手順でコンセントに接続してください。

また、電源プラグにはアース線が付いていますので、必ずアース端子に接続してください。



警告

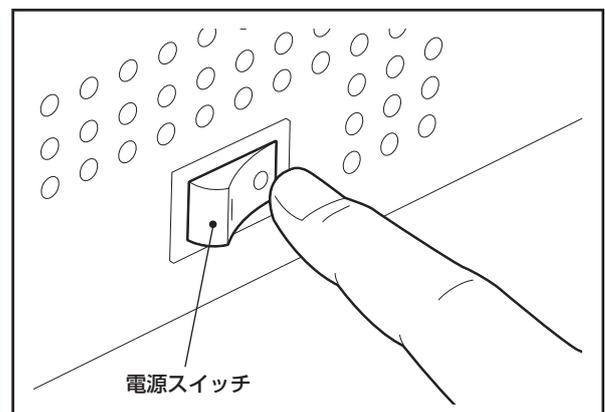
- **交流100V以外のコンセントに差し込まないこと**
火災・感電の恐れがあります。
- **電源コードは本体付属品を使用すること**
付属品以外の電源コードを使用すると、火災の恐れがあります。また、本機以外の機器に付属の電源コードを使用しないでください。
- **たこ足配線や延長コードを使用した配線はしないこと**
電源容量を超えると、火災・感電の恐れがあります。
- **電源コードは無理に曲げたり、傷つけたり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、加熱したりしないこと**
電源コードを傷つけると、火災・感電の恐れがあります。万一、電源コードを傷つけたときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。
- **アース線は必ずアース端子に接続すること**
万一漏電した場合、火災・感電の恐れがあります。ただし、事故や故障の原因になることがありますので、ガス管、水道管、蛇口、避雷針などには接続しないでください。
- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと**
濡れた手で抜き差しすると、感電の恐れがあります。



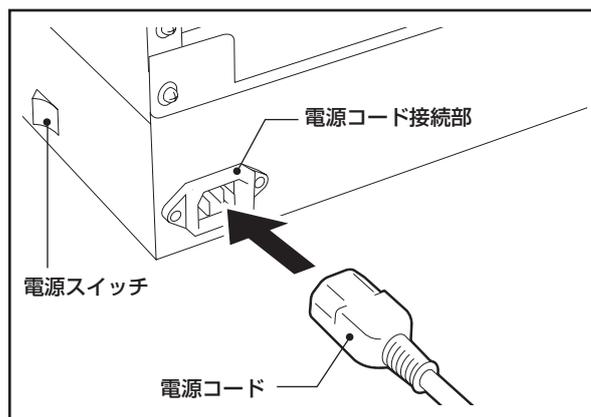
注意

- **本機の電源スイッチがON状態のとき、電源コードを接続しないこと**
ON状態で接続すると、感電・ショートの原因となることがあります。
- **電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込むこと**
確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となることがあります。
- **電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと**
電源コードを引っばると、中の芯線が切れたり露出したりして、火災・感電の原因となることがあります。
- **電源プラグは年1回以上コンセントから抜き、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃すること**
ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

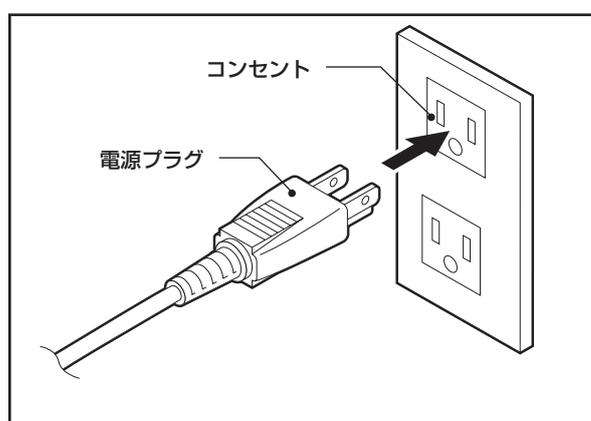
- 1 本機の電源スイッチがOFFになっていることを確認します。(○)側がOFFです。



- 2 本機後部の電源コード接続部に電源コードを接続します。



- 3 電源プラグを根元まで確実にコンセントに差し込みます。

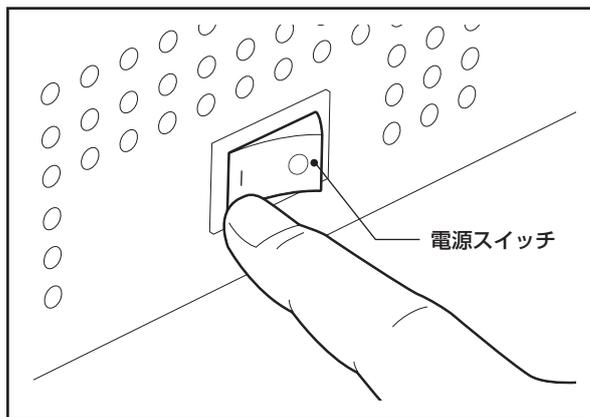


電源のON/OFFについて

本機は、電源ON時に印字ヘッドやメモリーのチェックを行います。また、電源OFF時にはメモリー内のデータを消去します。

電源をONにする

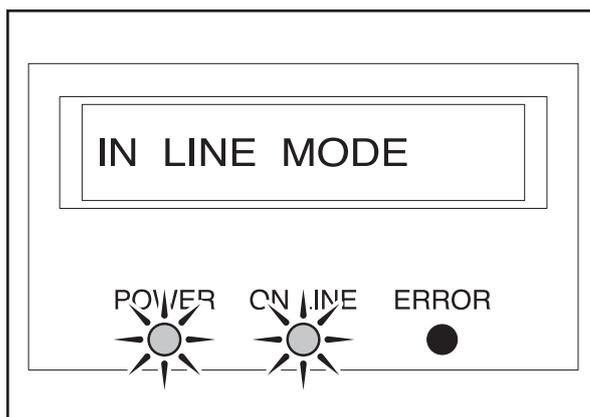
- 1 コンピュータの電源をONにしてから、本機の電源スイッチをONにします。(|)側がONです。



- 2 液晶表示器に「IN LINE MODE」メッセージが表示し、POWERランプ(緑色)とON LINEランプ(緑色)が点灯します。

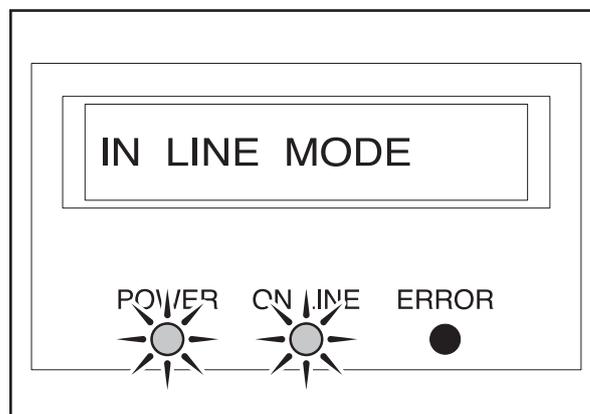
お願い

- 電源が入らなかったり、エラーメッセージが表示したときは、『困ったときは』を参照ください。
(→『P.101 ~ 105』)

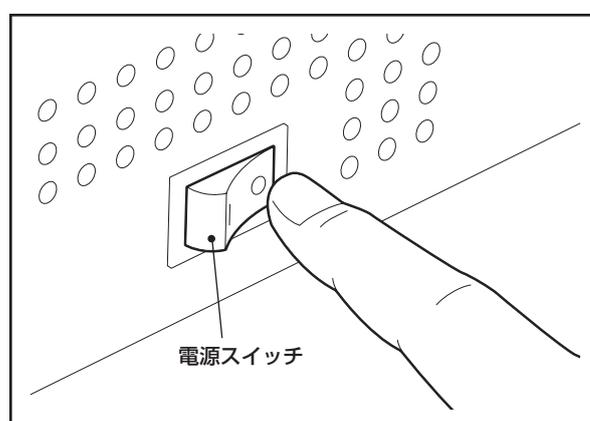


電源をOFFにする

- 1 液晶表示器に「IN LINE MODE」メッセージが表示し、POWERランプ(緑色)とON LINEランプ(緑色)が点灯していることを確認します。



- 2 本機の電源スイッチをOFFにします。(○)側がOFFです。
- 3 コンピュータの電源をOFFにします。



お願い

- 用紙発行中は電源をOFFにしないでください。紙詰まりや故障の原因となります。ただし、本機から異臭がしたり発煙しているときは、直ちに電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ON LINEランプが点滅しているときは、電源をOFFにしないでください。接続しているコンピュータに悪い影響を与えることがあります。

用紙の取り付け方

ここでは、初めて本機に用紙を取り付ける手順について説明します。

用紙のご用命および用紙の作成につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

注意

- ・ トップカバーは後方へ倒すように全開にすること
中途半端な状態にしておくとな勝手に閉まり、けがの原因となることがあります。
- ・ 印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと
やけどの原因となることがあります。

お願い

- ・ 初めて使用する用紙を取り付けるときは、システムモードの『センサー表示／調整』で用紙検出センサーの感度調整を行ってください。(→『P.87～89』)
- ・ プレ印刷されている用紙を取り付けるときは、スレッシュホールドの設定を行ってください。(→『P.41,42』)

補足

- ・ 当社認定品以外の用紙を取り付けて印字した場合、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 紙管の内径が38、40、42、および76.2mm（標準）の用紙が使用可能です。また、用紙の巻き方向は、内巻きに限定しています。(→『用紙の仕様』)

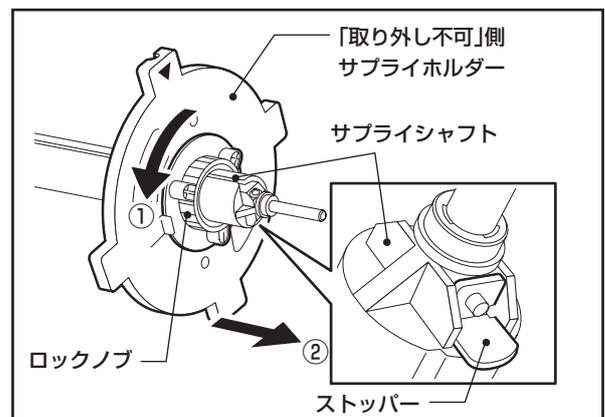
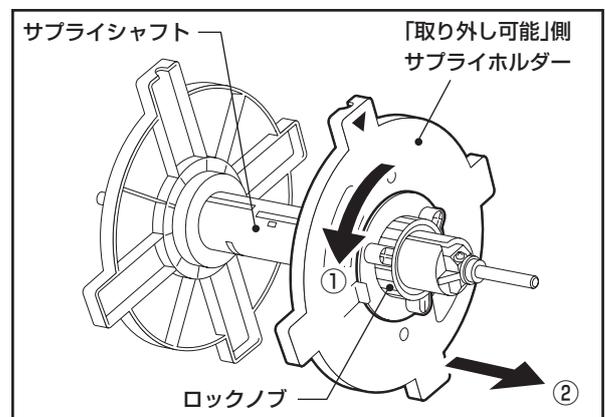
取付手順

- 1 「取り外し可能」側サプライホルダーのロックノブを解除方向(🔓)へ回して緩め、サプライシャフトからサプライホルダーを抜き取ります。

補足

- ・ ストッパーの付いている方のサプライホルダーは、サプライシャフトから抜き取ることができません。

- 2 「取り外し不可」側のサプライホルダーのロックノブを解除方向(🔓)へ回して緩め、ストッパーで止まる位置まで端に寄せておきます。



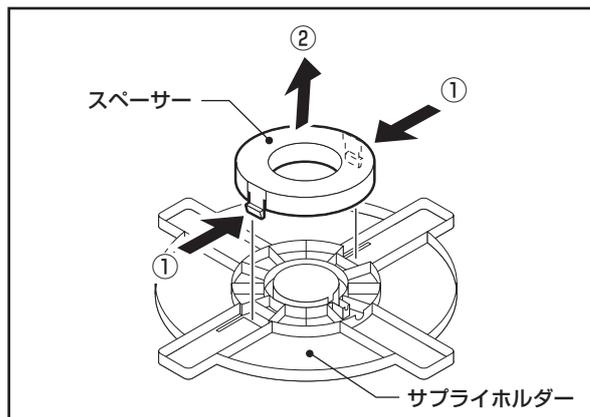
- 3 紙管の内径が38、40、または42mmの用紙を使用するときは、スペーサーの爪の根本を押し、両方のサプライホルダーからスペーサーを取り外します。

お願い

- 取り外したスペーサーは大切に保管してください。

補足

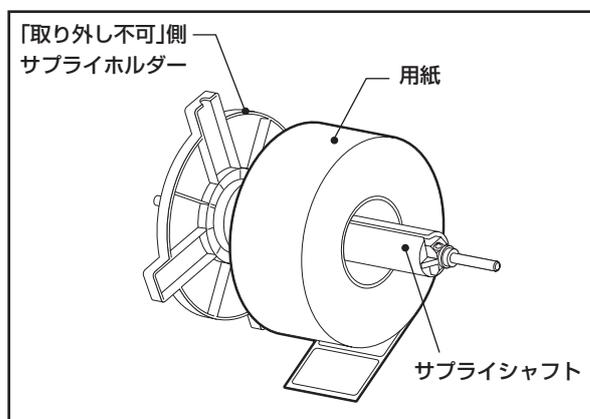
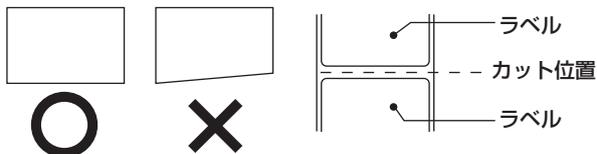
- 紙管の内径が76.2mm(標準)の用紙を使用するときは、スペーサーを取り外す必要はありません。



- 4 サプライシャフトに用紙をセットします。

お願い

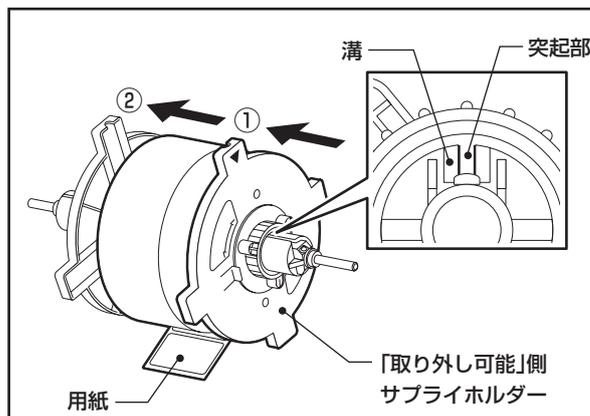
- 用紙の先端はまっすぐに切ってください。
ラベルの場合は、ラベルとラベルの間の台紙部をまっすぐに切ってください。



- 5 「取り外し可能」側サプライホルダーの▼印をサプライシャフトの溝に合わせ、用紙と一緒に反対側のサプライホルダーの方へ押し込みます。

補足

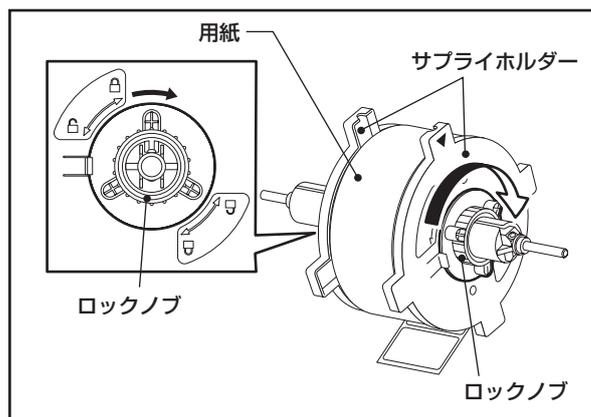
- ▼印をサプライシャフトの溝に合わせると、サプライホルダーの突起部が溝にはまります。
- 両方のサプライホルダーで用紙を挟み込む状態になり、用紙はサプライシャフトの中央にセットされます。



6 両方のサプライホルダーのロックノブを
ロック方向(🔒)へ回して固定します。

⚠️ 注意

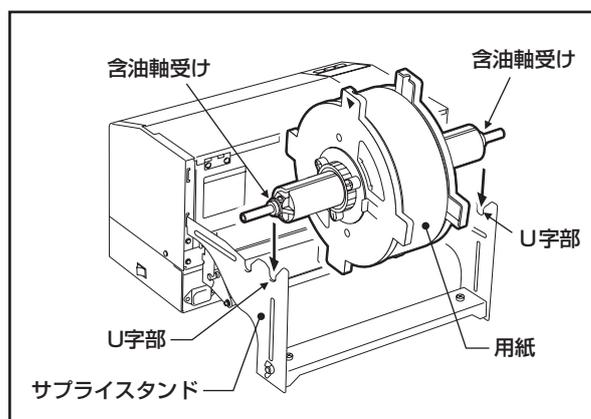
- ロックノブを固定しないまま、用紙をセットした
サプライホルダーユニットを傾けないこと
「取り外し可能」側のサプライホルダーが外れて用紙が
抜け落ち、けがの原因となることがあります。



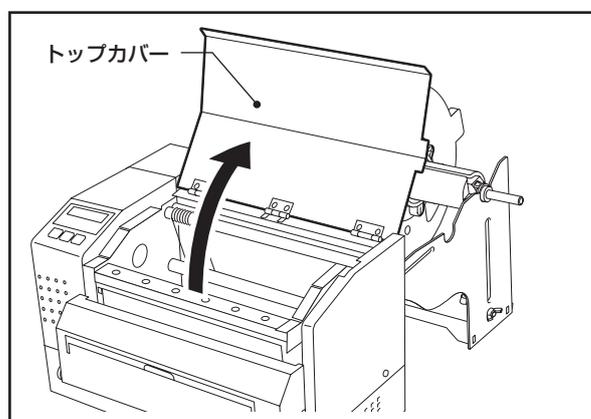
7 用紙を取り付けたサプライホルダーユ
ニットを、サプライスタンドの後ろ側のU
字部に乗せます。

お願い

- 用紙の印字面が上を向くようにセットしてくださ
い。
- サプライシャフトの左右の含油軸受けが、サプライ
スタンドのU字部に正しく乗っていることを確認
してください。



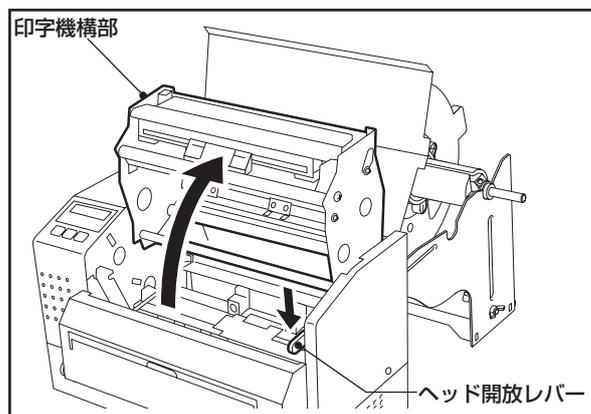
8 トップカバーを後方へ倒すように全開に
します。



9 ヘッド開放レバーを押し下げ、印字機構部
を垂直になる位置まで持ち上げます。

⚠️ 注意

- 印字機構部は垂直になる位置まで持ち上げること
中途半端な状態にしておくと勝手に閉まり、けがの
原因となることがあります。
- 印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触
れないこと
やけどの原因となることがあります。



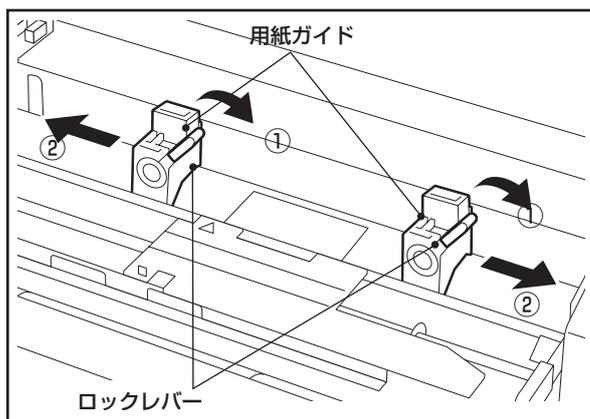
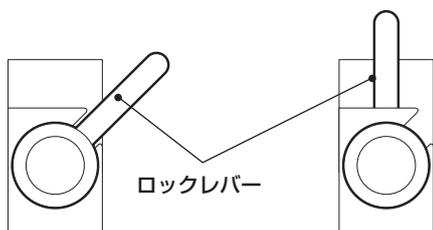
10 左右の用紙ガイドのロックレバーを解除側(右側)に倒し、用紙ガイドを用紙の幅より少し広めに広げておきます。

お願い

- 用紙ガイドを動かすときは、両方のロックレバーを必ず解除側に倒してください。
片方のロックレバーがロック状態のとき、用紙ガイドは動きません。

【解除状態】

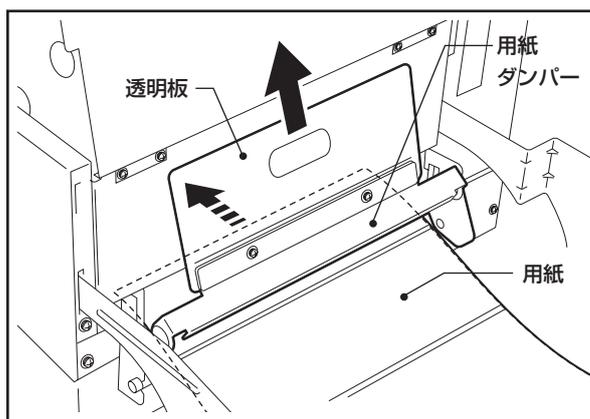
【ロック状態】



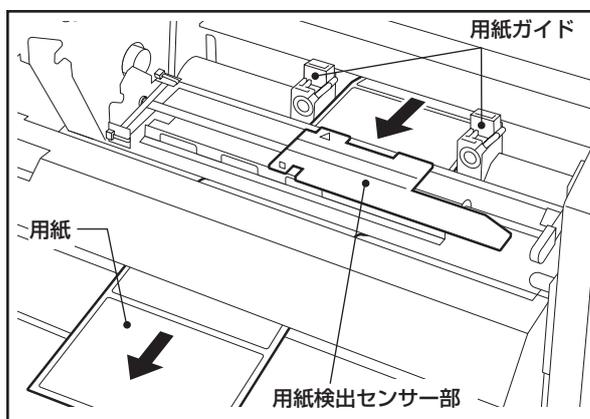
11 用紙を50cm程引き出し、用紙ダンパーを持ち上げながら用紙を用紙挿入口へ差し込みます。

お願い

- 用紙は用紙ダンパーの下を通してください。
- 用紙ダンパーは、透明板の小判穴に指を引っかけて持ち上げてください。
- 印刷時は透明板を必ず用紙発行側(前方)に倒してください。



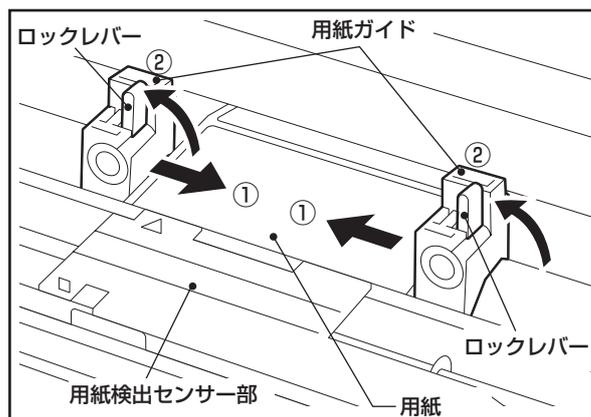
12 用紙を用紙ガイドの間に通し、用紙検出センサー部の下を通して用紙発行口へ手で送り出します。



13 用紙ガイドを用紙にぴったり合わせ、ロックレバーでロックします。

お願い

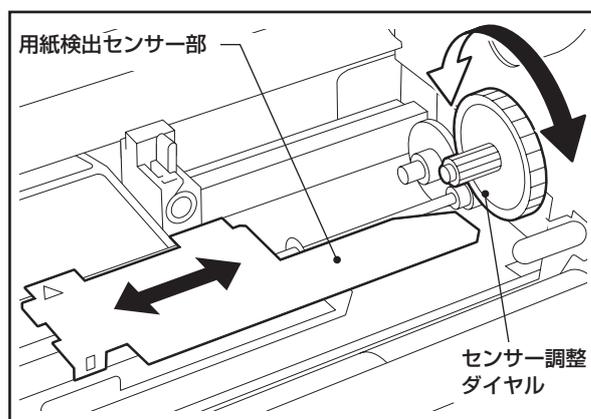
- サプライホルダー部から用紙発行口まで、用紙がまっすぐになっていることを確認してください。



14 センサー調整ダイヤルを回し、取り付けた用紙に合わせて用紙検出センサーの位置を調整します。

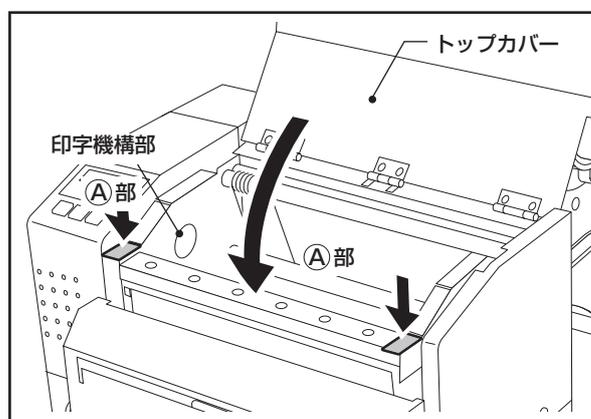
お願い

- 調整方法については『用紙検出センサーの位置を調整する』を参照してください。(→『P.32,33』)



15 印字機構部を静かに降ろし、印字機構部の(A部)を「カチッ」と音がするまで押してロックします。

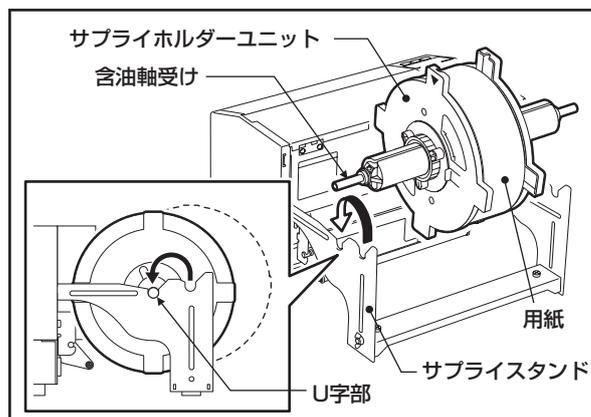
16 トップカバーを静かに閉めます。



17 用紙を取り付けたサプライホルダーユニットを、サプライスタンドの前側のU字部に乗せ替えます。

お願い

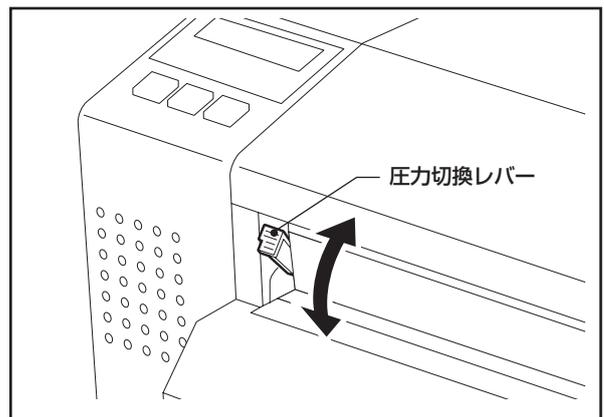
- サプライシャフトの左右の含油軸受けが、サプライスタンドのU字部に正しく乗っていることを確認してください。
- 用紙ダンパーの透明板が後方に倒れていないか確認してください。



18 取り付けした用紙の厚さに応じ、圧力切換レバーで印字ヘッドの押し圧を切り換えます。

補足

- ラベルやこしのない薄い用紙のとき→押し圧弱
- こしのある厚い用紙のとき→押し圧強



19 **FEED** キーを押して20～30cm程紙送りし、正しく紙送りすることを確認します。

用紙検出センサーの位置調整

本機には用紙を正しく紙送りするため、3種類の用紙検出センサーが装備されています。

用紙検出センサーの位置は、使用する用紙のタイプに合わせて調整してください。

用紙検出センサーを正しい位置に調整しないと、本機は用紙を発行できず、『がおりエラー ****』メッセージを表示してエラーとなります。

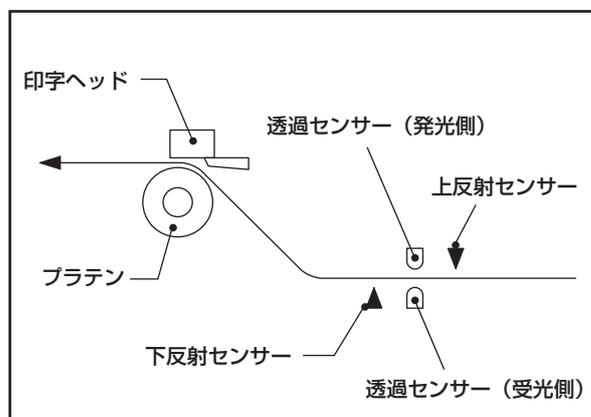


注意

- ・ トップカバーは後方へ倒すように全開にすること
中途半端な状態にしておくと勝手に閉まり、けがの原因となることがあります。
- ・ 印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと
やけどの原因となることがあります。

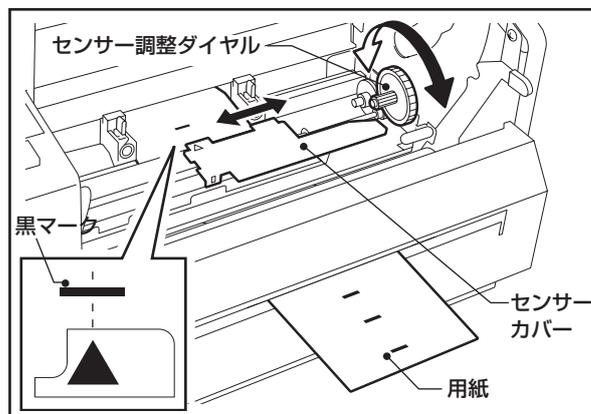
反射／透過センサーの位置関係と検出方法

- ・ 用紙検出センサーは、用紙上に印刷された黒マークを検出する反射センサーと、用紙上に開けられた角穴、またはラベルとラベルのすき間（ギャップ）を検出する透過センサーがあります。
- ・ 反射センサーは上下に1つずつ装備されています。
- ・ センサー調整ダイヤルを回してセンサーの位置を調整します。センサー調整ダイヤルを回すと、3種類のセンサーが同時に移動します。



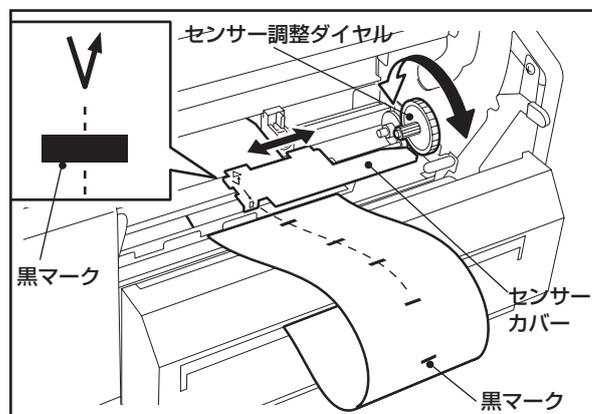
上反射センサーの位置を調整する

- 1 トップカバーを後方へ倒すように全開にします。
- 2 ヘッド開放レバーを押し下げ、印字機構部を垂直になる位置まで持ち上げます。
- 3 センサー調整ダイヤルを回し、黒マークの中心線上にセンサーカバー上の緑色の▲印を合わせます。



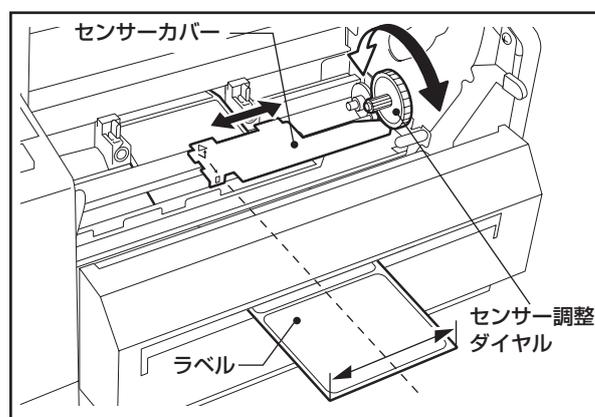
下反射センサーの位置を調整する

- 1 トップカバーを後方へ倒すように全開にします。
- 2 ヘッド開放レバーを押し下げ、印字機構部を垂直になる位置まで持ち上げます。
- 3 用紙を約50cm程引き出し、黒マークが上を向くように折り返します。
- 4 センサー調整ダイヤルを回し、黒マークの中心線上にセンサーカバー上の(V)印を合わせます。



透過センサーの位置を調整する

- 1 トップカバーを後方へ倒すように全開にします。
- 2 ヘッド開放レバーを押し下げ、印字機構部を垂直になる位置まで持ち上げます。
- 3 センサー調整ダイヤルを回し、ラベルの中央にセンサーカバー上の(↓)印を合わせます。



キー操作について

本機には、インラインモード、システムモードおよび簡易システムモードがあります。

- 『インラインモード』 : コンピュータと接続してラベルやタグを発行するモードです。
また、リセット操作、各種パラメータ設定内容や各種微調値設定内容の変更、受信バッファのダンプリスト出力、LAN切り換えなども行えます。
- 『システムモード』 : 本機の自己診断、各種パラメータ設定、各種微調値設定、テスト印字、センサー調整、RAMクリア、IPアドレス設定、ベーシック設定などを行うモードです。
- 『簡易システムモード』 : システムモードの項目の内、自己診断、各種パラメータ設定、各種微調値設定、およびテスト印字を行うモードです。各項目の操作方法は、システムモードまたはインラインモードをご覧ください。

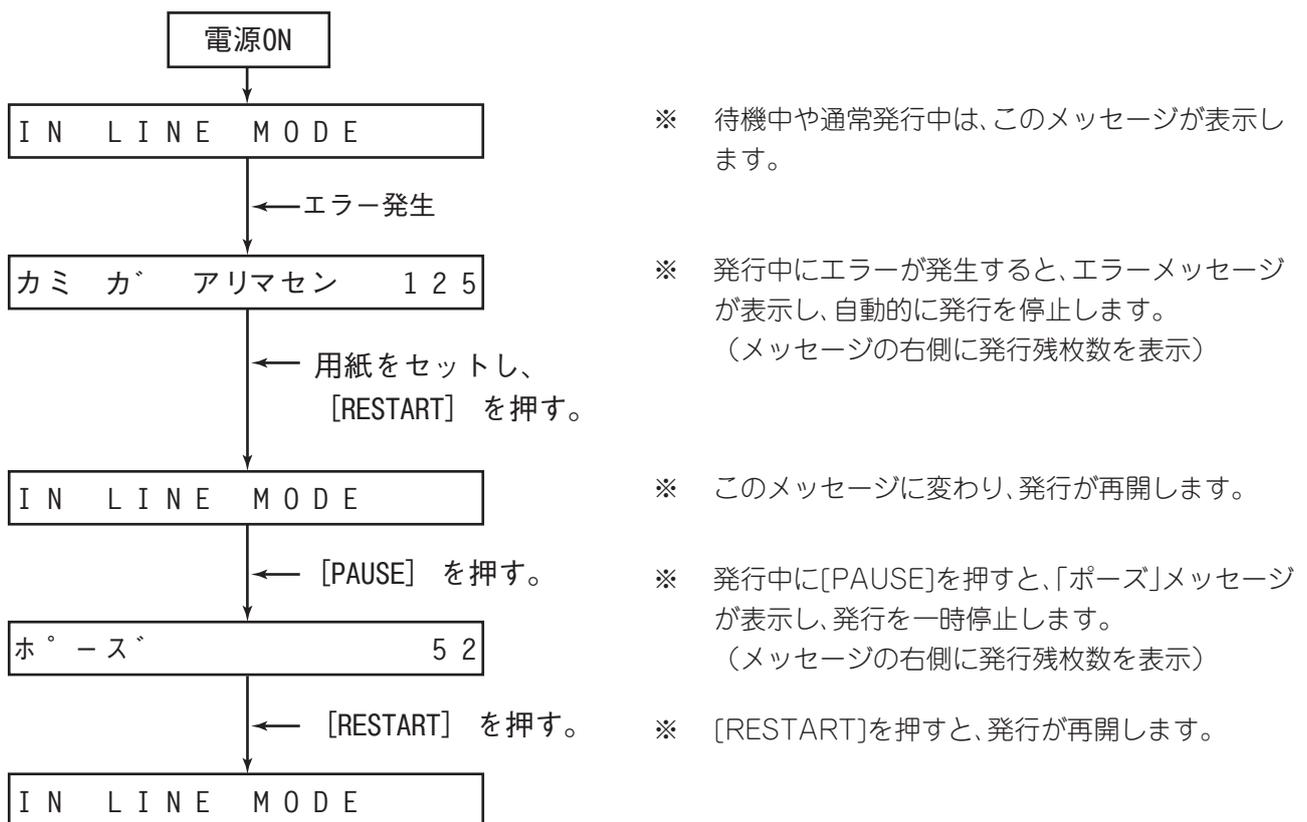
ここでは、各モードにおけるキーの操作方法および表示内容について説明します。

キー操作の流れ.....	36
インラインモードの機能.....	37
インラインモードの操作例.....	37
スレッシュホールドの設定(プリ印刷用紙).....	38
リセット操作.....	40
各種パラメータ設定内容の変更.....	41
各種微調値設定内容の変更.....	50
受信バッファのダンプリスト出力.....	57
オートキャリブレーション設定.....	60
LAN有効/無効設定.....	62
RTC設定.....	63
システムモードの機能.....	65
システムモードの概要.....	65
自己診断.....	66
テスト印字.....	75
センサー表示/調整.....	83
RAMクリア.....	86
IPアドレス設定.....	90
ベーシック設定.....	95

インラインモードの機能

インラインモードの機能には、ラベルやタグ発行のほかに「スレッシュホールドの設定」、「リセット操作」、「各種パラメータの設定内容の変更」、「各種微調値の設定内容の変更」などがあります。

インラインモードの操作例



補足

- [発行残枚数]=[指定枚数] - [エラー発生時または一時発行停止の正常発行終了枚数]

スレッシュホールドの設定(プリ印刷用紙)

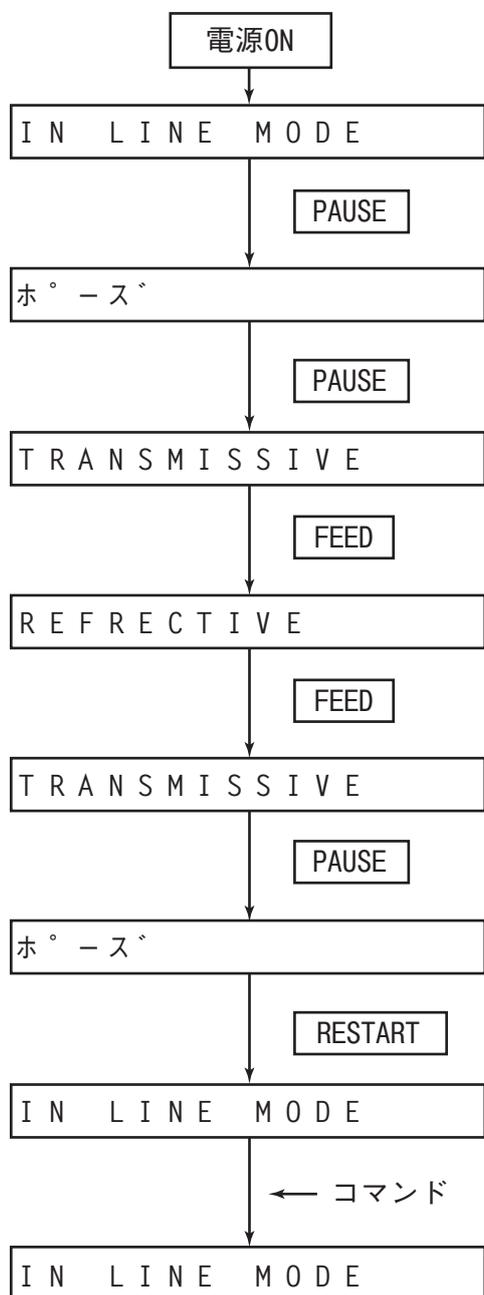
ラベルに印字する場合、印字位置を一定に保つために、本機はラベル間のすき間(ギャップ)を透過センサーで検出し、紙送り方向に対するラベル位置を自動的に補正しています。

しかし、プリ印刷されたラベルを使用する場合、プリ印刷に使用されているインクの種類によってラベル位置が正しく補正されないことがあります。

また、用紙裏面の黒マークを反射センサーで検出して印字する場合、黒マーク以外の場所で反射率が変動し、用紙位置が正しく補正されないこともあります。

このような場合、使用するプリ印刷用紙ごとおよび使用するセンサーごとにスレッシュホールドを設定し、メモリーに記憶しておく必要があります。

ここでは、スレッシュホールドの設定操作について説明します。



- (1) 待機中です。
- (2) プリ印刷されたラベルをセットします。
(特別な位置にセットする必要はありません)
- (3) [PAUSE]を押します。
- (4) ポーズ状態になります。
- (5) ポーズ状態中に[PAUSE]を3秒以上押し続けます。
- (6) スレッシュホールドを設定するセンサーの選択モードとなります。[FEED]でセンサーを選択します。
- (7) [FEED]を押します。
- (8) 下反射センサーが選択されます。
- (9) [FEED]を押します。
- (10) 透過センサーが選択されます。
- (11) 用紙が1.5～2枚分以上紙送りされるまで、[PAUSE]を押し続けます。
(選択したセンサーのスレッシュホールド設定完了)
- (12) [PAUSE]を離すと、ポーズ状態に戻ります。
- (13) [RESTART]を押します。
- (14) 待機中です。
- (15) コンピュータからコマンドを送信し、ラベル発行します。

補足

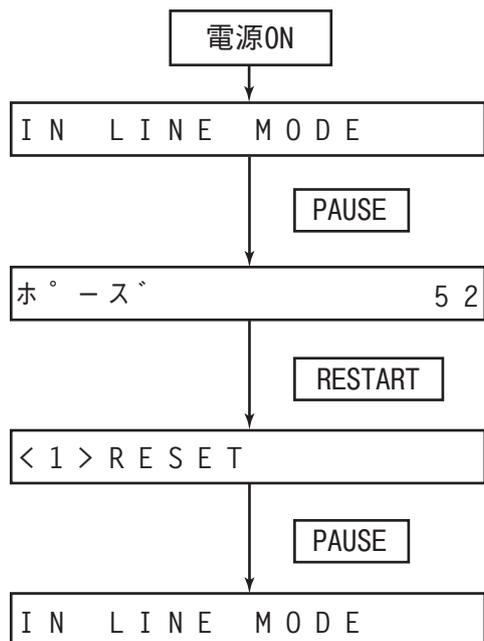
1. ポーズ状態で [PAUSE] を押して3秒以内に離した場合、紙送りは行われません。
2. スレッシュホールドを設定するときは、1.5～2枚以上のラベルを紙送りしてください。紙送り量が少ないと、正しく設定できない場合があります。
3. 紙送り中はペーパーエンド、カッターエラー等のエラー検出を行いません。
4. 発行コマンドのセンサー種別で『3:透過センサー（プリ印刷ラベル用）』、または『4:下反射センサー（手動スレッシュホールド値使用）』を選択すると、メモリーに記憶したスレッシュホールドでラベル位置を補正するため、プリ印刷ラベルを使用するときでも、ラベル位置を一定に保つことができます。
5. スレッシュホールドを設定しても位置補正が正しく行われなときは、透過センサーを調整してください。システムモードで透過センサーを調整した後、再度スレッシュホールドを設定してください。
また、フィードコマンド、発行コマンドのセンサー種別で『3:透過センサー（プリ印刷ラベル用）』、または『4:下反射センサー（手動スレッシュホールド値使用）』を選択しているか確認してください。

リセット操作

間違えて発行指示を行った場合など、本機に転送したデータをクリアして初期状態にするときに行います。

ここでは、リセット操作について説明します。

●操作例



(1) 待機中または通常発行中です。

(2) [PAUSE]を押します。

※ 発行中[PAUSE]が押されると、このメッセージを表示し、発行を停止します。

(3) ポーズ状態中に[RESTART]を3秒以上押し続けます。

(4) リセットのメニューが表示します。

(5) [PAUSE]を押します。

(6) 電源投入後の初期状態に戻ります。

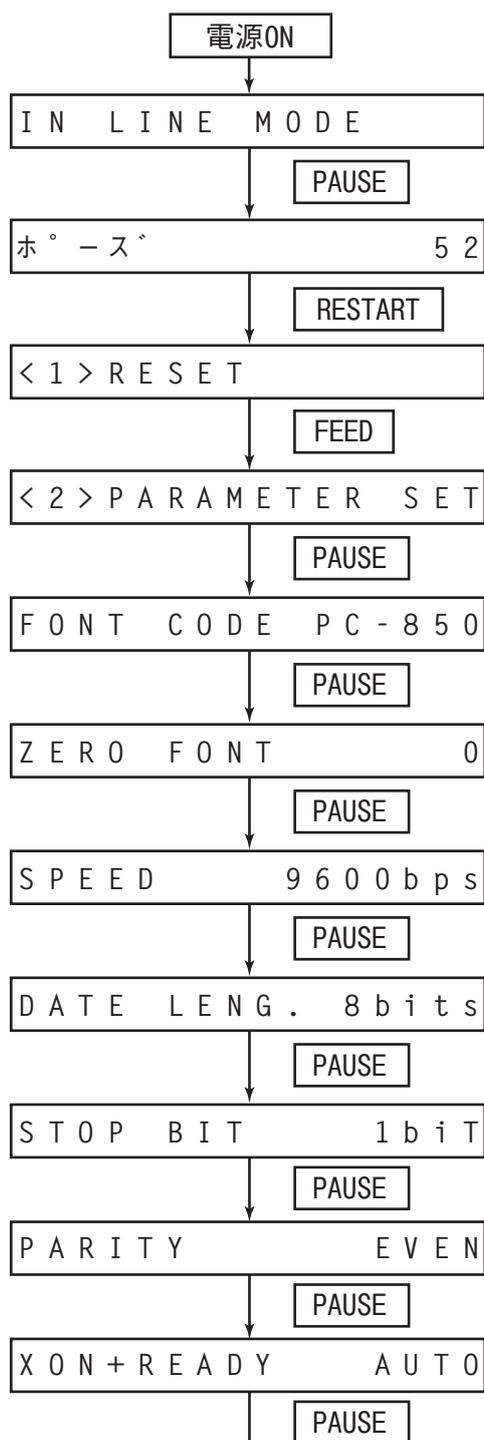
補足

- ポーズ状態で[RESTART]を押して3秒以内に離した場合、リセットのメニューは表示されず、用紙の発行を再開します。
- エラー状態で[RESTART]を押して3秒以内に離した場合は、エラー状態に戻ります。ただし、コミュニケーションエラーやコマンドエラーの場合は、電源投入後の初期状態に戻ります。
- 本機のキーで本機をリセットすると、PCセーブコマンドでセーブしたデータは自動呼び出し無しになります。

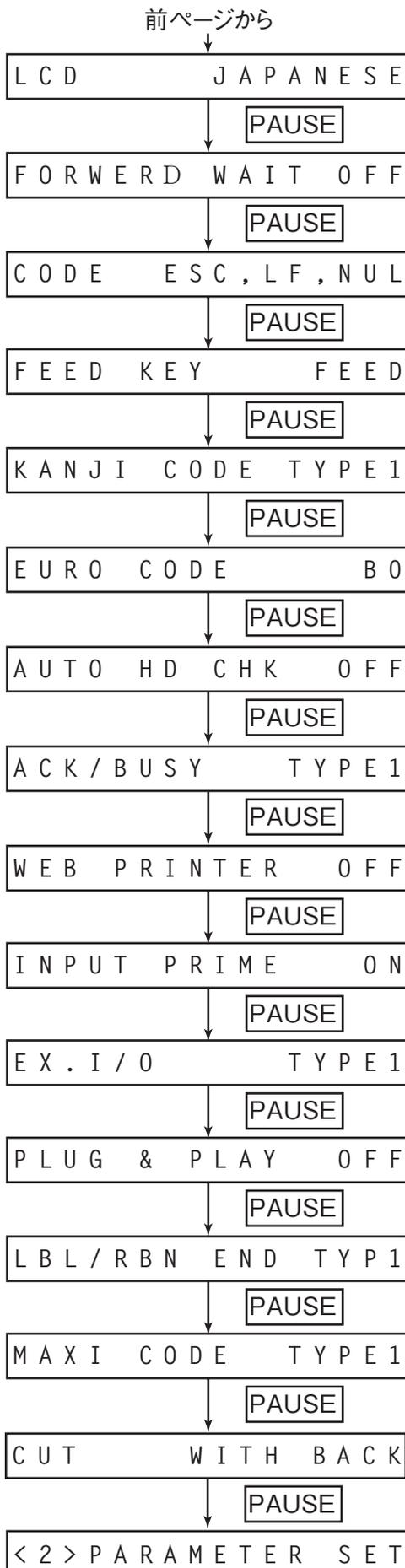
各種パラメータ設定内容の変更

システムモードで設定したパラメータの内容を、インラインモードで変更することができます。ここでは、各種パラメータの設定および変更操作について説明します。

●操作例



- (1) 待機中または通常発行中です。
- (2) [PAUSE]を押します。
- (3) ポーズ状態になります。
- (4) ポーズ状態中に[RESTART]を3秒以上押し続けます。
- (5) リセットのメニューが表示します。
- (6) [FEED]を押します。
- (7) パラメータ設定のメニューが表示します。
- (8) [PAUSE]を押します。
- (9) 文字コード切り換え
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (10) [PAUSE]を押します。
- (11) 「0」の字体設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (12) [PAUSE]を押します。
- (13) RS-232C通信速度の切り換え
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (14) [PAUSE]を押します。
- (15) RS-232Cデータ長切り換え
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (16) [PAUSE]を押します。
- (17) RS-232Cストップビット長切り換え
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (18) [PAUSE]を押します。
- (19) RS-232Cパリティビット切り換え
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (20) [PAUSE]を押します。
- (21) RS-232C伝送制御方式切り換え
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (22) [PAUSE]を押します。



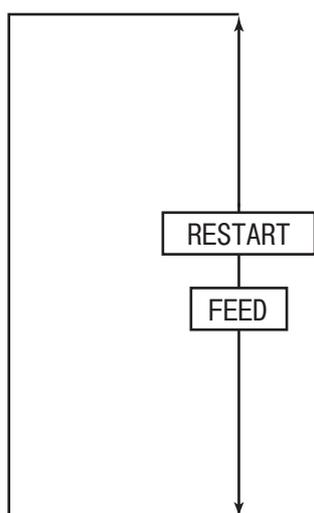
- (23) メッセージ表示言語切り換え
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (24) [PAUSE]を押します。
- (25) 自動正転待機切り換え
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (26) [PAUSE]を押します。
- (27) 制御コード切り換え
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (28) [PAUSE]を押します。
- (29) [FEED]キー機能設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (30) [PAUSE]を押します。
- (31) 漢字特殊コードの切り換え
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (32) [PAUSE]を押します。
- (33) Euroフォントコード設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (34) [PAUSE]を押します。
- (35) 自動断線チェック設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (36) [PAUSE]を押します。
- (37) セントロACK / BUSYタイミング設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (38) [PAUSE]を押します。
- (39) WEBプリンタ機能設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (40) [PAUSE]を押します。
- (41) nInit信号ON時のリセット処理切り換え
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (42) [PAUSE]を押します。
- (43) 拡張I / O動作モード設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (44) [PAUSE]を押します。
- (45) プラグ&プレイ動作設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (46) [PAUSE]を押します。
- (47) ラベルエンド/リボンエラー処理設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (48) [PAUSE]を押します。
- (49) Maxi Code 仕様設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (50) [PAUSE]を押します。
- (51) カット後の逆転動作設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (52) [PAUSE]を押します。
- (53) パラメータ設定のメニューに戻ります。

補足

- パラメータ設定時に[FEED]と[RESTART]を同時に押すと、システムモードメニューの表示に戻ります。
- パラメータ設定時に、[FEED]または[RESTART]を0.5秒以上押し続けた場合は、そのキーを連続して押したものと判断します。
- パラメータの変更は、設定後の[PAUSE]を押すことで有効となり、メモリーに登録されます。

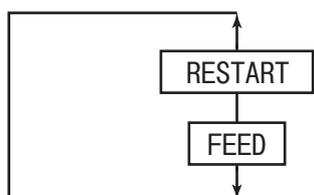
●設定内容の詳細

(1)文字コード切り換え(FONT CODE)



- PC-8
- PC-857
- PC-852
- PC-850
- Arabic
- LATIN9
- PC-1257
- PC-1254
- PC-1253
- PC-1252
- PC-1251
- PC-1250
- PC-855
- PC-851
- PC-866
- UTF-8

(2) 0の字体切り換え(ZERO FONT)



- 0 (スラッシュ無し)
- Ø (スラッシュ有り)

※下記フォントはスラッシュ有りØをサポートしていないため、設定してもスラッシュ無し0となります。

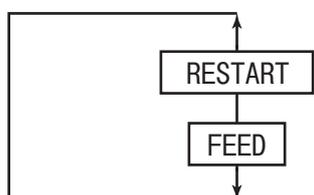
【ビットマップ】

OCR-A、OCR-B、GOTHIC725ブラック、漢字

【アウトラインフォント】

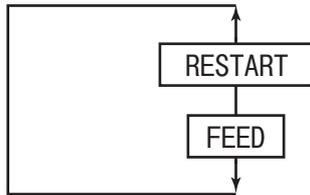
価格フォント1、価格フォント2、価格フォント3、DUTCH801ポールド、BRUSH738レギュラー、GOTHIC725ブラック、True Type Font

(3) RS-232C通信速度切り換え(SPEED)



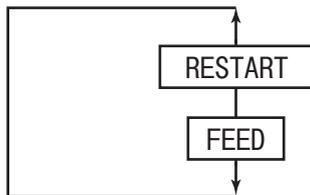
- 115200bps
- 38400bps
- 19200bps
- 9600bps
- 4800bps
- 2400bps

(4) RS-232Cデータ長切り換え(DATA LENG.)



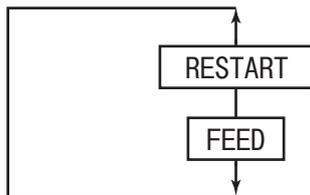
- 8bits
- 7bits

(5) RS-232Cストップビット長切り換え(STOP BIT)



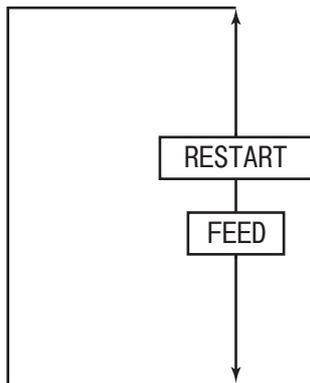
- 2ビット
- 1ビット

(6) RS-232Cパリティ切り換え(PARITY)



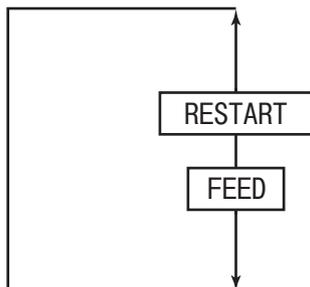
- EVEN
- ODD
- NONE (無し)

(7) RS-232C伝送制御方式(XON/XOFF+READY/BUSY)



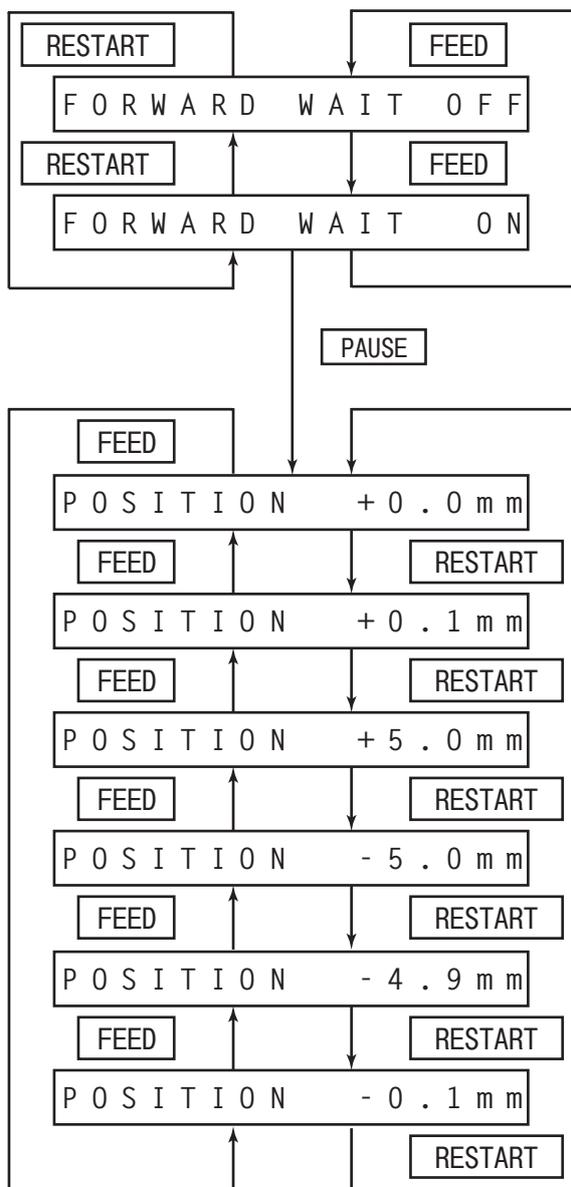
- XON/XOFF AUTO : XON/XOFF方式
(電源ON時XON、電源OFF時XOFF出力有り)
- XON+READY AUTO : XON/XOFF+READY/BUSY(DTR)方式
(電源ON時XON、電源OFF時XOFF出力有り)
- READY/BUSY : READY/BUSY(DTR)方式
(電源ON時XON、電源OFF時XOFF出力無し)
- XON/XOFF : XON/XOFF方式
(電源ON時XON、電源OFF時XOFF出力無し)
- READY/BUSY RTS : READY/BUSY(RTS)方式
(電源ON時XON、電源OFF時XOFF出力無し)

(8)メッセージ表示言語切り換え(LCD)



- ENGLISH : 英語
- ITALIAN : イタリア語
- JAPANESE : 日本語
- SPANISH : スペイン語
- DUTCH : オランダ語
- FRANCH : フランス語
- GERMAN : ドイツ語

(9)自動正転待機切り換え(FOWARD WAIT)



•OFF :正転待機なし

•ON :正転待機あり

注) ラベルピッチが20mm未満の場合、正転待機ありに設定しても正転待機動作は行われません。この場合は、プリンタコマンドの正転/逆転フィードコマンドで制御してください。

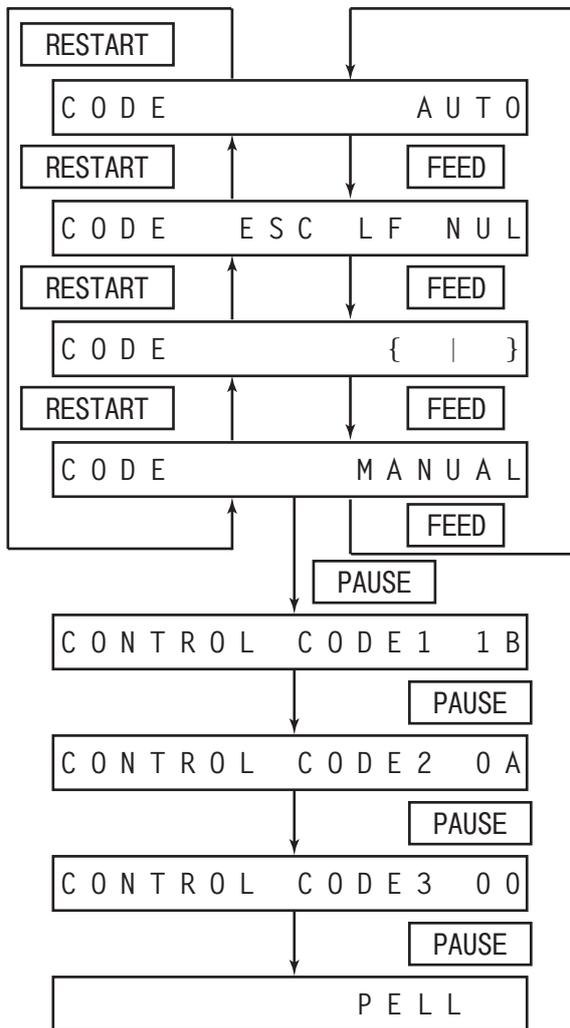
正転待機時の停止位置調整値設定

-5.0mm ~ +5.0mm (0.1mm単位)

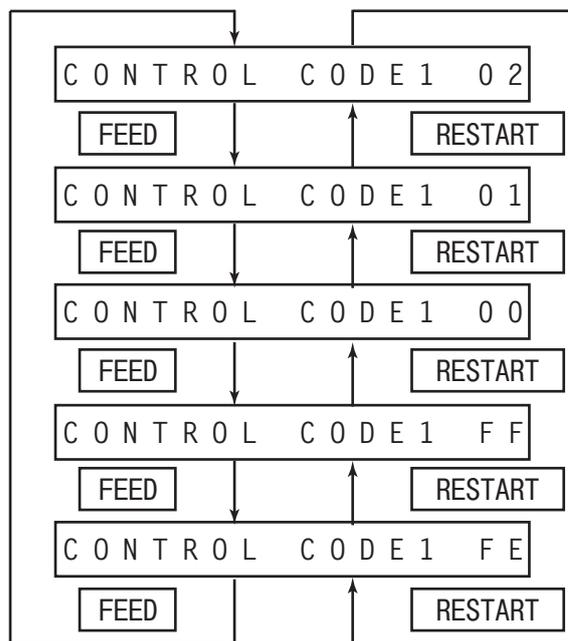
+方向 :より多く正転して停止する

-方向 :より少なく正転して停止する

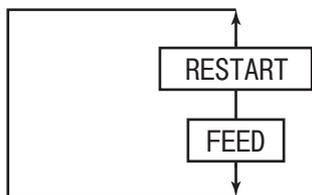
(10) 制御コード切り換え(CODE)



- AUTO :自動切り換え
- ECS, LF, NUL :手動切り換え(ECS, LF, NULモード)
- {, |, } :手動切り換え({, |, }モード)
- MANUAL :コード指定(MANUALモード)

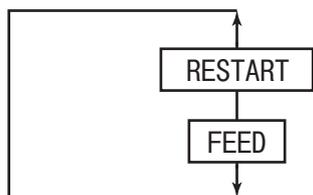


(11) [FEED]キー機能設定(FEED KEY)



- FEED:1枚紙送り
- PRINT:イメージバッファの内容を1枚印字

(12) 漢字特殊コード切り換え(KANJI CODE)



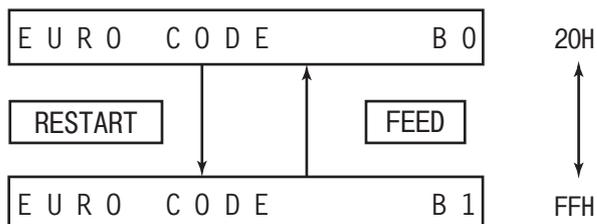
- TYPE 1:Windowsコード対応
 - TYPE 2:オリジナルコード対応
- 注) Windowsは、米国マイクロソフト社の登録商標です。

※各タイプ指定時の印字文字とコードの対応表

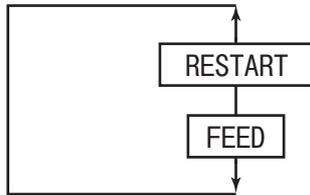
印字文字	TYPE1	TYPE2
①	2D21	2C44
②	2D22	2C45
③	2D23	2C46
④	2D24	2C47
⑤	2D25	2C48
⑥	2D26	2C49
⑦	2D27	2C4A
⑧	2D28	2C4B
⑨	2D29	2C4C
⑩	2D2A	2C4D
I	2D35	2231
II	2D36	2232
III	2D37	2233
IV	2D38	2234
V	2D39	2235
VI	2D3A	2236
VII	2D3B	2237

印字文字	TYPE1	TYPE2
VIII	2D3C	2238
IX	2D3D	2239
X	2D3E	2C34
mm	2D50	2C66
cm	2D51	2C67
km	2D52	2C69
mg	2D53	2243
kg	2D54	2244
cc	2D55	2C70
m ³	2D56	2C6B
"	2D60	2A22
No.	2D62	2249
TEL	2D64	2248
(株)	2D6A	222F
(代)	2D6C	2246
J	2D72	2841

(13) Euroフォントコード設定(EURO CODE)

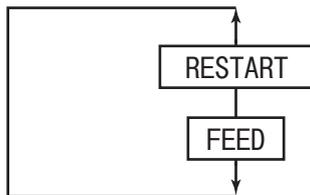


(14)自動断線チェック(AUTO HD CHK)



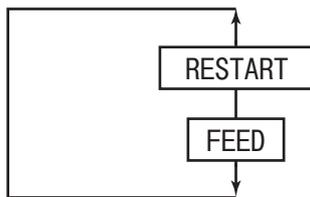
- OFF:自動断線チェック無し
- ON:自動断線チェック有り

(15)セントロACK/BUSYタイミング設定(ACK/BUSY)



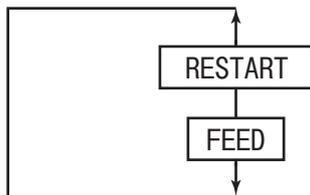
- TYPE1:ACK立ち上がりとBUSY解除が一致
- TYPE2:ACK立ち下がりとBUSY解除が一致

(16) WEBプリンタ設定(WEB PRINTER)



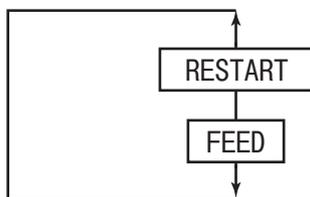
- OFF :WEBプリンタ機能無し
- ON :WEBプリンタ機能有り

(17) nInit信号ON時のリセット処理切り換え(INPUT PRIME)



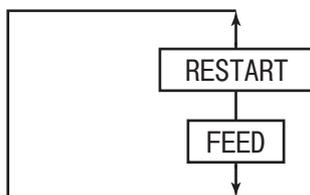
- OFF :リセット処理無し
- ON :リセット処理有り

(18)拡張I/O動作モード設定 (EX.I/O)



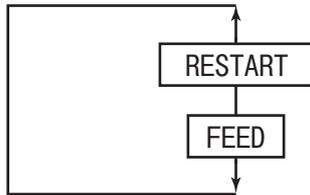
- TYPE1:標準仕様
- TYPE2:インライン仕様

(19)プラグ&プレイ動作設定(PLUG & PLAY)



- OFF :プラグ&プレイ動作無し
- ON :プラグ&プレイ動作有り

注) USB接続した場合は、この設定に関係なくプラグ&プレイ動作有りとなります。

(20)ラベルエンド/リボンエラー処理設定(LBL/RBN END)

- TYP1: ラベルエンド/リボンエラー検出時、発行途中で停止
- TYP2: ラベルエンド/リボンエラー検出時、可能な限り印字終了後に停止

●TYP1:

ラベルエンドまたはリボンエラー検出時は、発行途中で即座にエラー停止します。

[RESTART]を押すと初期フィード後、エラーラベルの再発行から再開します。

●TYP2:

ラベルエンドを検出した場合、その1枚を最後まで印字し、ホームポジションでエラー停止して“かみ 印刷****”を表示します。残枚数表示は、[指定枚数] - [エラー停止時の発行終了枚数(エラー発生ラベルを含む)]となります。最終枚目でラベルエンドとなった場合は、スペースを表示します。

[RESTART]を押すと初期フィード後、エラー対象の次のラベルから発行します。最終枚目でラベルエンドとなった場合は、[RESTART]を押すと初期フィードのみを行い、ステータス応答有りのときは、初期フィードのフィード終了ステータスの送信に続き、発行終了ステータスを送信します。

【TYP2の例】**《ケース1》**

発行枚数 = 5枚で、3枚目の発行中にラベルエンドを検出した場合:

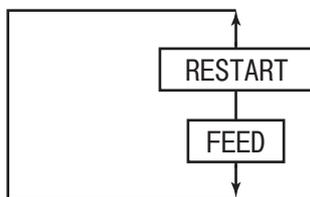
①②③

↑

③を発行終了後、エラー停止(表示: かみ 印刷 2)

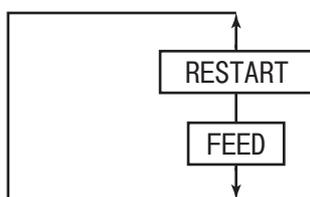
[RESTART]を押すと初期フィード後、④、⑤を発行する。

発行完成品は①～⑤

(21)Max i Code仕様設定 (MAX I CODE)

- TYPE1:既存バージョンとの互換仕様
- TYPE2:特殊仕様

注) このパラメータの設定内容により、コマンドで指定するモードと実際に処理されるモードの関係が異なります。また、一部データの送り方も異なります。

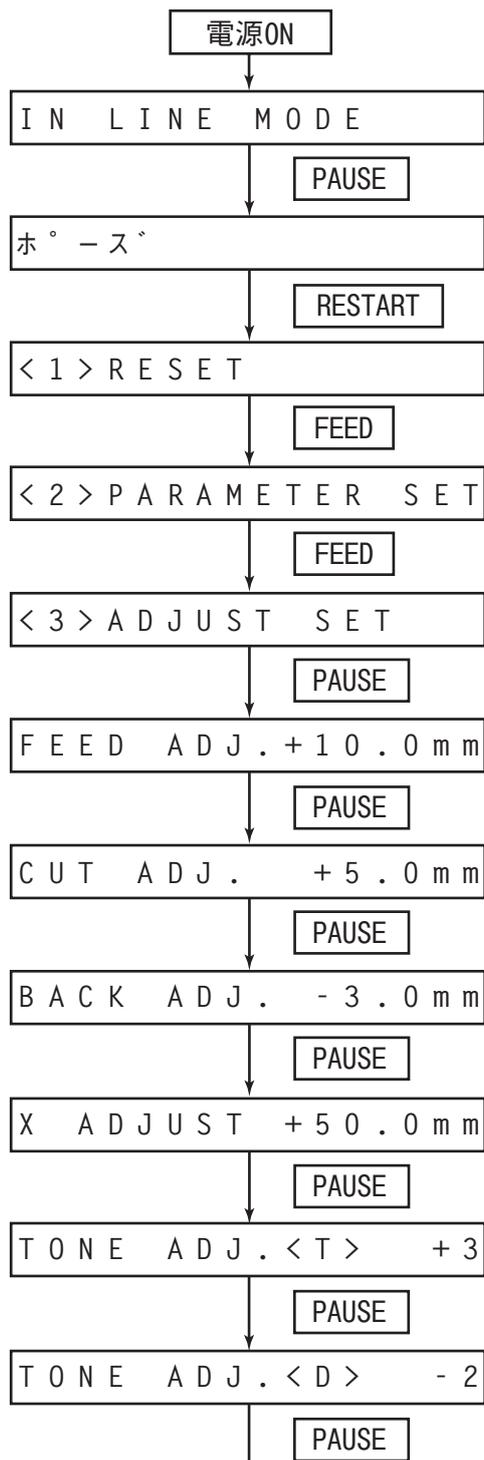
(22)カット後の逆転動作設定 (CUT)

- WITH BACK:カット後の逆転動作有り
- WITHOUT BACK:カット後の逆転動作無し

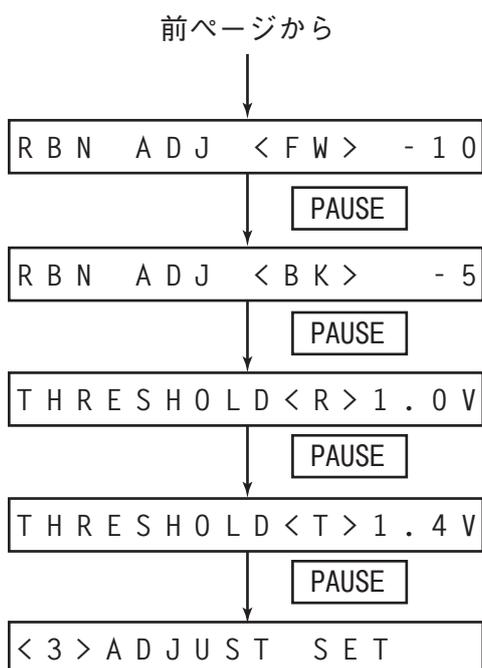
各種微調値設定内容の変更

システムモードで設定した各種微調値の内容を、インラインモードで変更することができます。ここでは、各種微調値の設定および変更操作について説明します。

●操作例



- (1) 待機中です。
- (2) [PAUSE]を押します。
- (3) ポーズ状態になります。
- (4) ポーズ状態中に[RESTART]を3秒以上押し続けます。
- (5) リセットのメニューが表示します。
- (6) [FEED]を押します。
- (7) パラメータ設定のメニューが表示します。
- (8) [FEED]を押します。
- (9) 微調値設定のメニューが表示します。
- (10) [PAUSE]を押します。
- (11) フィード量微調設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (12) [PAUSE]を押します。
- (13) カット位置(またはハクリ位置)微調設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (14) [PAUSE]を押します。
- (15) バックフィード量微調設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (16) [PAUSE]を押します。
- (17) X方向座標微調設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (18) [PAUSE]を押します。
- (19) 印字濃度微調設定(転写モード)
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (20) [PAUSE]を押します。
- (21) 印字濃度微調設定(直接発色モード)
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (22) [PAUSE]を押します。



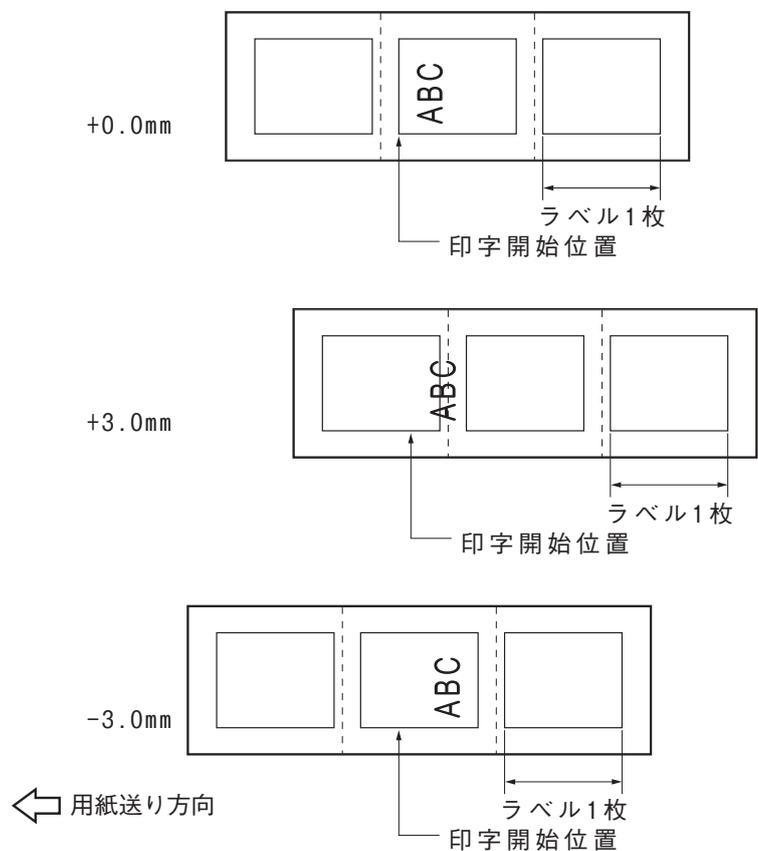
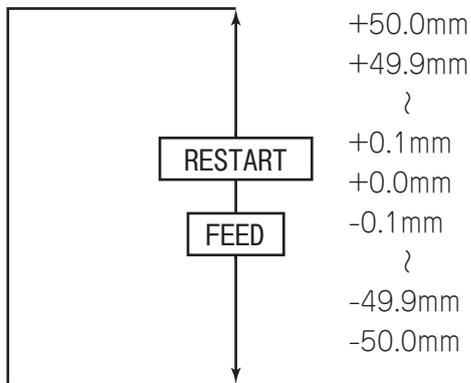
- (23) リボンモーター（巻き取り側）電圧微調設定 [FEED]または[RESTART]で設定します。
- (24) [PAUSE]を押します。
- (25) リボンモーター（バックテンション側）電圧微調設定 [FEED]または[RESTART]で設定します。
- (26) [PAUSE]を押します。
- (27) 下反射センサー手動スレッシュホールド値微調設定 [FEED]または[RESTART]で設定します。
- (28) [PAUSE]を押します。
- (29) 透過センサー手動スレッシュホールド値微調設定 [FEED]または[RESTART]で設定します。
- (30) [PAUSE]を押します。
- (31) 微調値設定のメニューに戻ります。

補足

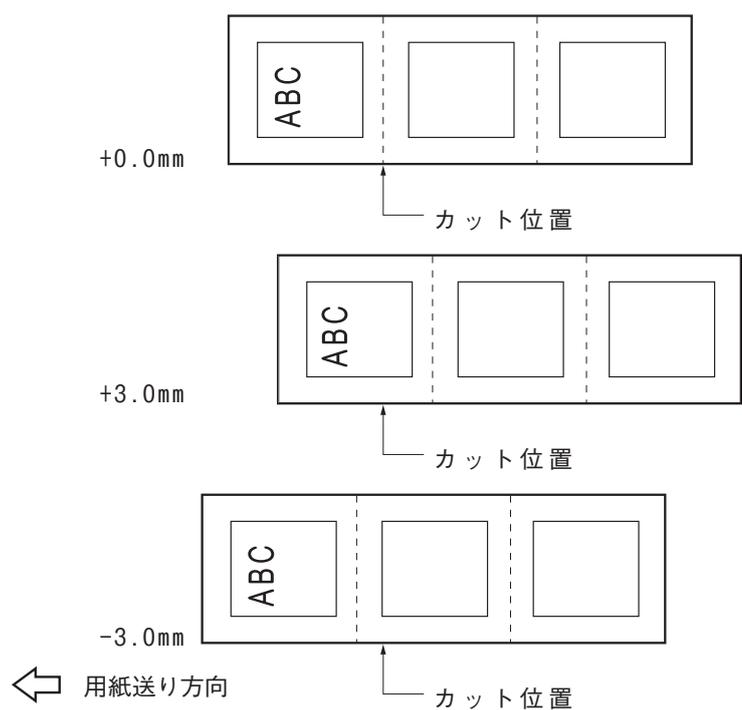
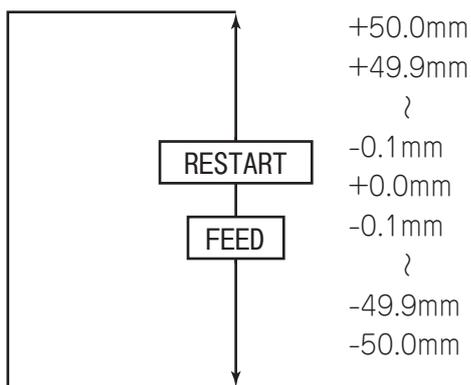
- ・ 微調値を設定するときに [FEED] と [RESTART] を同時に押すと、システムモードメニューの表示に戻ります。
- ・ 微調値を設定するとき、[FEED] または [RESTART] を0.5秒以上押し続けた場合は、そのキーを連続して押したものと判断します。
- ・ 微調値の変更は、設定後の [PAUSE] を押すことで有効となり、メモリーに登録されます。
- ・ キー操作による各微調値は、コンピュータからの各微調値に加算され、本機を制御します。ただし、各微調値の最大値は以下のとおりです。
 - * フィード量微調値 ±50.0mm
 - * カット（またはハクリ）位置微調値 ±50.0mm
 - * バックフィード量微調値 ±9.9mm
 - * 印字濃度微調値（転写モード） ±10step
 - * 印字濃度微調値（直接発色モード） ±10step
 - * X方向座標微調値 ±99.9mm
 - * リボンモーター駆動電圧微調値（巻き取り側） -15step ~ +6step
 - * リボンモーター駆動電圧微調値（バックテンション側） -15step ~ +10step
 - * 下反射センサー手動スレッシュホールド微調値 0.0 ~ 4.0V
 - * 透過センサー手動スレッシュホールド微調値 0.0 ~ 4.0V
- ・ X方向座標微調とは、描画のX座標を右方向、または左方向へ調整することです。微調整は有効印字幅の範囲内で行ってください。（マイナス方向に微調を行って座標0に到達したフィールドは、それ以上マイナス方向に調整しても0のままとなります）
- ・ 自己診断結果印字およびテスト印字のときは、X方向座標の微調値を無視します。
- ・ 印字濃度の初期微調値は「0」です。
- ・ リボンモーター駆動電圧微調値は、PCの微調コマンドとシステムモード（本体キー操作）の設定値の和となります。（巻き取り側、バックテンション側ともに）
ただし、微調値の最大値は、巻き取り側が+6、-15、バックテンション側が+10、-15です。
- ・ 印字濃度微調値は、PCの微調コマンドとシステムモード（本体キー操作）の設定値の和となります。
ただし、微調値の最大値は転写が±10、発色が±10です。

●設定内容の詳細

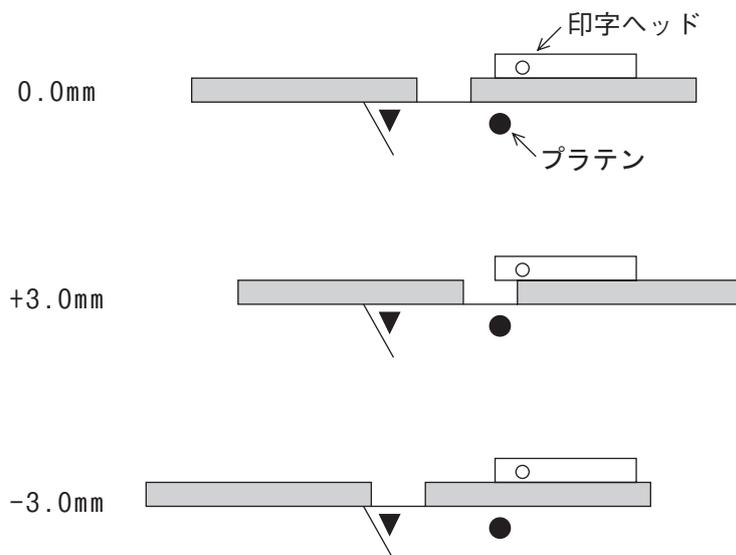
(1)フィード量微調(FEED ADJ.)



(2)カット位置(またはハクリ停止位置)微調(CUT ADJ.)

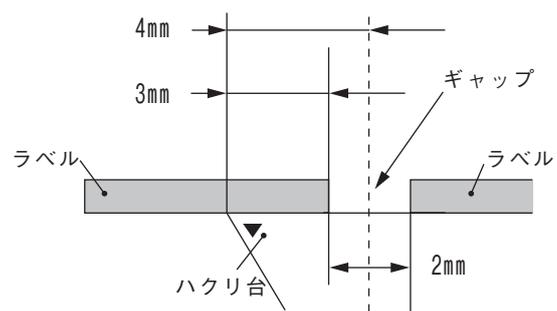


【ハクリ停止位置微調】

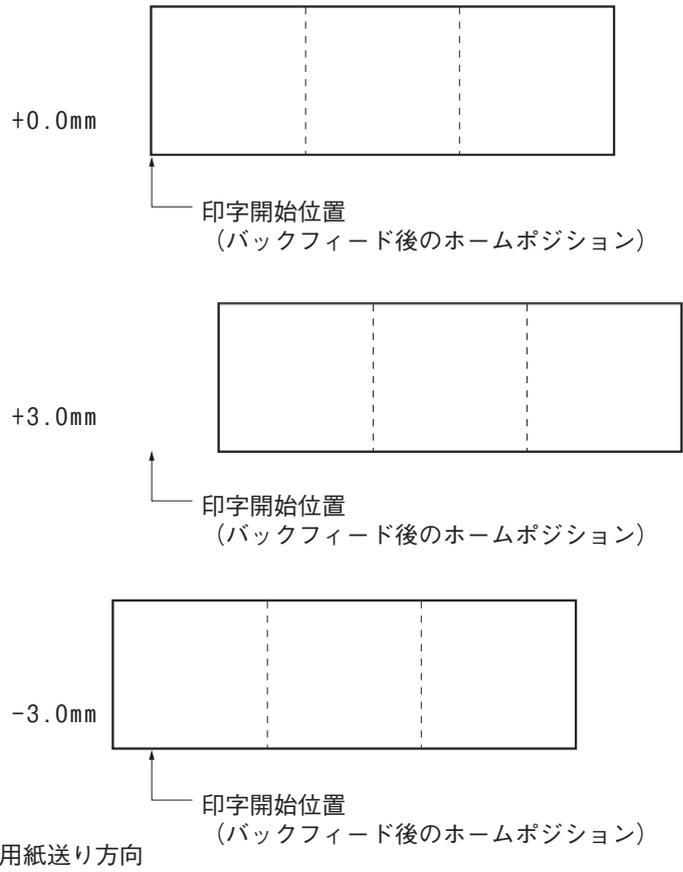
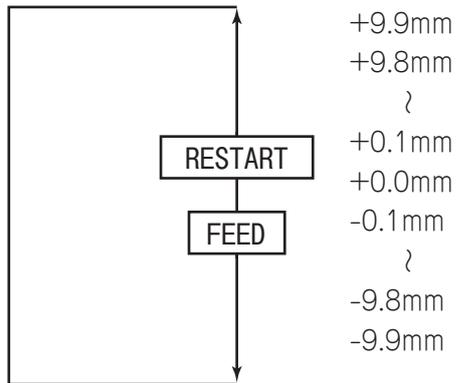


補足

- ハクリ発行時の印字停止位置は、ラベル間ギャップの中心からハクリ台先端までの距離が、4mmになるように停止します。
これは、ラベル間ギャップ2mmを想定して設計しているためです。
- ラベル間ギャップが大きい場合など、停止位置が適切でないときは、ハクリ停止位置微調で印字停止位置を変更してください。



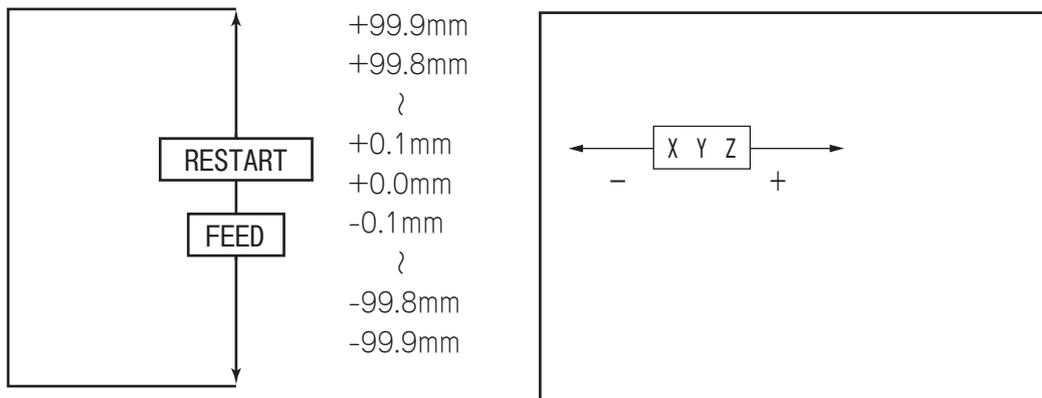
(3)バックフィード量微調(BACK ADJ.)



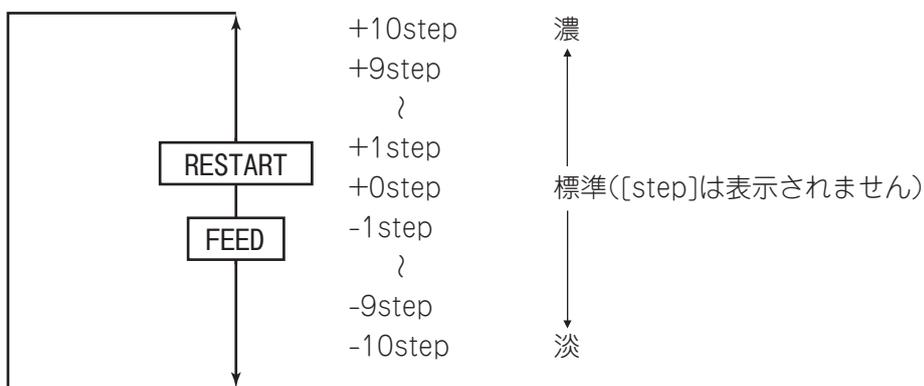
補足

- バックフィード動作時は、条件によって正転した距離と同じ距離だけバックフィードしても、元の位置まで戻らない場合があります。
用紙検出センサーを使用して発行する場合、印字ヘッド～用紙センサー間の距離(67.9mm)とほぼ同じサイズのラベルピッチ(またはタグピッチ)の用紙を使用してバックフィードを伴う動作(カット発行、ハクリ発行、自動正転待機)をする場合、バックフィードして元の位置まで戻らないことによるエラーが発生することがあります。このようなときは、+方向(バックフィード量を多くする)のバックフィード量微調を設定し、エラーが発生しないようにしてください。

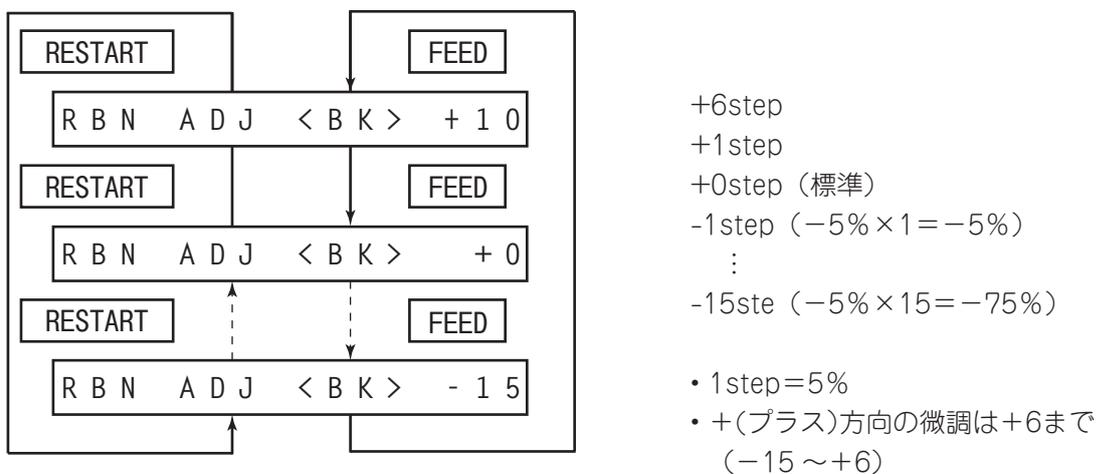
(4) X方向座標微調(X ADJUST)



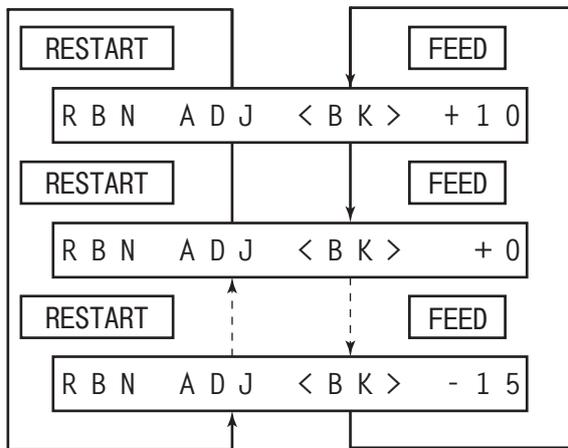
(5) 印字濃度微調(直接発色)(TONE ADJ.)



(6) リボンモーター駆動電圧微調(巻き取り側)(RBN ADJ <FW>)



(7)リボンモーター駆動電圧微調(巻き取り側)(RBN ADJ <FW>)



+10step (+5% × 10 = +50%)

⋮

+0step (標準)

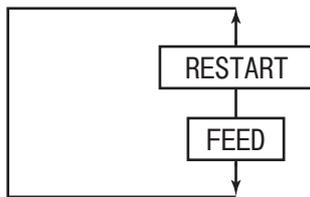
⋮

-15step (-5% × 15 = -75%)

• 1step=5%

• +(プラス)方向の微調は+10まで
(-15 ~ +10)

(8)下反射センサー手動スレッシュールド微調(THRESHOLD <R>)

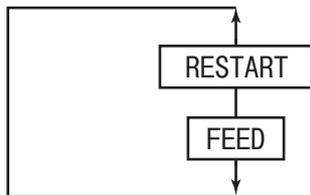


• 4.0V
} (0.1V単位)

• 0.0V

注) 微調設定で0.0Vを設定した場合、電源OFF→ONで初期値の1.4Vに補正されます。

(9)透過センサー手動スレッシュールド微調(THRESHOLD <T>)



• 4.0V
} (0.1V単位)

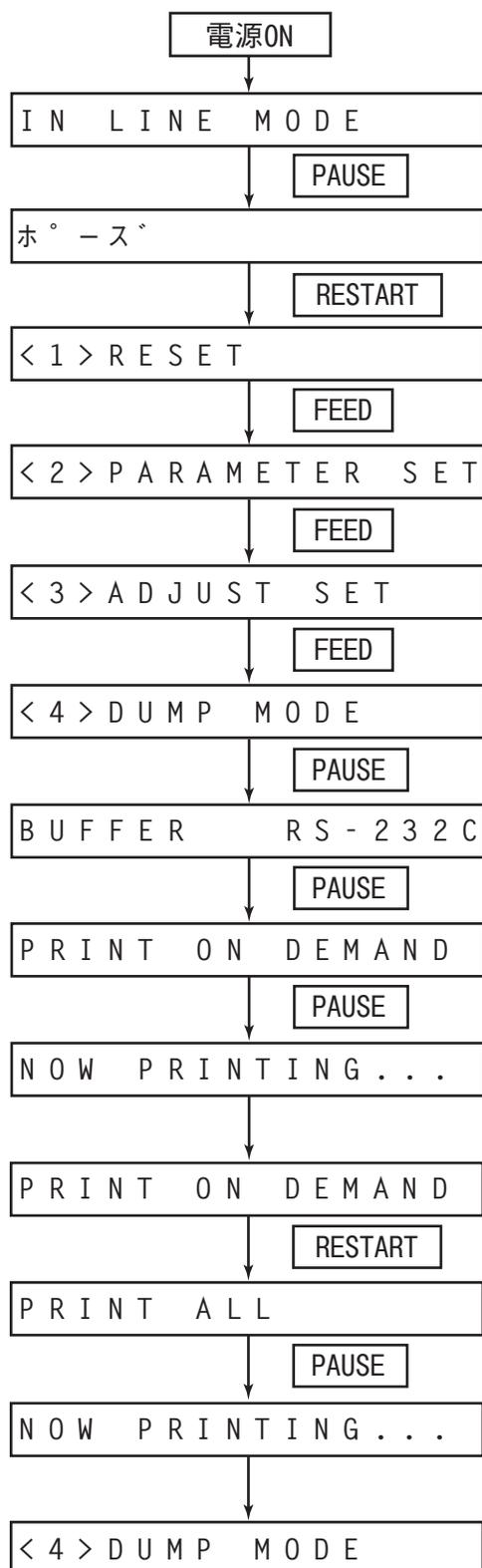
• 0.0V

注) 微調設定で0.0Vを設定した場合、電源OFF→ONで初期値の1.0Vに補正されます。

受信バッファのダンプリスト出力

受信バッファのダンプリスト出力操作について説明します。

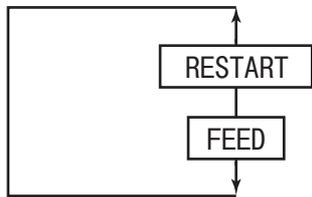
●操作例



- (1) 待機中です。
- (2) [PAUSE]を押します。
- (3) ポーズ状態になります。
- (4) ポーズ状態中に[RESTART]を3秒以上押し続けます。
- (5) リセットのメニューが表示します。
- (6) [FEED]を押します。
- (7) パラメータ設定のメニューが表示します。
- (8) [FEED]を押します。
- (9) 微調値設定のメニューが表示します。
- (10) [FEED]を押します。
- (11) ダンプリスト出力モードのメニューが表示します。
- (12) [PAUSE]を押します。
- (13) 出力する受信バッファを選択します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (14) [PAUSE]を押します。
- (15) 印字方法を選択します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (16) [PAUSE]を押します。
- (17) 受信バッファデータの印字が開始します。
- (18) 用紙サイズの行数分印字します。
- (19) 印字方法を選択します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (20) [RESTART]で選択します。
- (21) 印字方法を選択します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (22) [PAUSE]を押します。
- (23) 受信バッファデータの印字が開始します。
- (24) 残りをすべて印字します。
- (25) 印字終了後、ダンプリスト出力モードのメニューに戻ります。

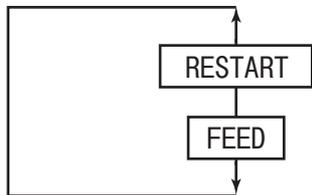
●設定内容の詳細

(1)受信バッファ選択(BUFFER)



- RS-232C : RS-232C受信バッファ
- CENTRO. : セントロニクス受信バッファ
- NETWORK : ネットワークI/F受信バッファ
- BASIC1 : ベーシックインタプリタ
I/F → インタプリタ間バッファ
- BASIC2 : ベーシックインタプリタ
インタプリタ → プリンタ間バッファ
- USB : USB受信バッファ

(2)印字方式選択(PRINT)



- ON DEMAND : 166行分(約50cm)を印字後、一旦停止する。
- ALL : バッファデータをすべて印字するまで止まらない。

●ダンプリスト出力イメージ

```

:
:
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 .....
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 .....
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 .....
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 .....
7B 41 58 3B 2B 30 30 30 2C 2B 30 30 30 2C 2B 30 {AX;+000,+000,+0
30 7C 7D 7B 44 30 37 37 30 2C 31 31 30 30 2C 30 0|}{D0760,1100,0
37 34 30 7C 7D 7B 43 7C 7D 7B 4C 43 3B 30 30 33 740|}{C|}{LC;003
30 2C 30 30 32 30 2C 30 30 33 30 2C 30 36 36 30 0,0020,0030,0660
2C 30 2C 32 7C 7D 7B 4C 43 3B 30 30 37 30 2C 30 ,0,2|}{LC;0070,0
30 32 30 2C 30 30 37 30 2C 30 36 36 30 2C 30 2C 020,0070,0660,0,
39 7C 7D 7B 4C 43 3B 30 30 35 30 2C 30 30 32 30 9|}{LC;0050,0020
:
:
44 45 46 47 48 49 4A 7C 7D 7B 50 43 31 30 3B 30 DEFGHIJ|}{PC10;0
33 35 30 2C 30 34 30 30 2C 31 2C 31 2C 4B 2C 30 350,0400,1,1,K,0
30 2C 42 3D 41 42 43 44 65 66 67 68 69 6A 6B 6C 0,B=ABCDefghijkl
:
6D 6E 6F 70 7C 7D 7B 50 56 30 32 3B 30 33 33 30 mnop|}{PV02;0330
2C 30 36 36 30 2C 30 32 37 30 2C 30 32 35 30 2C ,0660,0270,0250,
41 2C 30 30 2C 42 3D 42 7C 7D 7B 50 56 30 33 3B A,00,B=B|}{PV03;
:
:
3B 30 39 30 30 2C 30 31 38 30 2C 54 2C 48 2C 30 ;0900,0180,T,H,0
35 2C 41 2C 30 3D 31 32 33 34 35 36 37 38 39 30 5,A,0=1234567890
41 42 43 44 45 7C 7D 00 00 00 00 00 00 00 00 00 ABCDE|}.....
    
```



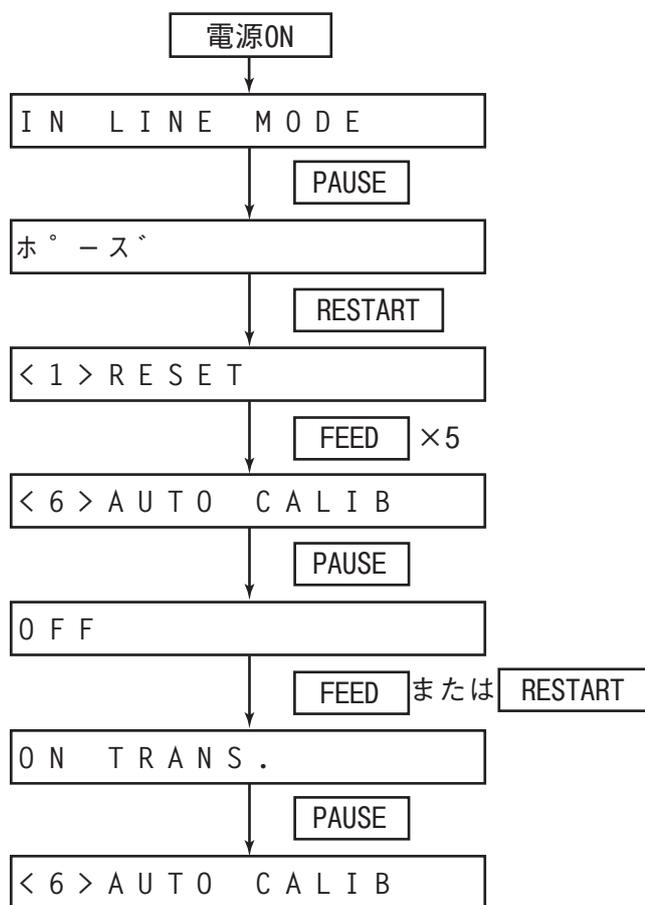
補足

- 印字条件
 - * 印字幅 : 約100mm
 - * センサー指定 : なし
 - * 印字速度 : 4インチ/秒
 - * 1行に16バイト分を印字します。
 - * 新しいデータから古いデータに向かって印字します。
 - * 受信バッファライトポインタが指しているデータは肉太文字で印字します。
- 受信バッファサイズ
 - RS-232C : 1MB (65536行印字)
 - セントロニクス : 1MB (65536行印字)
 - ネットワークI/F : 1MB (65536行印字)
 - ベーシック1 : 8KB (512行印字)
 - ベーシック2 : 8KB (512行印字)
 - USB : 1MB (65536行印字)
- すべての受信データを印字するためには、以下に示す用紙枚数が必要となります。
 - RS-232C : 198.2m
 - セントロニクス : 198.2m
 - ネットワークI/F : 198.2m
 - ベーシック1 : 2m
 - ベーシック2 : 2m
 - USB : 198.2m
- 受信データダンプ印字中にエラーが発生した場合は、エラーメッセージを表示して発行を停止します。
また、エラーは[PAUSE]を押すと解除され、受信データダンプモード表示 (<4> DUMP MODE)に戻ります。
エラー復帰後の自動再発行は行いません。

オートキャリブレーション設定

本機の電源ON時に、手動スレッシュホールド値を自動的に校正させる設定です。
 この設定が「有効」の場合、電源投入時またはヘッド開閉時に自動的に用紙をフィードして黒マークまたはギャップを探し、センサー手動スレッシュホールド、ラベルピッチを算出して印字開始位置で停止します。
 なお、コマンド指定された用紙長、有効印字長、およびセンサー種は無視されます。

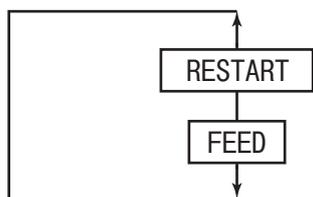
●操作例



- (1) 待機中です。
- (2) [PAUSE]を押します。
- (3) ポーズ状態になります。
- (4) ポーズ状態中に[RESTART]を3秒以上押し続けます。
- (5) リセットのメニューが表示します。
- (6) [FEED]を5回押します。
- (7) オートキャリブレーションのメニューが表示します。
- (8) [PAUSE]を押します。
- (9) オートキャリブレーションを選択します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (10) 設定内容が表示します。
- (11) [PAUSE]を押すと設定内容が確定します。
- (12) オートキャリブレーションのメニューに戻ります。

●設定内容の詳細

●オートキャリブレーション設定(AUTO CALIB)



- OFF : 無効
- ON TRANS.. : 透過センサー有効
- ON REFLECT : 下反射センサー有効

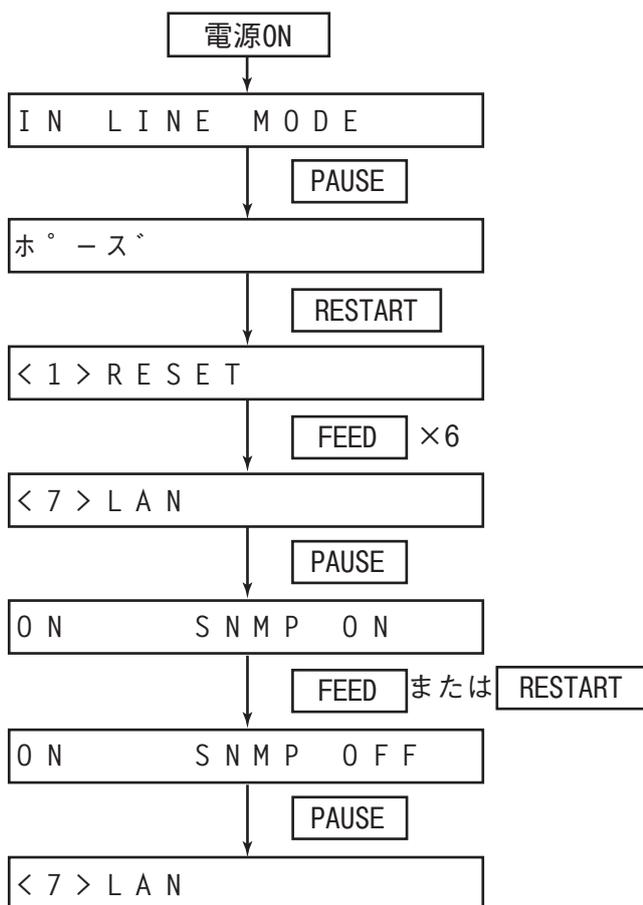
補足

- この設定が「有効」の場合、電源投入時またはヘッド開閉時にオートキャリブレーション動作を開始します。
- この設定が「有効」の場合、コマンド指定された用紙長、有効印字長、およびセンサー種は無視されます。
- 下反射センサーが「有効」の場合、下反射センサー入力値から最も入力値が低い部分を見つけて黒マークと見なし、下反射センサー手動スレッシュホールド微調値を加えて黒マークのスレッシュホールドとします。
- 透過センサーが「有効」の場合、透過センサー入力値から最も入力値が低い部分を見つけてギャップと見なし、透過センサー手動スレッシュホールド微調値を引いてギャップのスレッシュホールドとします。
- 動作開始から160.0mmまでセンサー入力値をサンプリングし、スレッシュホールドを決定します。
すでに2個以上の黒マークまたはギャップが存在しているときは、用紙長も算出して実測黒マークまたはギャップの終端1mm前で停止します。
- 上記条件の下で2個目の黒マークまたはギャップを認識できない場合は、検出動作を延長して黒マークまたはギャップを探し、最大500.0mmまで延長して見つけれないときは、フィードジャムとして停止します。
- オートキャリブレーション動作が可能な用紙ピッチは、10.0mm～150.0mmまでです。
- カッターモジュールを装着している場合で、前回の発行がカット発行のときは、停止後に排出カットを行います。
- ハクリ停止位置発行時にオートキャリブレーションは機能しません。
- オートキャリブレーション動作中にラベルエンド、ヘッドオープンエラーはエラー停止します。ヘッドクローズによってエラーが解除されると、動作を再開します。
- オートキャリブレーション動作中は、必ずリボン駆動を行ってください。リボンが無い場合はエラーにはなりませんが、動作終了後に動作条件がリボン無しに設定されます。

LAN有効／無効設定

本機をコンピュータにLAN接続する場合は「有効」に設定します。LAN接続しないときは、必ず「無効(OFF)」に設定してください。

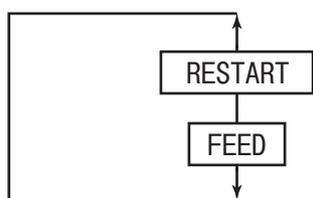
●操作例



- (1) 待機中です。
- (2) [PAUSE]を押します。
- (3) ポーズ状態になります。
- (4) ポーズ状態中に[RESTART]を3秒以上押し続けます。
- (5) リセットのメニューが表示します。
- (6) [FEED]を6回押します。
- (7) LAN有効／無効設定のメニューが表示します。
- (8) [PAUSE]を押します。
- (9) LANの有効／無効を設定します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (10) 設定内容が表示します。
- (11) [PAUSE]を押すと設定内容が確定します。
- (12) LAN有効／無効設定のメニューに戻ります。

●設定内容の詳細

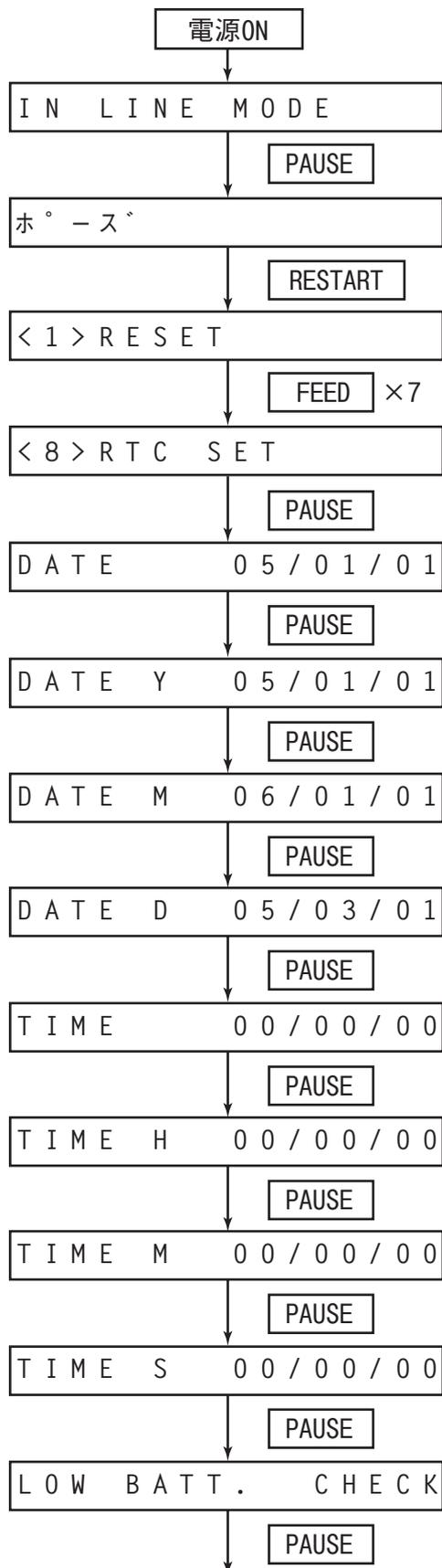
●LAN有効／無効設定(LAN)



- OFF : 無効
- ON SNMP ON. : LAN有効 SNMP有効
- ON SNMP OFF : LAN有効 SNMP無効

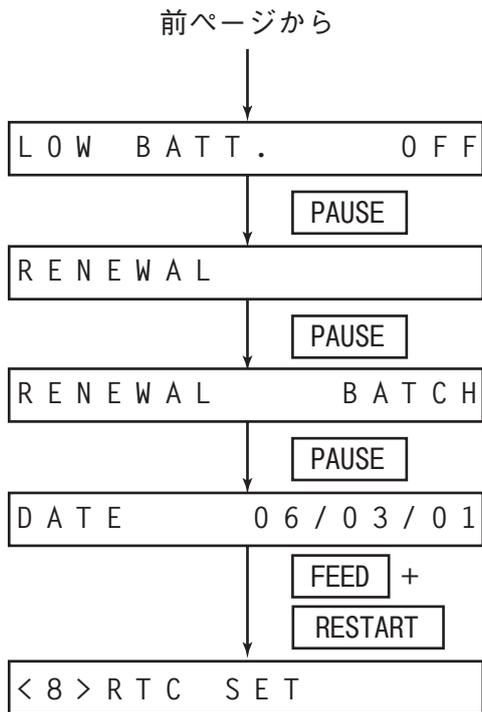
RTC設定

●操作例



次ページに続く

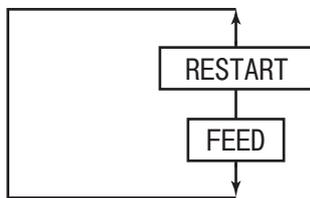
- (1) 待機中です。
- (2) [PAUSE]を押します。
- (3) ポーズ状態になります。
- (4) ポーズ状態中に[RESTART]を3秒以上押し続けます。
- (5) リセットのメニューが表示します。
- (6) [FEED]を7回押します。
- (7) RTC設定メニューが表示します。
- (8) [PAUSE]を押します。
- (9) 現在の年月日が表示します。
- (10) [PAUSE]を押します。
- (11) 年を変更します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (12) [PAUSE]を押します。
- (13) 月を変更します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (14) [PAUSE]を押します。
- (15) 日を変更します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (16) [PAUSE]を押します。(日付確定)
- (17) 現在の時分秒が表示します。
- (18) [PAUSE]を押します。
- (19) 時を変更します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (20) [PAUSE]を押します。
- (21) 分を変更します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (22) [PAUSE]を押します。
- (23) 秒を変更します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (24) [PAUSE]を押します。(時刻確定)
- (25) ローバッテリーチェックの有効/無効を設定します。
- (26) [PAUSE]を押します。



- (27) 現在の設定内容が表示しますので、[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (28) [PAUSE]を押します。
- (29) RTCデータ更新タイミングを設定します。
- (30) [PAUSE]を押します。
- (31) 現在の設定内容が表示しますので、[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (32) [PAUSE]を押します。
- (33) 現在の年月日表示に戻ります。
- (34) [FEED]と[RESTART]を同時に押します。
- (35) RTC設定メニューに戻ります。

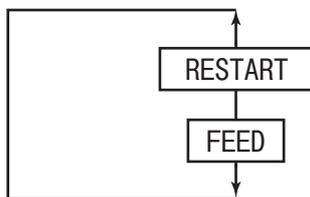
●設定内容の詳細

•RTCローバッテリーチェック設定(LOW BATT. CHECK)



- OFF :無効
- ON :有効

•RTCデータ更新タイミング設定(RENEWAL)



- BATCH:バッチ毎
- PAGE :ページ毎

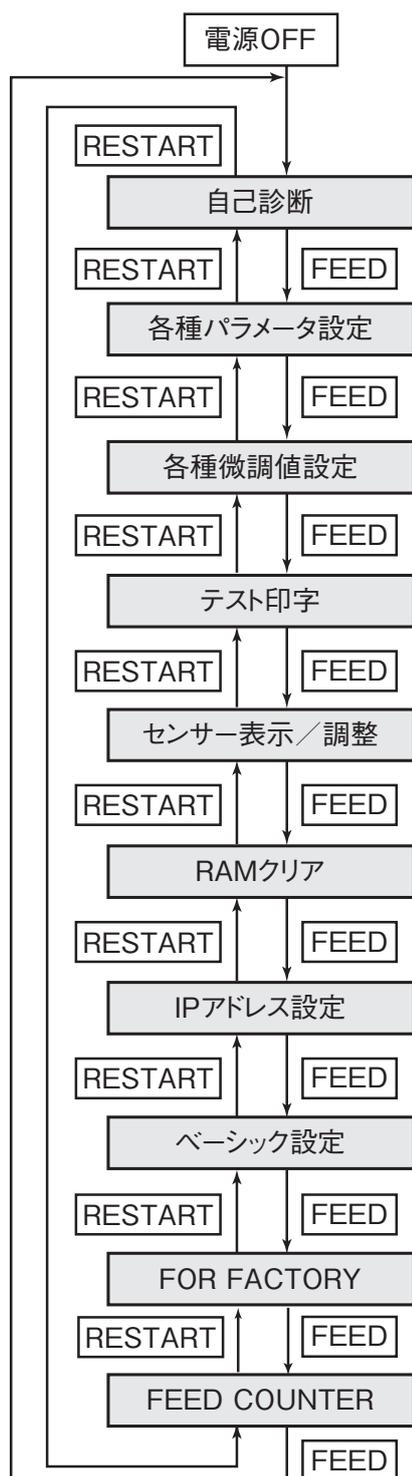
補足

- RTCデータ利用時は必ず電池を装着してください。
- 電池未装着時およびローバッテリー状態では、本機の電源OFF時にRTCデータは維持されません。
- ローバッテリーチェックがONになっている場合、バッテリー電圧が2.4V以下であれば電源投入時にエラー停止します。[RESTART]は効きませんが、[RESTART]を長押しすると簡易システムモードへ移行できます。
- 工場出荷時はローバッテリーチェックは「OFF」になってます。
- RTC機能を使用する場合は、ローバッテリーチェックを「ON」にしてください。
- ローバッテリーチェックをOFFにすると、ローバッテリー状態でもRTC機能は利用可能です。ただし、電波投入後にRTCの設定／確認が必要です。

システムモードの機能

システムモードの機能には、「自己診断」、「各種パラメータ設定」、「各種微調値設定」、「テスト印字」、「センサー調整」、「RAMクリア」、「IPアドレス設定」、「ベーシック設定」などがあります。

システムモードの概要



[FEED]と[PAUSE]を押しながら電源ON

<1> 発行中にエラーが発生すると、エラーメッセージが表示し、自動的に発行を停止します。

本機の自己診断および結果印字
印字ヘッド断線チェック

<2> 各種パラメータ設定

※ 設定操作は「各種パラメータ設定内容の変更」を参照してください。(→P.44)

<3> 各種微調値設定

※ 設定操作は「各種微調値設定内容の変更」を参照してください。(→P.54)

<4> パラメータ設定・斜線1ドット印字・斜線3ドット印字・キャラクター印字・バーコード印字・白紙印字・組立工程用自動印字

<5> 印字ヘッド温度センサー表示・外気温センサー表示・反射セ本機の自己診断および結果印字ンサー表示/調整・紙なし判定レベル登録・透過センサー表示/調整

<6> メンテナンスカウンタークリア
各種パラメータクリア

<7> IPアドレス設定

<8> ベーシック設定

<9> 工程用オプションチェック

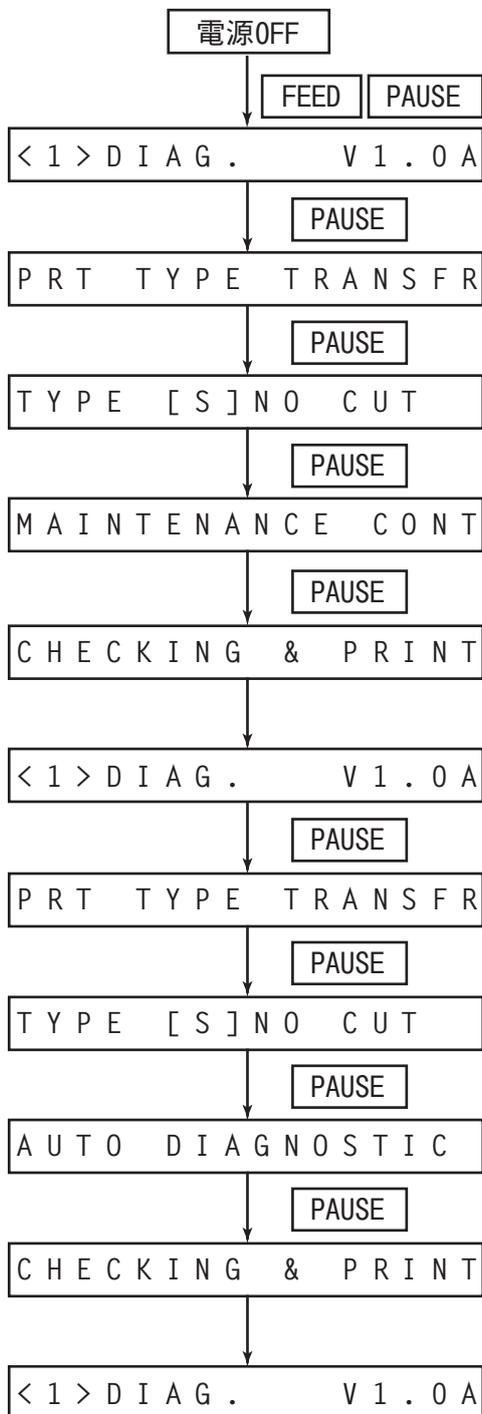
※ 出荷工程時に行うチェックです。
したがって、操作例は記載していません。

<10> ラベル走行距離の警告設定

※ サービスマンが行う設定です。
したがって、操作例は記載していません。

自己診断

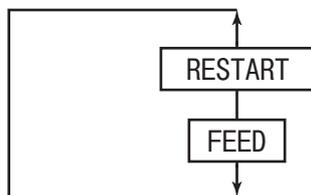
(1) メンテナンスカウンター・各種パラメータ印字・自動自己診断印字



- (1) 電源OFF状態です。
- (2) [FEED]と[PAUSE]を押しながら、電源をONにします。
- (3) 自己診断メニューが表示します。
- (4) [PAUSE]を押します。
- (5) 印字方式を選択します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (6) [PAUSE]を押します。
- (7) 発行タイプを選択します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (8) [PAUSE]を押します。
- (9) メンテナンスカウンターおよび各種パラメータの印字モードが表示します。
- (10) [PAUSE]を押します。
- (11) メンテナンスカウンターおよび各種パラメータのチェックが開始します。
- (12) 結果が印字されます。
- (13) 自己診断メニューに戻ります。
- (14) [PAUSE]を押します。
- (15) 印字方式を選択します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (16) [PAUSE]を押します。
- (17) 発行タイプを選択します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (18) [PAUSE]を押します。
- (19) 自動自己診断モードが表示します。
- (20) [PAUSE]を押します。
- (21) 自動自己診断チェックが開始します。
- (22) 結果が印字されます。
- (23) 自己診断メニューに戻ります。

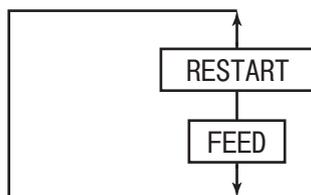
●設定内容の詳細

●印字方式選択(PRT TYPE)



- TRANSFR (熱転写方式)
- DIRECT (感熱方式)

●発行タイプ設定(TYPE)

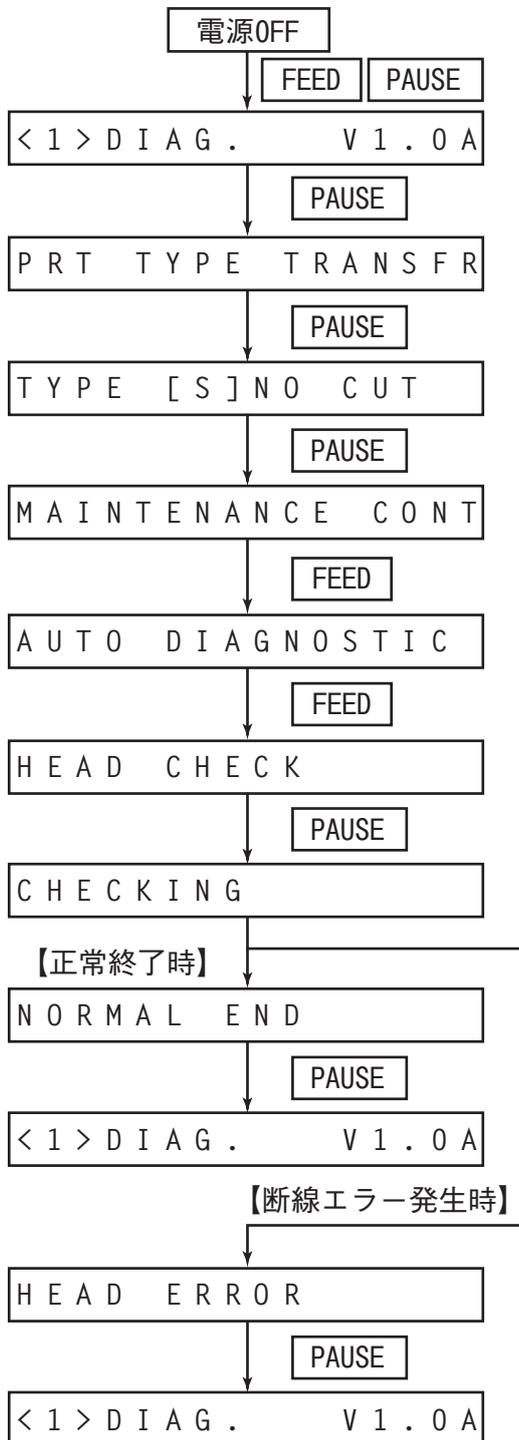


- [S]NO CUT (連続発行)
- [C]WITH CUT (カット発行)

補足

- 自己診断結果の印字中にエラーが発生した場合は、エラーメッセージを表示して発行を停止します。
また、[PAUSE]を押してエラーを解除すると、システムモードメニューの表示に戻りますが、エラー復帰後の自動的な再発行は行いません。

(2)ヘッド断線チェック



- (1) 電源OFF状態です。
- (2) [FEED]と[PAUSE]を押しながら、電源をONにします。
- (3) 自己診断メニューが表示します。
- (4) [PAUSE]を押します。
- (5) 印字方式を選択します。
- (6) [PAUSE]を押します。
- (7) 発行タイプを選択します。
- (8) [PAUSE]を押します。
- (9) メンテナンスカウンタおよび各種パラメータの印字モードが表示します。
- (10) [FEED]を押します。
- (11)自動自己診断モードが表示します。
- (12) [FEED]を押します。
- (13)ヘッド断線チェックモードが表示します。
- (14) [PAUSE]を押します。
- (15)ヘッド断線チェックが開始します。
- (16)結果が表示されます(正常終了)。
- (17) [PAUSE]を押します。
- (18)自己診断メニューに戻ります。
- (16)結果が表示されます(エラー終了)。
- (17) [PAUSE]を押します。
- (18)自己診断メニューに戻ります。

(3)自己診断項目

●メンテナンスカウンター・各種パラメータ印字

①メンテナンスカウンター

- 総ラベル走行距離(クリアできません)
- ラベル走行距離
- RS-232Cハードエラー発生回数
- システムエラー発生回数
- リボンモーター駆動時間
- 印字距離
- カット回数
- 瞬時停電発生回数

②各種パラメータ

[コンピュータでの微調設定値]

- フィード量微調値
- カット位置(またはハクリ停止位置)微調値
- バックフィード量微調値
- 印字濃度微調値[転写]
- 印字濃度微調値[直接発色]
- リボンモーター駆動電圧微調(巻き取り側)
- リボンモーター駆動電圧微調(バックテンション側)

[プリンタでの設定値]

- フィード量微調値
- カット位置(またはハクリ停止位置)微調値
- バックフィード量微調値
- 印字濃度微調値[転写]
- 印字濃度微調値[直接発色]
- リボンモーター駆動電圧微調(巻き取り側)
- リボンモーター駆動電圧微調(バックテンション側)
- X方向座標微調値
- 下反射センサー手動スレッシュホールド微調
- 透過センサー手動スレッシュホールド微調
- 文字コード種別
- キャラクター「0」の字体
- 通信速度
- データ長
- ストップビット長
- パリティ
- 伝送制御方式
- メッセージ表示言語
- カット発行時の正転待機
- 制御コード種別
- [FEED]キー機能
- 漢字特殊コード種別
- Euroフォントコード設定値
- 自動断線チェック設定
- セントロACK/BUSYタイミング設定
- WEBプリンタ機能設定
- nInit信号ON時のリセット切り換え
 - 拡張I / O動作モード設定
- プラグ&プレイ設定
- ラベルエンド/リボンエンド処理設定
- MaxiCode仕様設定
- オートキャリブレーション設定
- LAN有効/無効設定
- 各種IPアドレス設定
- MACアドレス
- 登録エリア設定
- ソケット通信設定
- ベーシックインタプリタ設定
- DHCP設定
- RTCバッテリーチェック設定
- RTCデータ更新タイミング設定
- ラベル走行距離の警告設定
- 総ラベル走行距離の警告設定
- カット後の逆転動作設定

●自動自己診断

①メモリーチェック

- プログラムエリア(機種・作成日・バージョン・チェックサム)
- ブートエリア(機種・作成日・バージョン・チェックサム)
- フォントエリアチェックサム
- ビットマップ漢字ROMチェックサム
- EEPROMチェック
- RAMチェック

②センサーチェック

- | | |
|-------------------|----------------------|
| •印字ヘッドオープンセンサー | •外気温センサー |
| •上反射センサー | •透過センサー |
| •下反射センサー | •リボン巻き取りモーターセンサー |
| •カッターホームポジションセンサー | •リボンバックテンションモーターセンサー |
| •印字ヘッド温度センサー | |
| •紙なしレベル設定値 | |
| •手動スレッシュホールド設定値 | |

③拡張I/Oループバックチェック

④内部シリアルI/Fループバックチェック

⑤SIOループバックチェック

(4)自己診断結果印字例

●メンテナンスカウンター・各種パラメータ印字

```

TOTAL FEED  1.1km          [JA]
FEED        1.1km
PRINT       0.5km
CUT         96
RIBBON      3h
232C ERR    255
SYSTEM ERR  0
POWER FAIL  0
[PC]
FEED        +2.0mm        [KEY]
CUT         +0.0mm        FEED        +0.0mm
BACK       +0.0mm        CUT         +0.0mm
TONE(T)    +0step        BACK       +0.0mm
TONE(D)    +0step        TONE(T)    +0step
RBN(FW)    -10           TONE(D)    +0step
RBN(BK)    +0            RBN(FW)    -8
X ADJ.     +0.0mm        RBN(BK)    +0
THRESHOLD(R) 1.0V
THRESHOLD(T) 1.4V
FONT        [PC-850]     [0]
SPEED       [9600]
DATA LENG. [8]
STOP BIT    [1]
PARITY      [EVEN]
CONTROL     [XON+READY AUTO]
MESSAGE     [JAPANESE]
FORWARD WAIT [ON] +0.0mm
CODE        [AUTO]
FEED KEY    [FEED]
KANJI       [TYPE1]
EURO CODE   [B0]
AUTO HD CHK [OFF]
ACK/BUSY    [TYPE1]
WEB PRINTER [OFF]
INPUT PRIME [ON]
EX.I/O MODE [TYPE1]
PLUG & PLAY [OFF]
LBL/RBN END [TYPE1]
MAXI CODE SPEC. [TYPE1]
AUTO CALIB  [OFF]
LAN         [ON] SNMP ON]
PRTR IP ADDRESS [192.168.010.020]
GATE IP ADDRESS [000.000.000.000]
SUBNET MASK  [255.255.255.000]
MAC ADDRESS  [00-80-91-34-00-CC]
TTF AREA    [640KB]
EXT CHR AREA [128KB]
BASIC AREA  [ 64KB]
PC SAVE AREA [ 64KB]
SOCKET PORT [OFF] [08000]
BASIC       [OFF]
BASIC TRACE [OFF]
DHCP        [OFF]
DHCP ID     [FFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFF]
DHCP HOST NAME [                ]
RTC BATT. CHK [ON]
RTC RENEW   [BATCH]
FEED LENGTH [3200km]
TOTAL LENGTH [3200km]
CUT         [WITH BACK]
    
```

補足

- ・ 診断結果の印字内容は説明のためのものであり、実際の印字内容と異なることがあります。

[印字条件]

ラベル長220mm、転写／発色(*）、センサー無し、4インチ／秒、1枚発行、連続発行
 (*):印字方式選択の内容による。

●自動自己診断印字

```

PROGRAM B-857-CTY-R
MAIN 15MAR2006 V1.0A:1A00
BOOT 20MAR2006 V1.0 :8500
FONT AD00
KANJI GOTHIC :9F00
MINCHO :7400
EEPROM OK
SDRAM 16MB
SENSOR1 00000000,00000111
SENSOR2 [H]23°C [A]180°C
[R(U)]4.2V [R(L)]4.0V
[T]2.5V
PE LV. [R(U)]1.2V [R(L)]1.3V
[T]4.3V
M THRE. [R]5.0V [T]5.0V
EXP.I/O NG
EX.232C NG
SIO NG NG
    
```

補足

- ・ 文字コード切り換えの設定内容により、「°」の「°」(度)の文字が正しく印字されないことがあります。

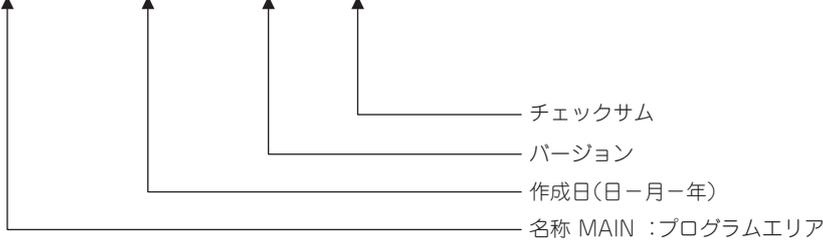
[印字条件]

ラベル長92mm、転写／発色(*）、センサー無し、4インチ／秒、1枚発行、連続発行
 (*):印字方式選択の内容による。

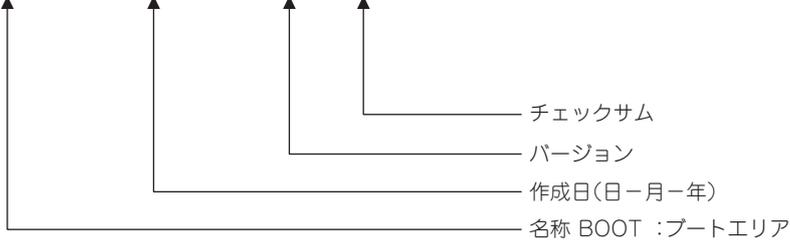
(5)メモリーチェック内容

PROGRAM B-857-CTY-R ←モデル名

MAIN MAR2006 V1.0A:1A00



BOOT 20MAR2006 V1.0:8500



FONT AD00 フォントエリアのチェックサム

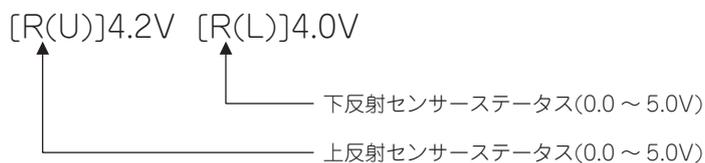
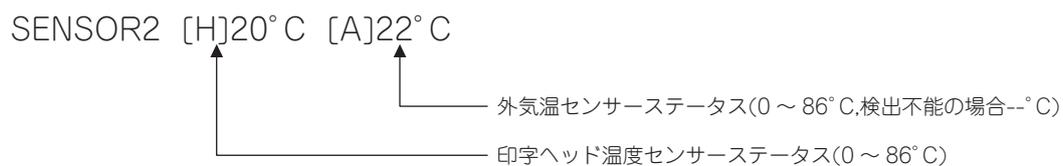
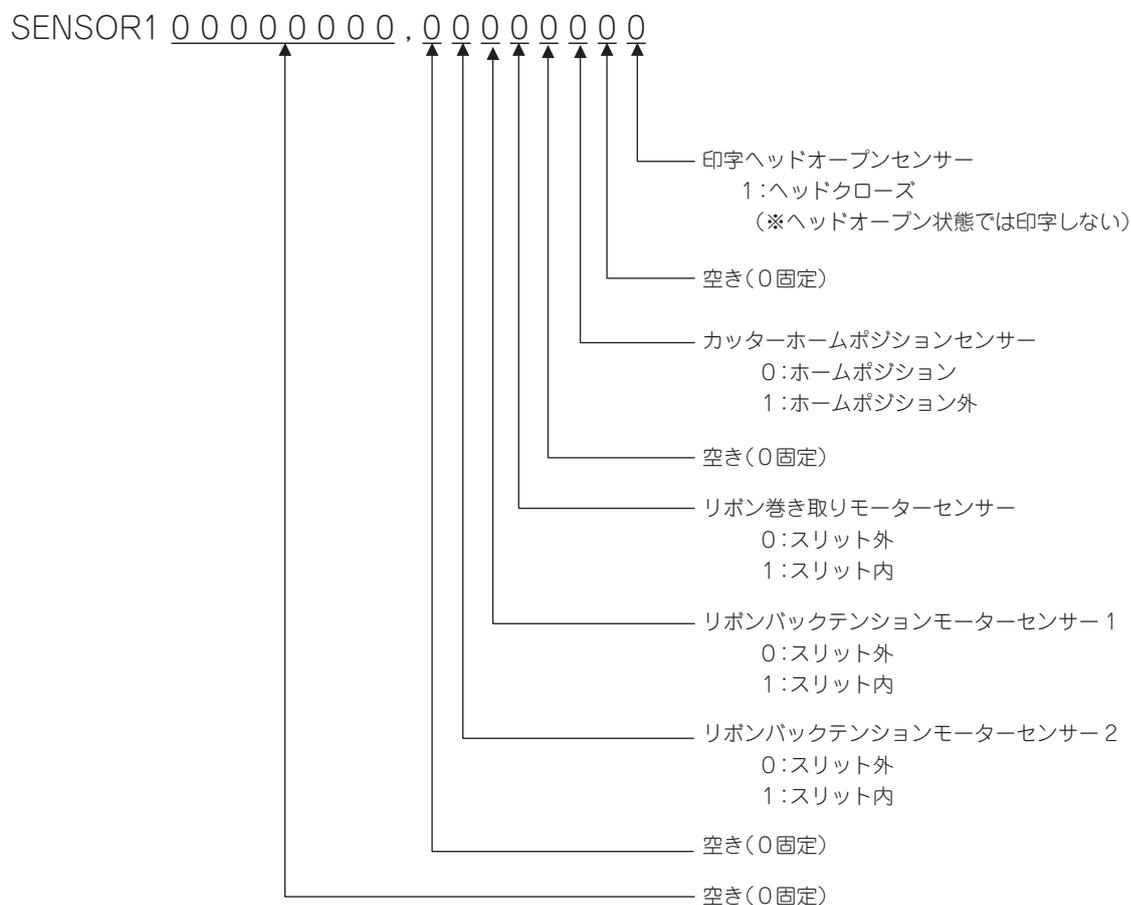
KANJI NONE :0000 — ゴシック体ビットマップ漢字エリアのチェックサム
 ↑
 NONE :漢字ROMなし
 GOTHIC :ゴシック体ビットマップ漢字ROM有り

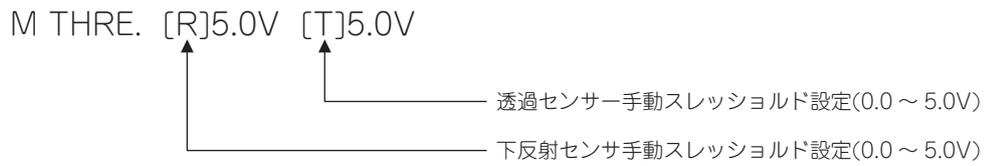
NONE :0000 明朝体(または中国語)ビットマップ漢字エリアのチェックサム
 ↑
 NONE :漢字ROMなし
 MINCHO :明朝体ビットマップ漢字ROM有り
 CHINESE :中国語ビットマップ漢字ROM有り

EEPROM OK — OK:チェック用エリアのデータが正しくリード/ライト可能。
 ↑
 NG:チェック用エリアのデータが正しくリード/ライトできない。
 バックアップ用メモリー (EEPROM)

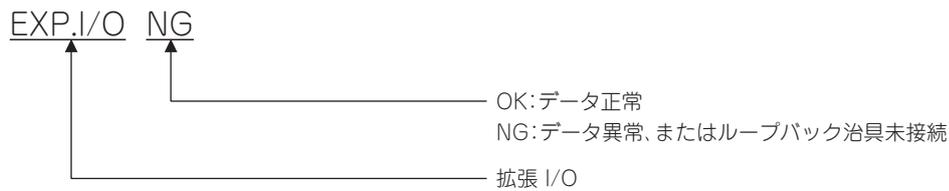
SDRAM 16MB SDRAMの容量
 ↑
 システム用・描画用メモリー

(6) センサーチェック内容

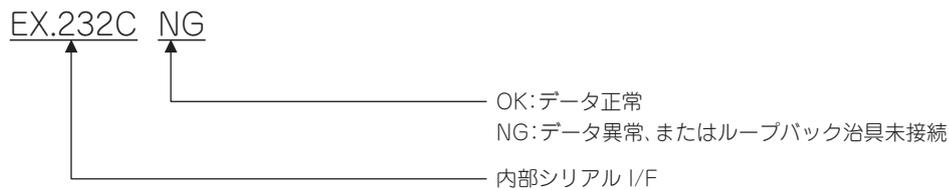




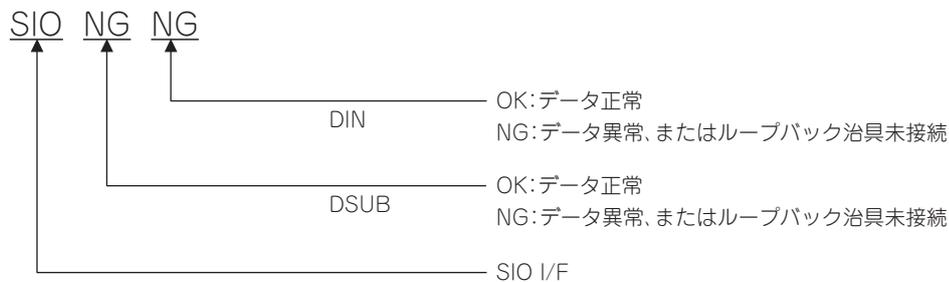
(7) 拡張 I/O チェック内容



(8) 内部シリアル I/F チェック内容

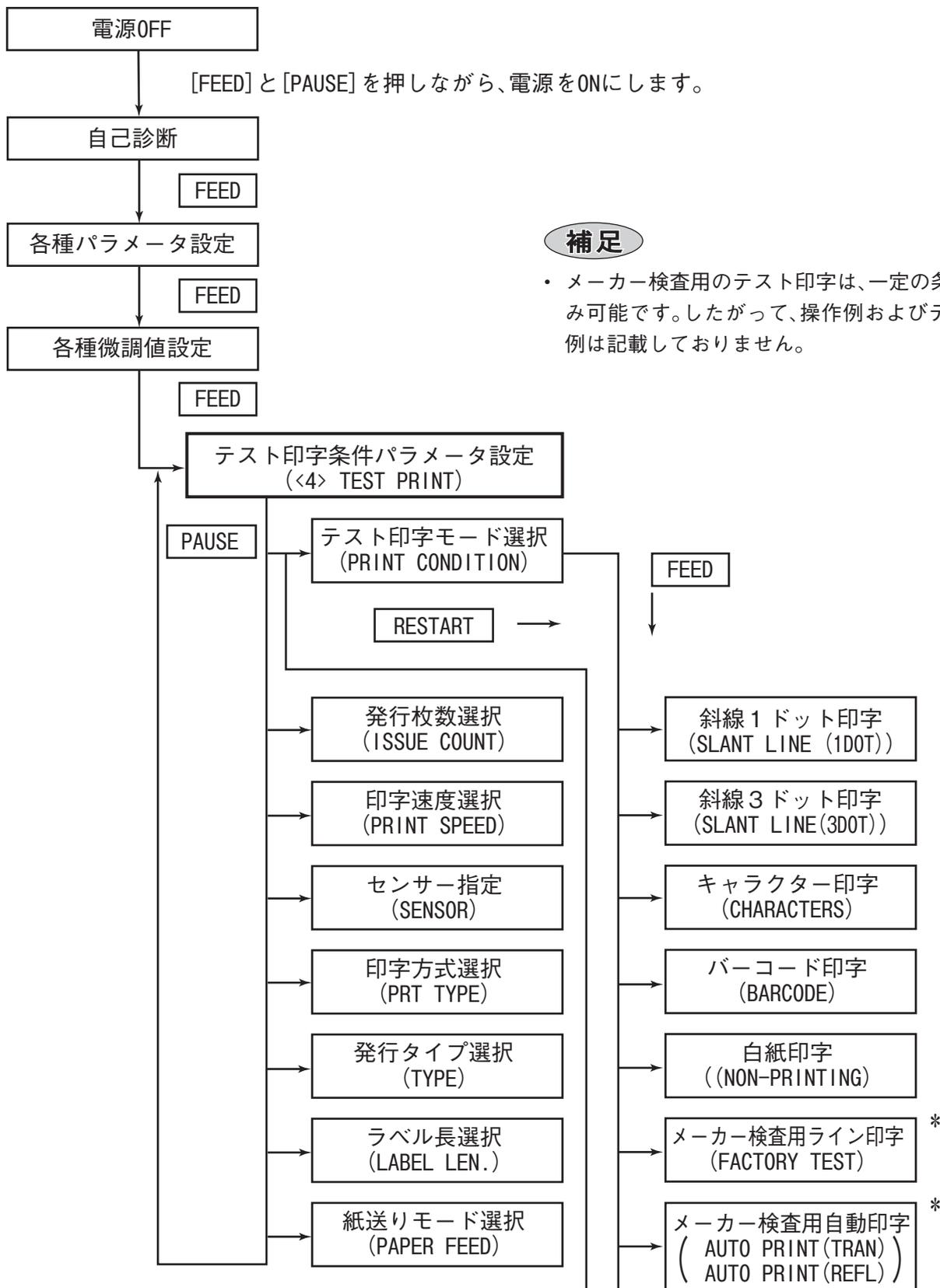


(9) SIO I/F チェック内容



テスト印字

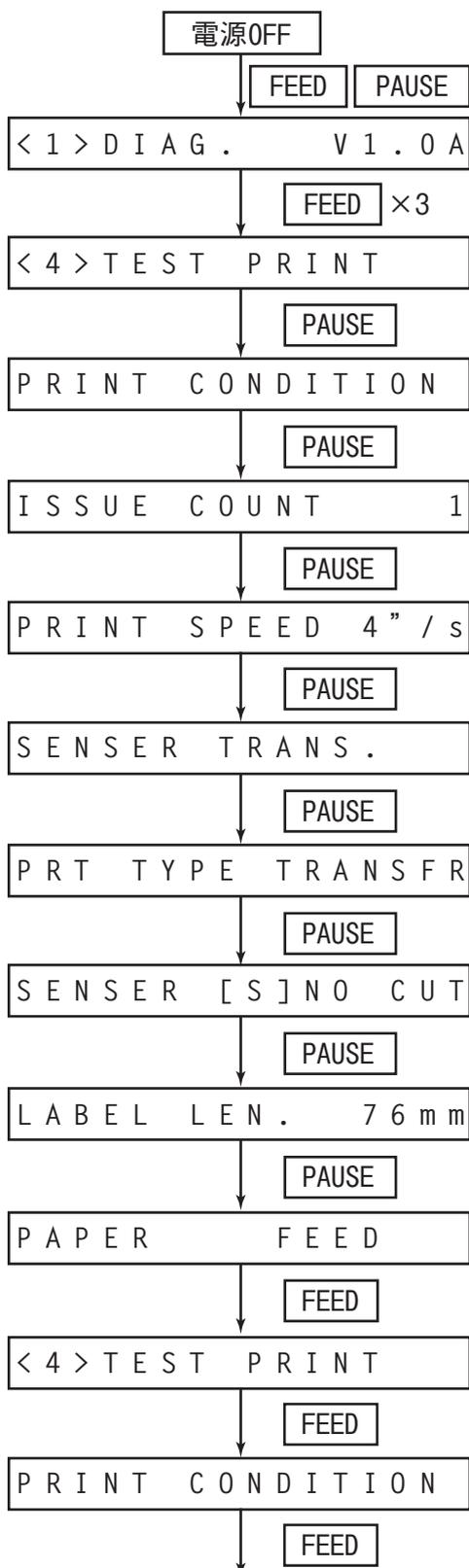
●テスト印字操作の概要



補足

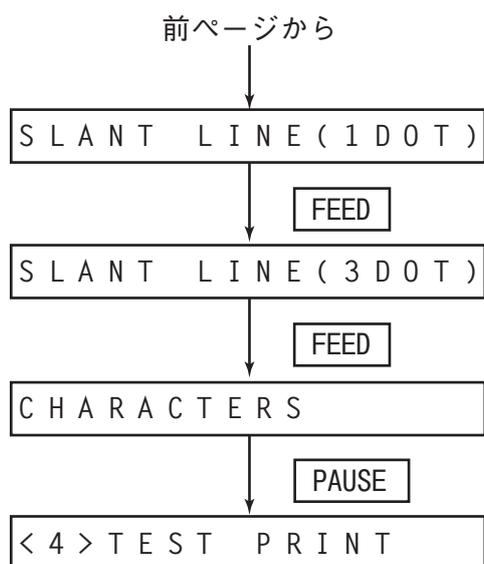
- メーカー検査用のテスト印字は、一定の条件下でのみ可能です。したがって、操作例およびテスト印字例は記載しておりません。

●操作例



次ページへ続く

- (1) 電源OFF状態です。
- (2) [FEED]と[PAUSE]を押しながら、電源をONにします。
- (3) 自己診断メニューが表示します。
- (4) [FEED]を3回押します。
- (5) テスト印字メニューが表示します。
- (6) [PAUSE]を押します。
- (7) テスト印字モードを選択します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (8) [PAUSE]を押します。
- (9) 発行枚数を選択します。
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (10) [PAUSE]を押します。
- (11) 印字速度を選択します。
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (12) [PAUSE]を押します。
- (13) センサー指定を選択します。
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (14) [PAUSE]を押します。
- (15) 印字方式を選択します。
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (16) [PAUSE]を押します。
- (17) 発行タイプを選択します。
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (18) [PAUSE]を押します。
- (19) ラベルサイズを選択します。
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (20) [PAUSE]を押します。
- (21) 1枚紙送りするかしないかを選択します。
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (22) [PAUSE]を押します。
- (23) テスト印字メニューに戻ります。
- (24) [PAUSE]を押します。
- (25) テスト印字モードを選択します。
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (26) [FEED]を押します。



(27) 斜線1ドット印字モードを選択します。

(28) [FEED]を押します。

(29) 斜線3ドット印字モードを選択します。

(30) [FEED]を押します。

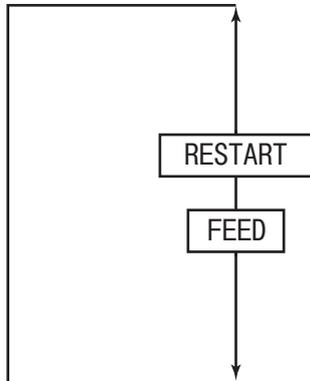
(31) キャラクター印字モードを選択します。

(32) [PAUSE]を押すと「キャラクター印字」を確定し、テスト印字を開始します。

(33) テスト印字が終わると、テスト印字メニューに戻ります。

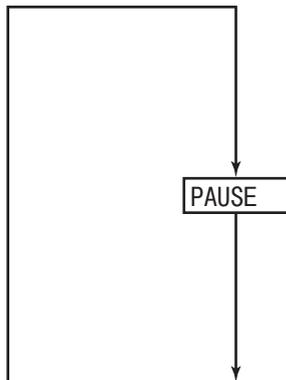
●設定内容の詳細

(1)テスト印字モード選択



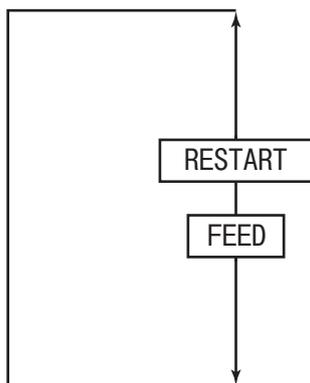
- PRINT CONDITION (テスト印字条件パラメータ設定)
- SLANT LINE (1DOT) (斜線1ドット印字)
- SLANT LINE (3DOT) (斜線3ドット印字)
- CHARACTERS (キャラクター印字)
- BARCODE (バーコード印字)
- NON-PRINTING (白紙印字)
- FACTORY TEST (本モードは選択しないでください)
- AUTO PRINT (TRAN) (本モードは選択しないでください)
- AUTO PRINT (REFL) (本モードは選択しないでください)

(2)テスト印字条件パラメータ設定(PRINT CONDITION)



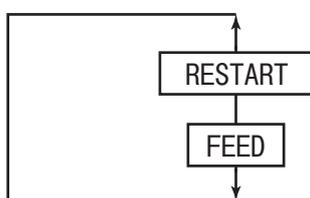
- ISSUE COUNT (枚数設定)
- PRINT SPEED (印字速度)
- SENSOR (センサー指定)
- PRT TYPE (印字方式)
- TYPE (発行タイプ)
- LABEL LEN. (ラベルサイズ)
- PAPER FEED (紙送りモード)
- <4>TEST PRINT (テスト印字メニュー)
- PRINT CONDITION (テスト印字条件パラメータ設定)

(3)枚数設定(ISSUE COUNT)



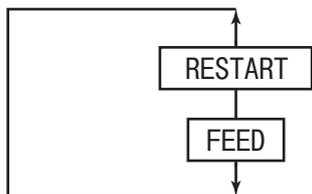
- 5000 (発行枚数5000枚)
- 1000 (発行枚数1000枚)
- 500 (発行枚数500枚)
- 100 (発行枚数100枚)
- 50 (発行枚数50枚)
- 10 (発行枚数10枚)
- 5 (発行枚数5枚)
- 3 (発行枚数3枚)
- 1 (発行枚数1枚)

(4)印字速度(PRINT SPEED)



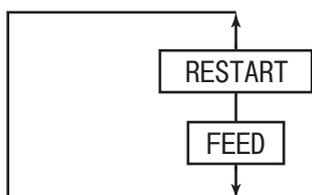
- 4" /sec (4インチ/秒)
- 2" /sec (2インチ/秒)

(5) センサー指定 (SENSOR)



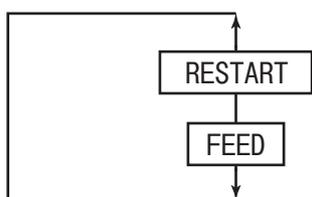
- NONE (位置検出無し)
- REFLECT. (下反射センサー)
- TRANS. (透過センサー)

(6) 印字方式 (PRT TYPE)



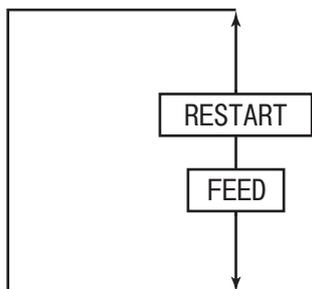
- TRANSFR (熱転写方式)
- DIRECT (感熱方式)

(7) 用紙サイズ (PAPER TYPE)



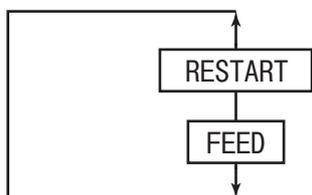
- [S] NO CUT (連続発行)
- [C] WITH CUT (カット発行)

(8) ラベルサイズ (LABEL LEN.)



- 999 (ラベル長999mm)
- 998 (ラベル長998mm)
- 997 (ラベル長997mm)
- }
- 7 (ラベル長7mm)
- 6 (ラベル長6mm)
- 5 (ラベル長5mm)

(9) 紙送り (PAPER)



- FEED (紙送り有り)
- NO FEED (紙送り無し)

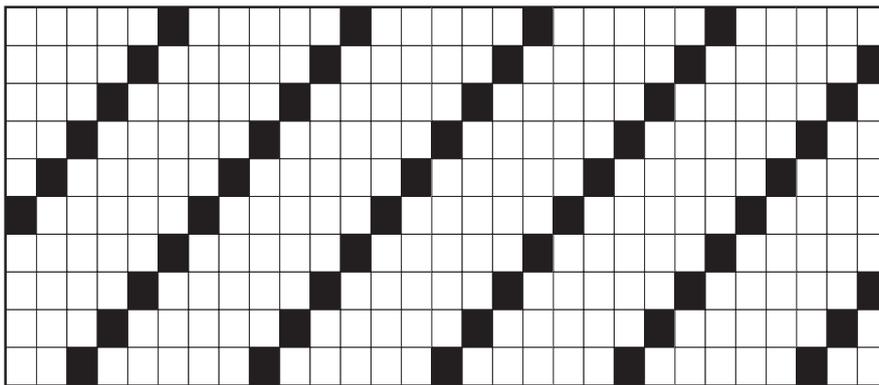
(10) 電源投入時の各パラメータの初期値

- メニュー選択 : テスト印字条件パラメータ設定
- 発行枚数 (ISSUE COUNT) : 1枚
- 印字速度 (PRINT SPEED) : 4インチ/秒
- センサー指定 (SENSOR) : 透過センサー
- 印字方式 (PRT TYPE) : 転写方式
- 発行タイプ (TYPE) : 連続発行 (カット無し)
- ラベルサイズ (LABEL LEN.) : 76mm
- 紙送り (PAPER) : 有り

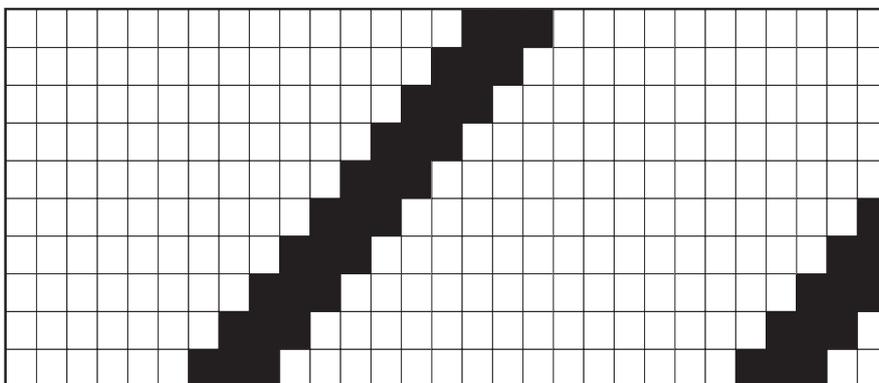
補足

- 選択するときに [FEED] と [RESTART] を同時に押すと、システムモードメニューの表示に戻ります。
- メニュー選択またはパラメータ設定時に、[FEED] または [RESTART] を0.5秒以上押し続けた場合は、そのキーを連続して押したものと判断します。
- X方向座標微調を除く各種微調パラメータは、テスト印字でも有効です。
- テスト印字中にエラーが発生した場合は、エラーメッセージを表示して発行を停止します。
また、[PAUSE] を押してエラーを解除すると、システムモードメニューの表示に戻りますが、エラー復帰後の自動的な再発行は行いません。
- メニュー選択またはパラメータ設定後に、[PAUSE] を押すことでパラメータは有効となり、電源を切るまでパラメータの設定内容を保持します。
- イメージバッファ長より大きなラベルサイズは指定できません。イメージバッファ長より大きな値を指定した場合は、イメージバッファ長分を印字して停止するか、エラーが発生して停止します。
- 透過センサーを指定した場合、ラベル間ギャップは3mmとします。
- 斜線は拡大すると以下のとおりです。

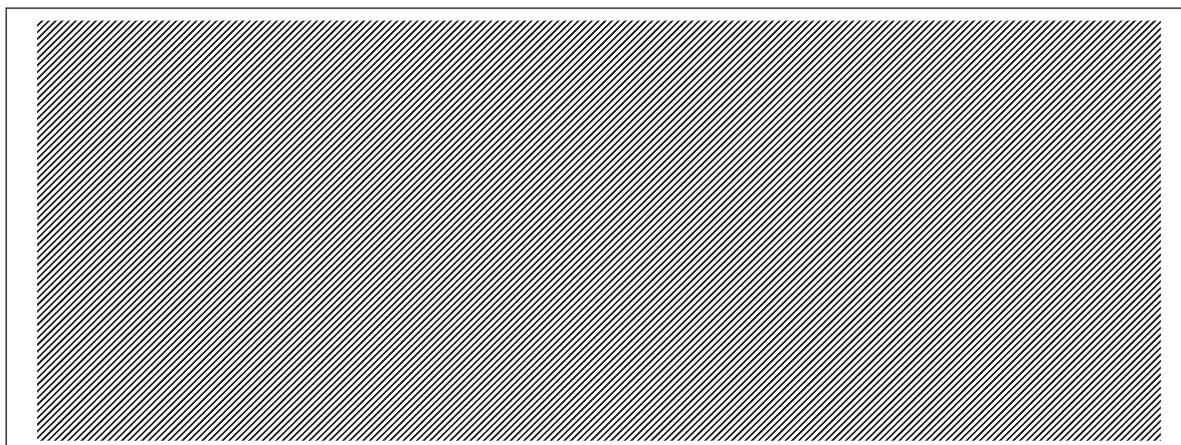
《斜線1ドット印字(黒率:16.7%)》



《斜線3ドット印字(黒率:16.7%)》



●テスト印字例(70%縮小)



[斜線印字1ドット]



[斜線印字3ドット]

A /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRSTUVWXYZ	G /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRSTUVWXYZ!#\$%&()*+,-
B /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRSTUVWXYZa	H /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz
C /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRSTUVWXYZa	I /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRSTUVWXYZ
D /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQ	J /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQ
E /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRST	K /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRS
F /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQ	L /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQ
M /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRSTUVWXYZ		
N /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRSTUVWXYZ		
O /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRSTUVWXYZ		
P /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQ		
Q /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQ		
R /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRSTUVWXYZ		
S /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRSTUVWXYZ		
T /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRSTUVWXYZ		

01234567
 01234567
 01234567
 ABCDEFG
 ABCDEFGHJ

** 漢字 漢字 漢字

ABC

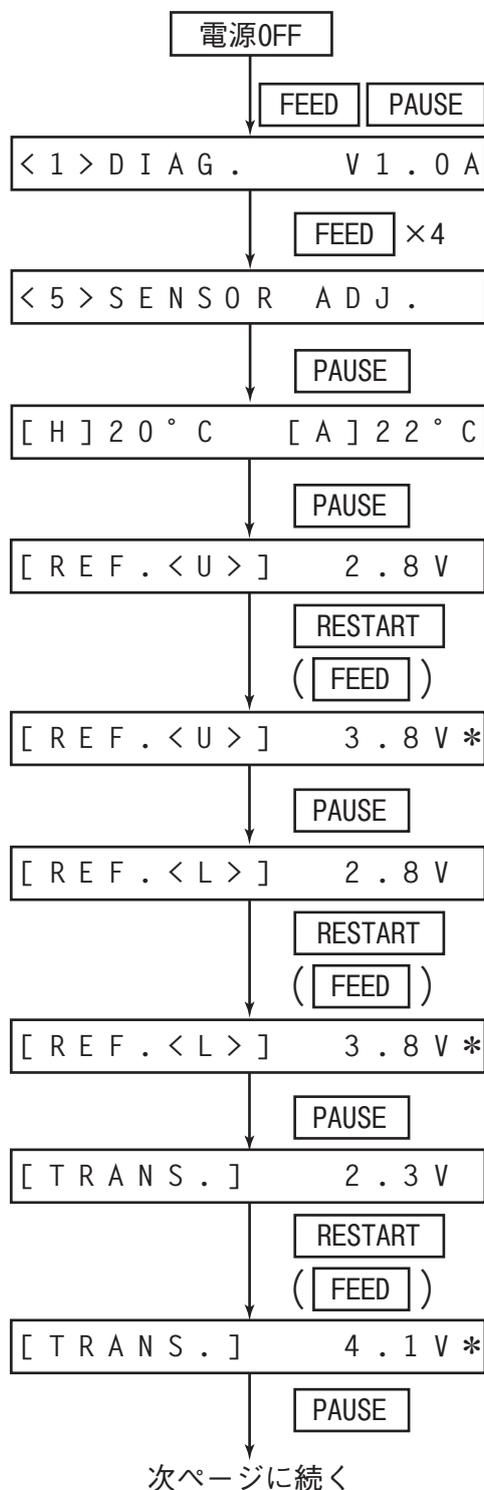
[キャラクター印字]

0: JAN8, EAN8 	3: CODE39 (Standard) 	6: UPC-E
1: MSI 	4: NW7 	9, A: CODE128
2: Interleaved 2 of 5 	5: JAN13, EAN13 	C: CODE93

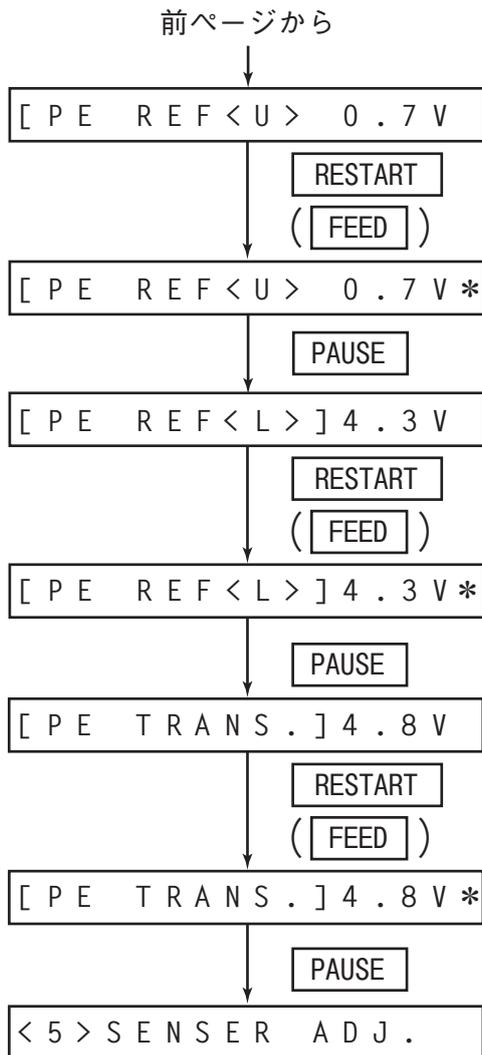
[バーコード印字]

センサー表示／調整

●操作例



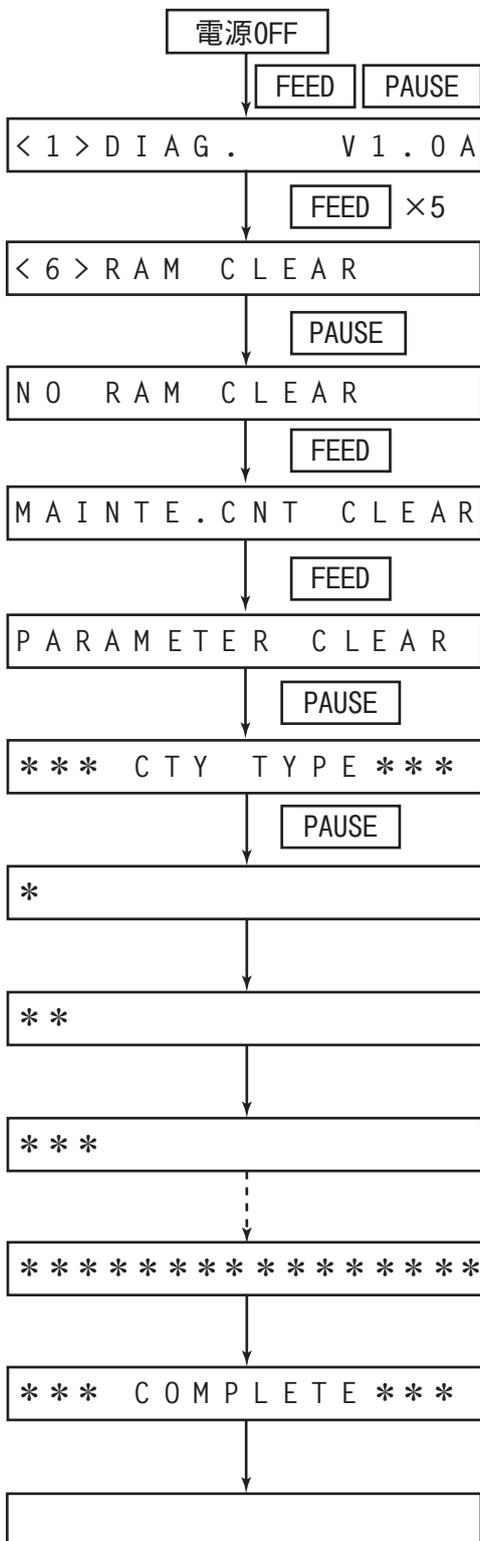
- (1) 電源OFF状態です。
- (2) [FEED]と[PAUSE]を押しながら、電源をONにします。
- (3) システムモードメニューを表示します。(自己診断)
- (4) [FEED]を4回押します。
- (5) センサー表示／調整メニューが表示します。
- (6) [PAUSE]を押します。
- (7) 印字ヘッド温度センサーおよび外気温センサーのA/D値が表示します。
- (8) [PAUSE]を押します。
- (9) 上反射センサーのA/D値を表示します。
- (10) タグ紙の白い部分が上反射センサーの上になるように、タグ紙をセットします。
- (11) [RESTART]または[FEED]を3秒以上押し続けます。(上反射センサーの調整)
- (12) 上反射センサーの調整後のA/D値と右端に「*」印を表示します。
- (13) [PAUSE]を押します。
- (14) 下反射センサーのA/D値を表示します。
- (15) 下反射センサーの上にタグ紙の白い部分をセットします。
- (16) [RESTART]または[FEED]を3秒以上押し続けます。(下反射センサーの調整)
- (17) 下反射センサーの調整後のA/D値と右端に「*」印を表示します。
- (18) [PAUSE]を押します。
- (19) 透過センサーのA/D値を表示します。
- (20) ラベル紙からラベルをはがした台紙を、透過センサーを遮る位置にセットします。
- (21) [RESTART]または[FEED]を3秒以上押し続けます。(透過センサーの調整)
- (22) 透過センサーの調整後の紙無しA/D値と、右側に「*」印を表示します。
- (23) [PAUSE]を押します。



- (24) 上反射センサーの紙無しA/D値を表示します。
センサー下にセットされている紙を取り除きます。
- (25) [RESTART]または[FEED]を3秒以上押し続けます。
(上反射センサーの紙無し調整)
- (26) 上反射センサーの調整後のA/D値と、右端に「*」印を表示します。
- (27) [PAUSE]を押します。
- (28) 下反射センサーの紙無しA/D値を表示します。
センサー上にセットされている紙を取り除きます。
- (29) [RESTART]または[FEED]を3秒以上押し続けます。
(下反射センサーの紙無し調整)
- (30) 下反射センサーの調整後のA/D値と、右端に「*」印を表示します。
- (31) [PAUSE]を押します。
- (32) 透過センサーの紙無しA/D値を表示します。
センサー上にセットされている紙を取り除きます。
- (33) [RESTART]または[FEED]を3秒以上押し続けます。
(透過センサーの紙無し調整)
- (34) 透過センサーの調整後のA/D値と、右端に「*」印を表示します。
- (35) [PAUSE]を押します。
- (36) センサー表示／調整メニューに戻ります。

RAMクリア

●操作例



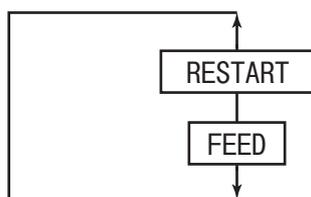
- (1) 電源OFF状態です。
- (2) [FEED]と[PAUSE]を押しながら、電源をONにします。
- (3) 自己診断メニューが表示します。
- (4) [FEED]を5回押します。
- (5) RAMクリアメニューが表示します。
- (6) [PAUSE]を押します。
- (7) RAMクリア未実行モードが表示します。
* 誤ってRAMクリアするのを防ぐためのモードです。
- (8) [FEED]を押します。
- (9) メンテナンスカウンタークリアモードを選択します。
- (10) [FEED]を押します。
- (11) パラメータクリアモードを選択します。
- (12) [PAUSE]を押します。
- (13) CTYタイプ用RAMクリアが実行開始します。
- (14) [PAUSE]を押します。
- (15) パラメータクリアが実行開始します。
- (16) プログレスが表示します。
- (17) パラメータクリアを終了します。
- (18) 電源をOFFにしてください。

補足

- クリアモードのメニューの切り換え時に[RESTART]と[FEED]を同時に押すと、システムモードメニューの表示に戻ります。
- RAMクリアを実施しても総ラベル走行距離、センサー調整値、IPアドレス設定内容、メッセージ表示言語、およびフラッシュメモリーの内容は保護されます。

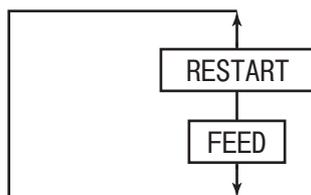
●設定内容の詳細

(1) RAMクリアモード選択



- NO RAM CLEAR (RAMクリア未実行モード)
- MANTE.CNT CLEAR (メンテナンスカウンタークリアモード)
- PARAMETER CLEAR (パラメータクリアモード)

(2)仕向地選択



- CTY TYPE

(3)メンテナンスカウンタークリア後の初期値

項目	初期値
ラベル走行距離	0 km
印字距離	0 km
カット回数	0 回
リボンモーター駆動時間	0 時間
RS-232Cハードエラー発生回数	0 回
システムエラー発生回数	0 回
瞬時停電発生回数	0 回

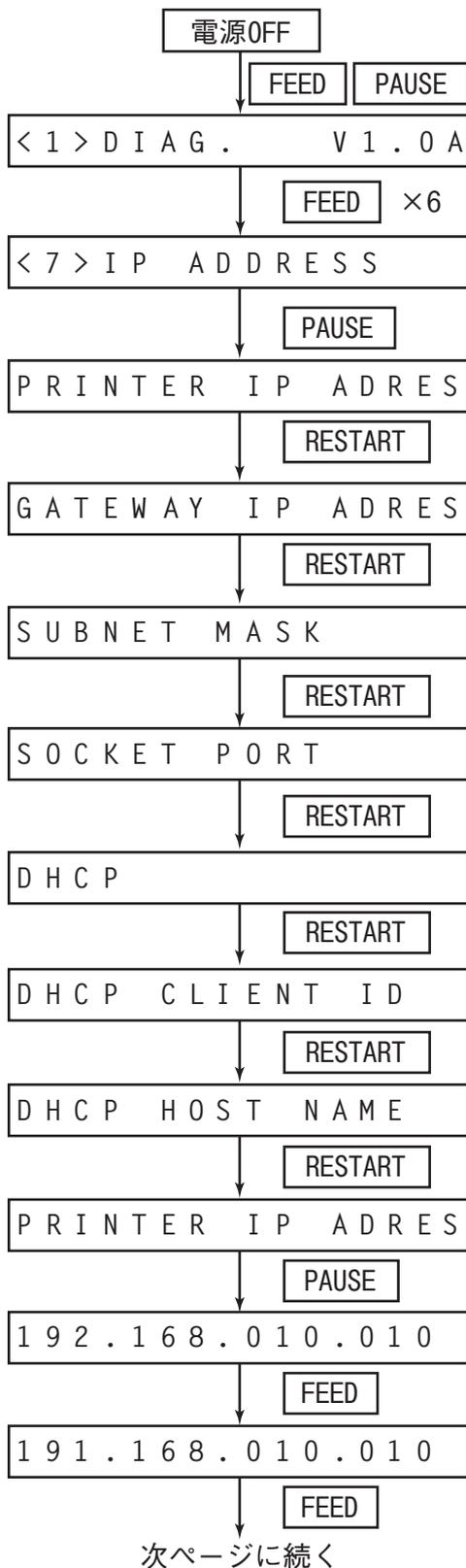
(4)パラメータクリア後の初期値

項 目	初 期 値
フィード量微調(PC)	0mm
カット位置(またはハクリ停止位置)微調(PC)	0mm
バックフィード量微調(PC)	0mm
印字濃度微調(転写)(PC)	0
印字濃度微調(直接発色)(PC)	0
リボンモーター駆動電圧微調(巻き取り側)(PC)	0
リボンモーター駆動電圧微調(バックテンション側)(PC)	0
フィード量微調(キー)	0mm
カット位置(またはハクリ停止位置)微調(キー)	0mm
バックフィード量微調(キー)	0mm
印字濃度微調(転写)(キー)	0
印字濃度微調(直接発色)(キー)	0
リボンモーター駆動電圧微調(巻き取り側)(キー)	0
リボンモーター駆動電圧微調(バックテンション側)(キー)	0
X方向座標微調(キー)	0mm
透過センサー手動スレッシュホールド微調	1.4V
下反射センサー手動スレッシュホールド微調	1.0V
文字コード種別	PC-850
0の字体	"0"スラッシュ無し
通信速度	19200bps
データ長	8ビット
ストップビット長	1ビット
パリティ	EVEN
伝送制御	XON/XOFF+READY/BUSY方式(DTR方式) (電源ON時XON、電源OFF時XOFF出力有り)
メッセージ表示言語	日本語
自動正転待機	正転待機有り (カッター装着時でのパラメータクリアでは、 正転待機有りとなる)
制御コード種別	自動切り換え
[FEED]キー機能	1枚紙送り
漢字特殊コード	TYPE1
Euroフォントコード	B0H
自動断線チェック	自動断線チェック無し
ACK/BUSYタイミング	TYPE1
WEBプリンタ機能	無し
nInit信号ON時のリセット処理	無し

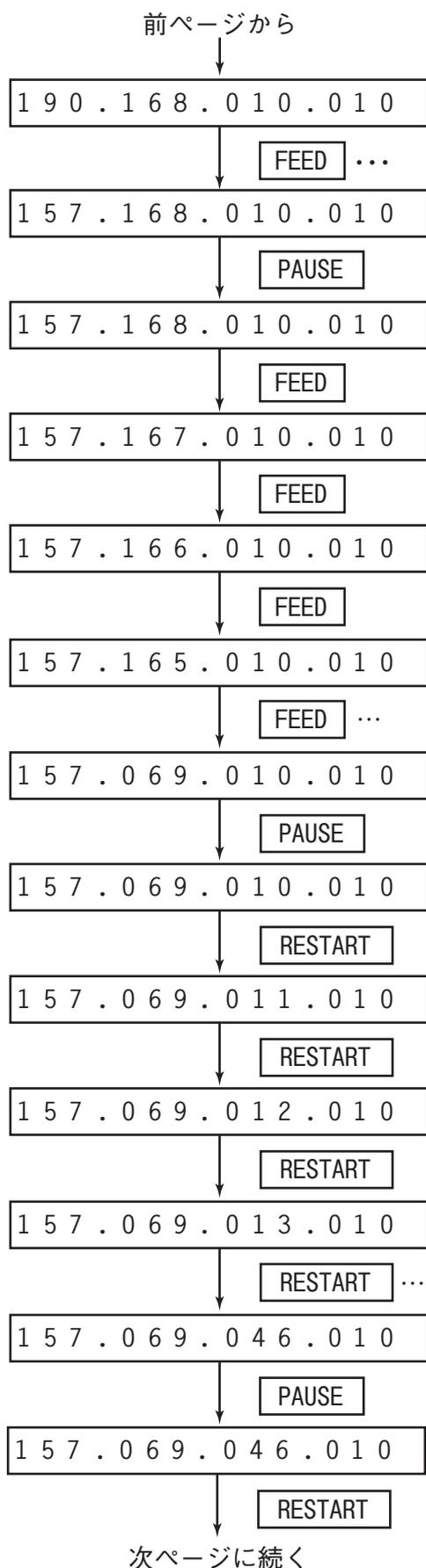
項 目	初 期 値
拡張I/O動作モード	標準モード
プラグ&プレイ設定	無し
ラベルエンド/リボンエンド処理設定	ラベル/リボンエンド検出時、発行途中で停止
MaxiCode仕様設定	既存バージョンとの互換仕様
オートキャリブレーション設定	OFF
LAN 有効/無効設定	ON (有効)
ステータス応答	有り
ラベルピッチ	76.2mm
有効印字長	74.2mm
有効印字幅	216.8mm
印字方式	発色
センサー種別	透過センサー
フィード速度	4インチ/秒
発行モード	連続発行
PCセーブ自動呼び出し	有り
ベーシックインタプリタ設定	ベーシックインタプリタ機能無効
ベーシックインタプリタトレース設定	トレース機能無効
DHCP設定	DHCP機能無効
ラベル走行距離の警告設定	3200km
総ラベル走行距離の警告設定	3200km
カット後の逆転動作設定	カット後の逆転動作をする

IPアドレス設定

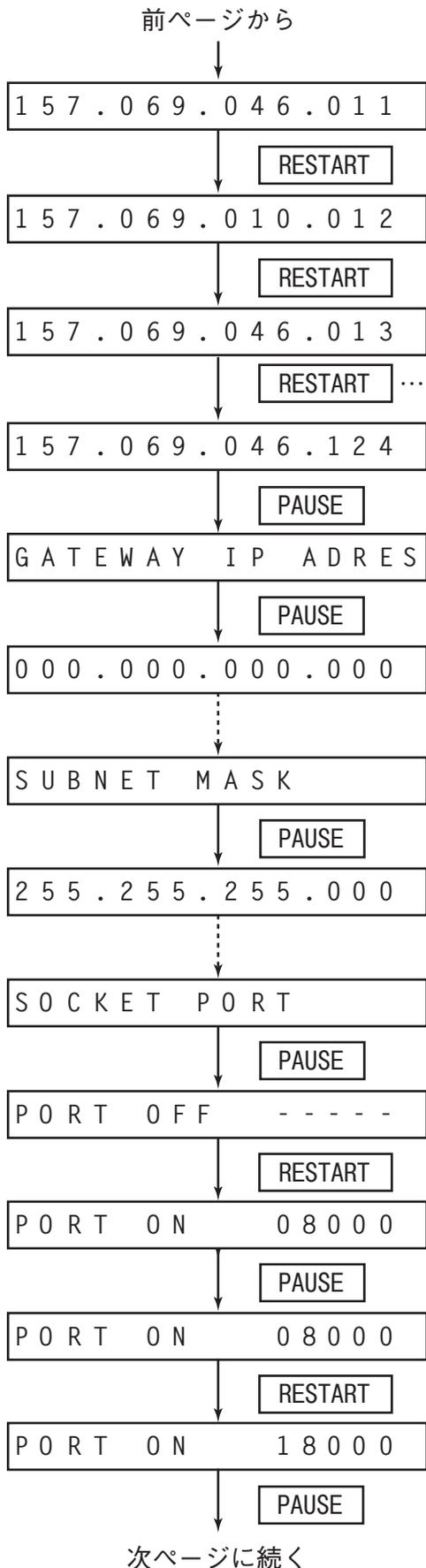
●操作例



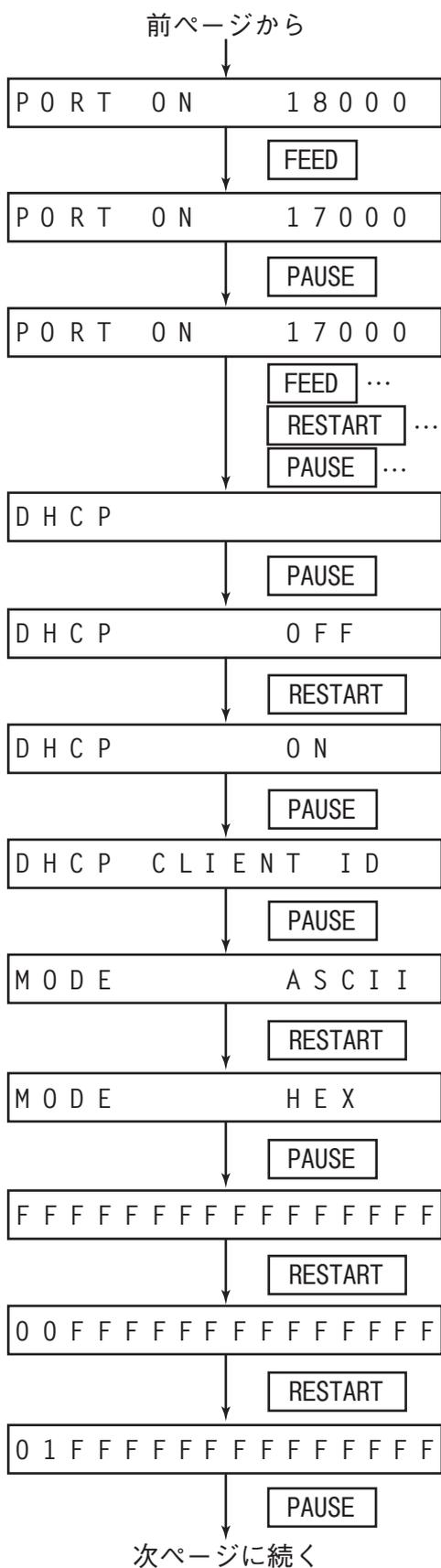
- (1) 電源OFF状態です。
- (2) [FEED]と[PAUSE]を押しながら、電源をONにします。
- (3) 自己診断メニューが表示します。
- (4) [FEED]を6回押します。
- (5) IPアドレス設定メニューが表示します。
- (6) [PAUSE]を押します。
- (7) プリンタIPアドレス設定モードを選択します。
- (8) [RESTART]を押します。
- (9) ゲートウェイIPアドレス設定モードを選択します。
- (10) [RESTART]を押します。
- (11) サブネットマスク設定モードを選択します。
- (12) [RESTART]を押します。
- (13) ソケットポート番号設定モードを選択します。
- (14) [RESTART]を押します。
- (15) DHCP機能設定モードを選択します。
- (16) [RESTART]を押します。
- (17) DHCP IP設定モードを選択します。
- (18) [RESTART]を押します。
- (19) DHCP HOST NAME設定モードを選択します。
- (20) [RESTART]を押します。
- (21) プリンタIPアドレス設定モードを選択します。
- (22) [PAUSE]を押します。
- (23) プリンタIPアドレスが表示します。
- (24) [FEED]を押します。
- (25) 最初の8ビット設定を選択します。
- (26) [FEED]を押します。



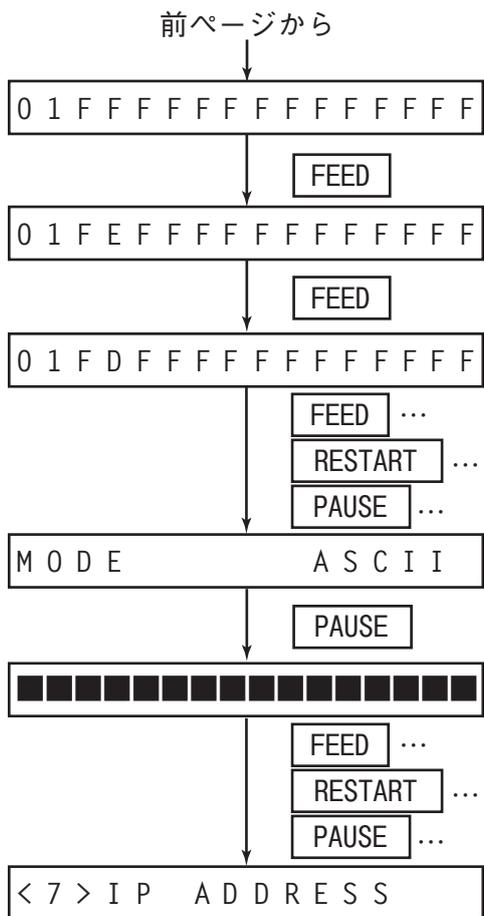
- (27) 最初の8ビット設定を選択します。
- (28) [FEED]を押します。
- (29) 最初の8ビット設定を選択します。
- (30) [PAUSE]を押します。
- (31) 最初の8ビットを確定し、次の8ビット設定を選択します。
- (32) [FEED]を押します。
- (33) 次の8ビット設定を選択します。
- (34) [FEED]を押します。
- (35) 次の8ビット設定を選択します。
- (36) [FEED]を押します。
- (37) 次の8ビット設定を選択します。
- (38) [FEED]を押します。
- (39) 次の8ビット設定を選択します。
- (40) [PAUSE]を押します。
- (41) 8ビットを確定し、次の8ビット設定を選択します。
- (42) [RESTART]を押します。
- (43) 次の8ビット設定を選択します。
- (44) [RESTART]を押します。
- (45) 次の8ビット設定を選択します。
- (46) [RESTART]を押します。
- (47) 次の8ビット設定を選択します。
- (48) [RESTART]を押します。
- (49) 次の8ビット設定を選択します。
- (50) [PAUSE]を押します。
- (51) 8ビットを確定し、次の8ビット設定を選択します。
- (52) [RESTART]を押します。



- (53) 次の8ビット設定を選択します。
- (54) [RESTART]を押します。
- (55) 次の8ビット設定を選択します。
- (56) [RESTART]を押します。
- (57) 次の8ビット設定を選択します。
- (58) [RESTART]を押します。
- (59) 次の8ビット設定を選択します。
- (60) [PAUSE]を押します。
- (61) ゲートウェイIPアドレス設定モードを選択します。
- (62) [PAUSE]を押します。
- (63) ゲートウェイIPアドレスが表示します。
- (64) ゲートウェイIPアドレスを設定します。
- (65) サブネットマスク設定モードを選択します。
- (66) [PAUSE]を押します。
- (67) サブネットマスクが表示します。
- (68) サブネットマスクを設定します。
- (69) ソケット通信ポート設定モードを選択します。
- (70) [PAUSE]を押します。
- (71) ソケット通信有効/無効を設定する。(無効)
- (72) [RESTART]を押します。
- (73) ソケット通信有効/無効を設定する。(有効)
- (74) [PAUSE]を押します。
- (75) 万の位を入力します。
- (76) [RESTART]を押します。
- (77) 万の位を設定します。
- (78) [PAUSE]を押します。



- (79) 千の位を入力します。
- (80) [FEED]を押します。
- (81) 千の位を設定します。
- (82) [PAUSE]を押します。
- (83) 百～一の位を入力します。
- (84) 百～一の位を設定します。
- (85) DHCP設定を選択します。
- (86) [PAUSE]を押します。
- (87) DHCP有効/無効を設定します。(無効)
- (88) [RESTART]を押します。
- (89) DHCP有効/無効を設定します。(有効)
- (90) [PAUSE]を押します。
- (91) DHCP IDを設定します。
- (92) [PAUSE]を押します。
- (93) DHCP ID入力モードを設定します。(ASCII)*
- (94) [RESTART]を押します。
- (95) DHCP ID入力モードを設定します。(HEX)
- (96) [PAUSE]を押します。
- (97) DHCP IDをします。(HEX)
- (98) [RESTART]を押します。
- (99) DHCP IDを入力します。(HEX:1バイト目)
- (100) [RESTART]を押します。
- (101) DHCP IDを入力します。(HEX:1バイト目)
- (102) [PAUSE]を押します。

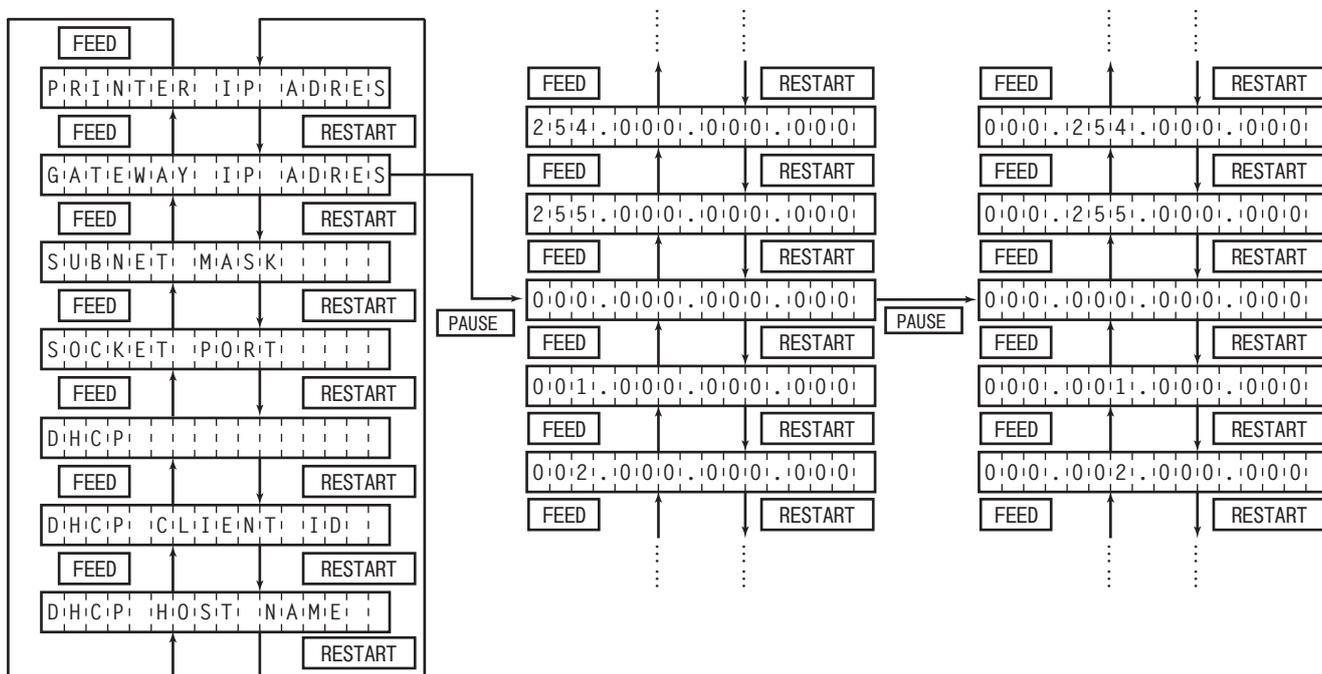


- (103) DHCP IDを入力します。(HEX:2バイト目)
- (104) [FEED]を押します。
- (105) DHCP IDを入力します。(HEX:2バイト目)
- (106) [FEED]キーを押します。
- (107) DHCP IDを入力します。(HEX:2バイト目)
- (108) 2バイト目～ 16バイト目を入力します。
- (109) DHCP HOST NAMEを設定します。
- (110) [PAUSE]を押します。
- (111) DHCP HOST NAME入力モードを設定します。(ASCII) *
- (112) [RESTART]を押します。
- (113) IPアドレスの設定が終了します。

補足

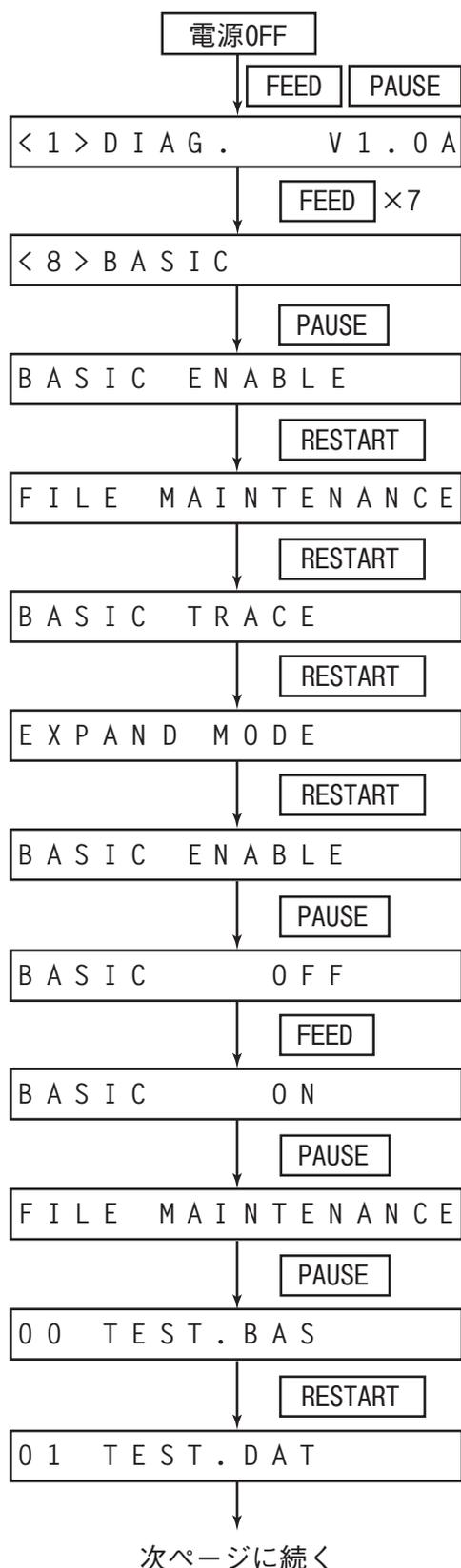
- DHCP ID入力ASCIIおよびDHCP HOST NAMEの場合、各バイトのデータがASCII文字で表示されます。

●設定内容の詳細

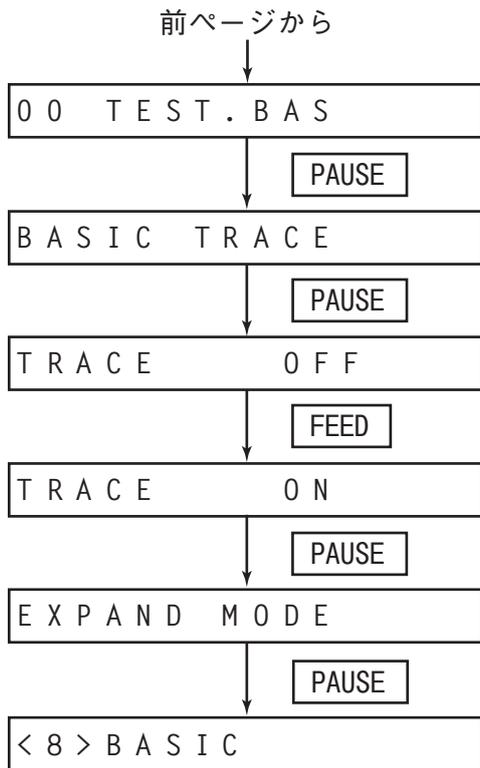


ベーシック設定

●操作例



- (1) 電源OFF状態です。
- (2) [FEED]と[PAUSE]を押しながら、電源をONにします。
- (3) 自己診断メニューが表示します。
- (4) [FEED]を7回押します。
- (5) ベーシック設定メニューが表示します。
- (6) [PAUSE]を押します。
- (7) ベーシック有効/無効モードを選択します。
- (8) [RESTART]を押します。
- (9) ベーシックファイルブラウザが表示します。
- (10) [RESTART]を押します。
- (11) ベーシクトレース設定を選択します。
- (12) [RESTART]を押します。
- (13) ベーシック拡張モードを選択します。
- (14) [RESTART]を押します。
- (15) ベーシック有効/無効設定モードを選択します。
- (16) [PAUSE]を押します。
- (17) ベーシック無効を選択します。
- (18) [FEED]を押します。
- (19) ベーシック有効を選択します。
- (20) [PAUSE]を押します。
- (21) ベーシックファイルブラウザを選択します。
- (22) [PAUSE]を押します。
- (23) プログラムファイルが表示します。
- (24) [RESTART]を押します。
- (25) データファイルが表示します。
- (26) ベーシックファイルエリアで確保した数のデータファイルが表示します。



- (27) プログラムファイルが表示します。
- (28) [PAUSE]を押します。
- (29) ベーシックトレース設定が表示します。
- (30) [PAUSE]を押します。
- (31) ベーシックトレースを無効にします。
- (32) [FEED]を押します。
- (33) ベーシックトレースを有効にします。
- (34) [PAUSE]を押します。
- (35) ベーシック拡張モードに戻ります。
- (36) ベーシック拡張モード用プログラムがロードされているときは、[PAUSE]を押すと実行されます。終了方法はベーシック拡張モード用プログラムによります。
- (37) ベーシック設定メニューに戻ります。

日常のお手入れ

いつもきれいな印字が得られるように、定期的(用紙交換ごと)に本機の清掃を行ってください。特に印字ヘッドやプラテンには汚れが付きやすいので、次の手順で清掃してください。



警告

- 水を直接かけたり、多量に水分を含んだ布で清掃しないこと
内部に水が入ると、火災・感電の恐れがあります。



注意

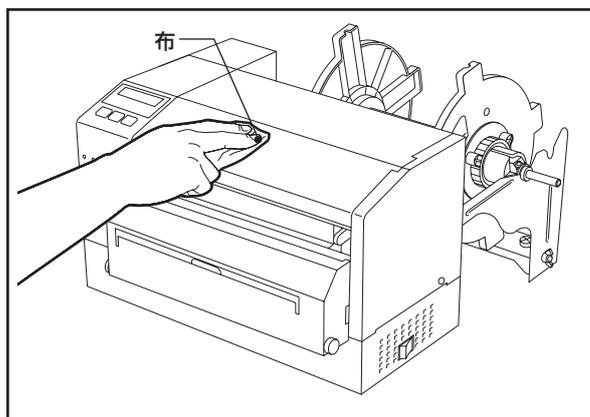
- 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜くこと
電源がON状態で清掃すると、火災・感電の原因となることがあります。
- シンナーやベンジン、可燃性ガスを使用したクリーナーなどで清掃しないこと
火災の原因となることがあります。
- トップカバーは後方へ倒すよう全開にすること
中途半端な状態で開けておくと勝手に閉まり、けがの原因となることがあります。
- 印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと
火傷の原因となることがあります。

カバーの清掃

- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 カバーの汚れは、乾いた布で拭き取ります。特に汚れが目立つ部分は、少量の水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。

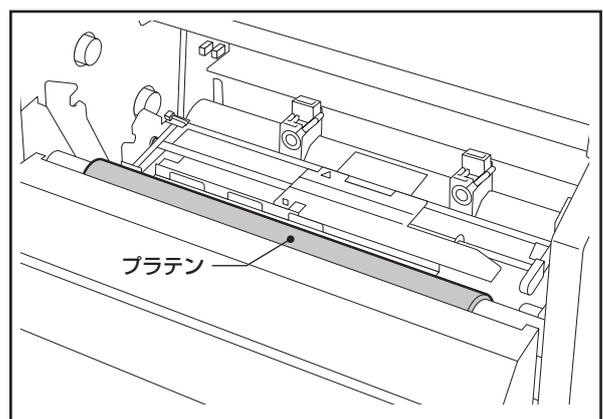
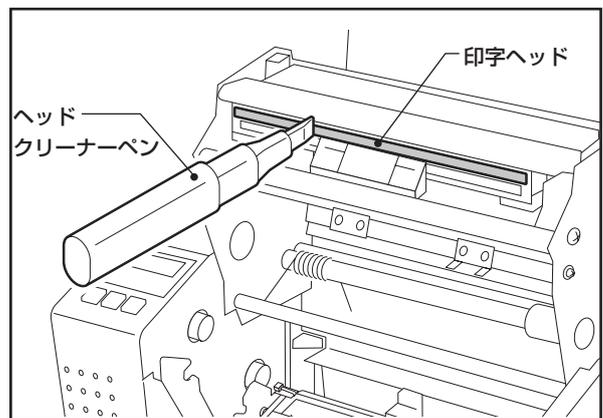
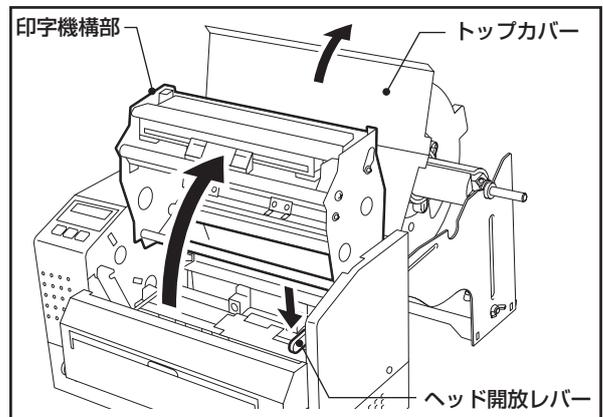
お願い

- シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。カバーの変色の原因となります。



印字ヘッド／プラテンの清掃

- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 トップカバーを後方へ倒すように全開にします。
- 3 ヘッド開放レバーを押し下げ、印字機構部を垂直になる位置まで持ち上げます。リボンをセットしているときは取り外してください。
- 4 印字ヘッドの発熱部(網掛け部分)の汚れは、付属のヘッドクリーナーペンで拭き取ります。
- 5 プラテンの汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。

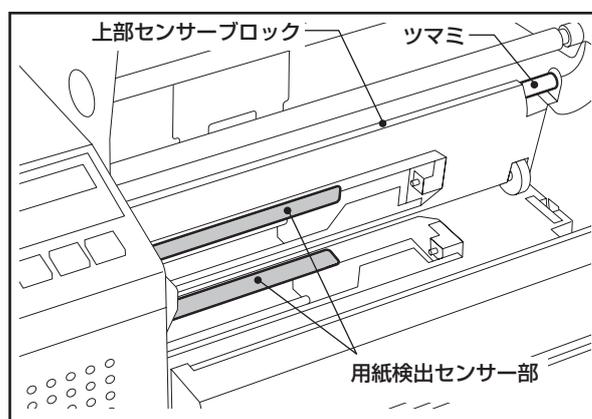
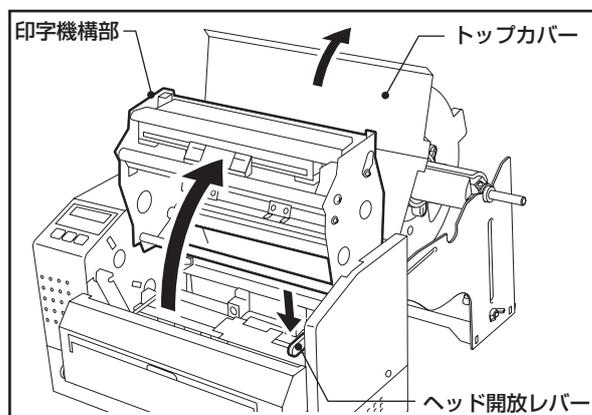


お願い

- 印字ヘッドやプラテンを鋭利なもので傷つけないでください。印字不良や故障の原因となります。
- シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。印字不良や故障の原因となります。
- 印字ヘッドの発熱部に直接手を触れないでください。静電気により、印字ヘッドが破損することがあります。

用紙検出センサー部の清掃

- 1 ガイドローラーの汚れは、少量の消毒用エタノールを含ませた柔らかい布で拭き取ります。
- 2 トップカバーを後方へ倒すように全開にします。
- 3 ヘッド開放レバーを押し下げ、印字機構部を垂直になる位置まで持ち上げます。用紙は取り外してください。
- 4 センサー調整ダイヤル手前のツマミを持ち上げ、上部センサーブロックを全開にしておきます。
- 5 用紙検出センサー部の紙粉や糊は、乾いた布で拭き取ります。



お願い

- シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。変色や紙送り不良などの原因となります。
- 上部センサーブロックを全開にしたまま清掃してください。
- 上下の透明窓に貼付されている黒テープ部を、強い力で拭かないでください。

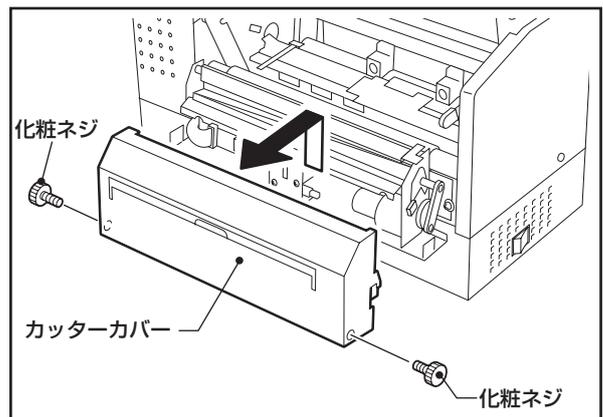
カッターの清掃

- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 トップカバーを後方へ倒すように全開にします。
- 3 ヘッド開放レバーを押し下げ、印字機構部を垂直になる位置まで持ち上げます。

- 4 白色の化粧ネジを外し、カッターカバーを取り外します。

⚠ 接触注意

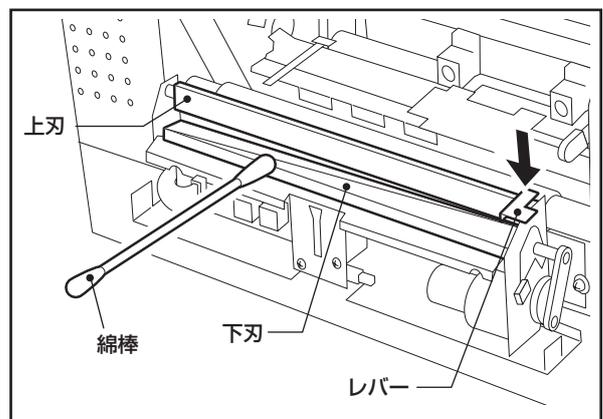
- カッターの刃に手を触れないこと
けがの原因となることがあります。



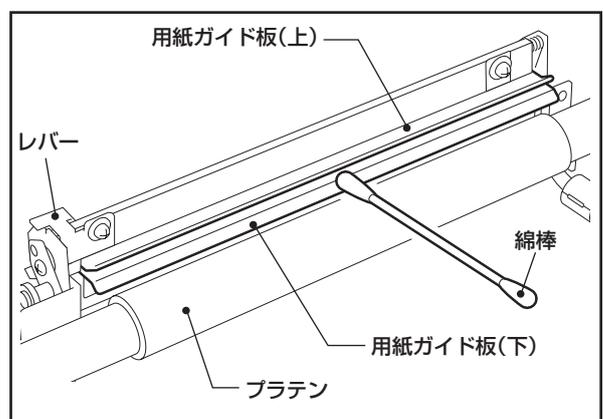
- 5 上下のカッターの刃に付着した糊や紙粉は、少量の消毒用アルコールをしみ込ませた綿棒で拭き取ります。

補足

- 上刃の右側のレバーを押し下げると、下刃の右端が清掃しやすくなります。



- 6 プラテンの手前の用紙ガイド板(上・下)に付着した糊や紙粉は、少量の消毒用アルコールをしみ込ませた綿棒で拭き取ります。
用紙ガイド板は、上刃の右側のレバーを押し下げると開きます。



お願い

- カッターの刃を金属などの堅いもので傷つけないでください。カット不良や故障の原因となります。
- シナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。カット不良や故障の原因となります。

困ったときは

ご使用中に不具合が生じたときは、次の点を調べてください。

万一、本機の機能が回復しない場合は、すべての電源スイッチをOFFにしてコンセントから電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはサービス担当にご相談ください。

エラーメッセージについて

エラーメッセージが表示したときは、その内容に従って処置してください。

エラー原因に対する処置を行って[RESTART]を押すと、エラーは解除されます。

メッセージ表示	原因	処置
カッターエラー ****	カッター内部で紙詰まりが発生した。	詰まっている用紙を取り除き、用紙をセットし直して[RESTART]を押すと続きが印字されます。(→P.105)
かみくりエラー ****	用紙が正しくセットされていない。	用紙を正しくセットしてください。(→P.27～32)
	発行中に紙詰まりが発生した。	詰まっている用紙を取り除き、用紙をセットし直して[RESTART]を押してください。(→P.104)
	用紙が正しく紙送りされていない。	用紙をセットし直し、[RESTART]を押すと続きが印字されます。(→P.27～32)
	プログラムで指定している用紙と違うサイズの用紙をセットしている。	指定しているサイズの用紙をセットし、[RESTART]を押してください。
	反射センサーが黒マークを検出していない。	上または下反射センサーの位置調整を行ってください。(→P.33,34) 再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
	透過センサーがラベル間のすき間を検出していない。	透過センサーの位置調整を行ってください。(→P.34) 位置調整が正しいときは、スレッシュホールドの設定を行ってください。(→P.38,39) 再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
かみかアリマセン ****	用紙が終了した。	新しい用紙をセットし、[RESTART]を押すと続きが印字されます。(→P.27～32)
サーマルヘッドエラー	印字ヘッドの発熱体の一部が断線している。	電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
ツウシンエラー ハッセイ	パラレルインターフェースを使って通信しているとき、何らかのエラーが発生した。	電源スイッチをOFF/ONするが、[RESTART]を押してください。 再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。

****:残枚数1～9999 (1枚単位)

メッセージ表示	原因	処置
フラッシュメモリ 書き込みエラー	フラッシュメモリへの書き込みエラーが発生した。	電源スイッチをOFF/ONし、再度書き込みを行ってください。 再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
フラッシュ フォーマット エラー	フラッシュメモリでフォーマットエラーが発生した。	電源スイッチをOFF/ONし、再度フォーマットを行ってください。 再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
フラッシュメモリ オーバー	フラッシュメモリの空き容量が足りなくて登録できない。	電源スイッチをOFF/ONしてください。 再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
ヘッド イジュー カネツ	印字ヘッドの温度が使用範囲の上限に達した。	用紙の発行をやめて電源をOFFにし、しばらくお待ちいただいてから再度用紙を発行してください。 再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
ヘッド オープン	印字機構部が正しくロックされていない。	印字機構部を正しくロックしてください。(→P.31)
ヘッド セット エラー ****	印字機構部が正しくロックされていない状態で、用紙を発行または紙送りしようとした。	印字機構部を正しくロックし、[RESTART]を押すと続きが印字されます。(→P.31)
例 PC001;0A00,0300,	最大16文字の英・数・記号が表示したときは、コマンドエラーが発生している。	正しいコマンドを送り直してください。
その他のエラーメッセージ	ハードウェアまたはソフトウェアに不具合が発生している。	電源スイッチをOFF/ONしてください。 再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。

****:残枚数1～9999 (1枚単位)

正しく動作しないとき

現象	原因	処置
電源スイッチをONにしても電源が入らない。	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込んでください。(→P.24)
	停電またはコンセントまで電気が来ていない。	他の電気器具で電気が来ているか確認してください。電気が来ていない場合は、最寄りの電力会社にご相談ください。
	建物のヒューズやブレーカーが切れている。	ヒューズやブレーカーを点検してください。
	本機が故障している。	電源をOFFにしてサービス担当にご連絡ください。
用紙が発行されない。	用紙が正しくセットされていない。	用紙を正しくセットし直してください。(→P.27～32)
	印字機構部が正しくロックされていない。	印字機構部を正しくロックしてください。(→P.31)
	通信ケーブルが抜けている。	通信ケーブルをしっかりと接続してください。(→P.20～22)
	用紙検出センサーが汚れている。	用紙検出センサー部を清掃してください。(→P.99)
	用紙検出センサーが壊れている。	電源をOFFにしてサービス担当にご連絡ください。
用紙に印字されない。	用紙が正しくセットされていない。	用紙を正しくセットしてください。(→P.27～32)
	コンピュータから印字データが送られていない。	印字データを送信してください。
印字がかすれる。	当社認定の用紙を使用していない。	当社認定の用紙に交換してください。(→P.13, 27～32)
	印字ヘッドの押し圧が使用している用紙に合っていない。	用紙に合った押し圧に切り換えてください。(→P.32)
ドット抜けする。	印字ヘッドが汚れている。	印字ヘッドを清掃してください。(→P.98)
	印字ヘッドの発熱体の一部が断線している。	電源をOFFにしてサービス担当にご連絡ください。
きれいにカットされない。	カッターの刃が汚れている。	カッターの刃を清掃してください。(→P.99,100)
ERRORランプ(赤色)が常時点灯する。	印字ヘッドの交換時期です。	サービス担当にご連絡し、印字ヘッドを交換してください。
ONLINEランプ(緑色)が常時高速に点滅する。	総走行距離がプリンタの寿命に達しました。 ※プリンタ寿命は印刷環境などによって変動しますので、参考警告になります。	サービス担当にご連絡してください。

用紙が詰まったとき

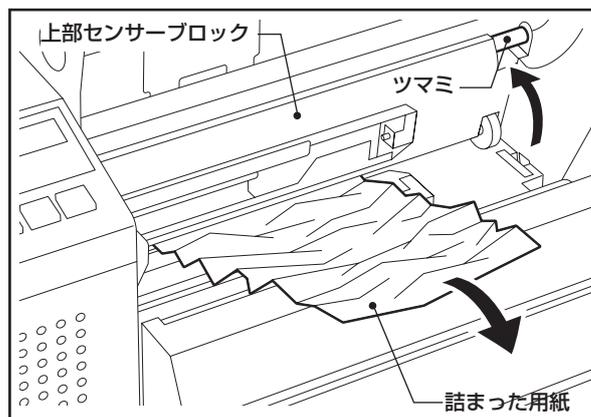
用紙が詰まったときは、次の手順に従って取り除いてください。



- ・電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜くこと
電源がON状態で操作すると、感電・けがの原因となることがあります。
- ・印字機構部は垂直になる位置まで持ち上げること
中途半端な状態にしておくとう勝手に閉まり、けがの原因となることがあります。
- ・印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと
火傷の原因となることがあります。

本機内部で詰まった場合

- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 トップカバーを後方へ倒すように全開にします。
- 3 ヘッド開放レバーを押し下げ、印字機構部を垂直になる位置まで持ち上げます。
- 4 センサー調整ダイヤル手前のツマミを持ち上げ、上部センサーブロックを全開にしておきます。
- 5 詰まっている用紙を取り除きます。
- 6 用紙を正しくセットし直します。
(→『用紙を取り付ける』)
- 7 印字機構部を静かに降ろしてロックし、トップカバーを静かに閉めます。



お願い

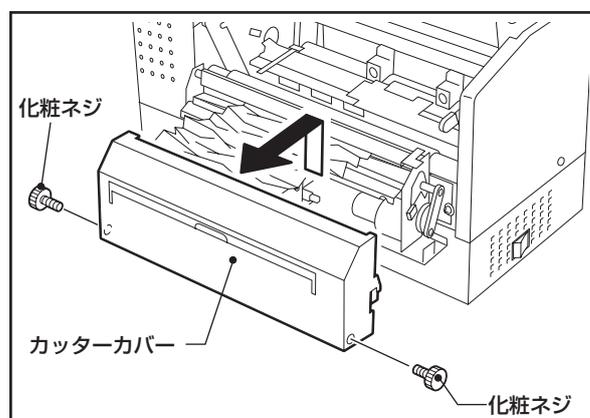
- ・印字ヘッドやプラテンを鋭利なもので傷つけないでください。印字不良や故障の原因になります。
- ・印字ヘッドの発熱部に直接手を触れないでください。静電気により、印字ヘッドが破損することがあります。

カッター内部で詰まった場合

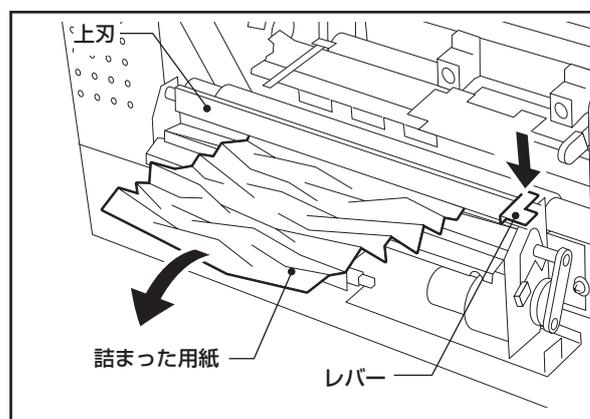
- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 トップカバーを後方へ倒すように全開にします。
- 3 ヘッド開放レバーを押し下げ、印字機構部を垂直になる位置まで持ち上げます。
- 4 白色の化粧ネジを外し、カッターカバーを取り外します。

接触注意

- カッターの刃に手を触れないこと
けがの原因となることがあります。



- 5 上刃の右側のレバーを押し下げ、詰まっている用紙を取り除きます。
- 6 カッターカバーを閉めます。

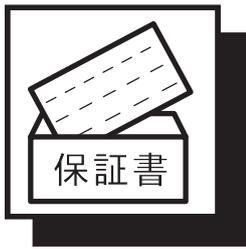


- 7 用紙を正しくセットし直します。(→『用紙を取り付ける』)
- 8 印字機構部を静かに降ろしてロックし、トップカバーを静かに閉めます。

お願い

- カッターの刃を金属などの堅いもので傷つけないでください。カット不良や故障の原因となります。

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

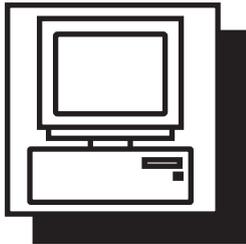


保証(保証書)について

保証書はお買い上げの販売店でお渡しいたします。必ず「お買い上げ日・保証期間・販売店名」などの記入をご確認の上、大切に保管してください。

保証書に「お買い上げ日・保証期間・販売店名」など所定事項の記入がないときは、ただちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

保証期間中は保証書の規定に従って無料修理いたします。保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



ユーザー登録について

このたびお買い上げいただきました製品に関するアフターサービスの提供は、サービスを担当するサービスステーションに登録されて実施されます。したがって、製品を受領されましたら、ただちにお買い上げの販売店に「ユーザー登録」の手続きを要請し、ご確認をお願いいたします。

なお、安心してご利用いただけますように「保守サービス契約システム」をお勧めいたします。詳細は最寄りのサービスステーションにお問い合わせください。



サービスコールの受付時間

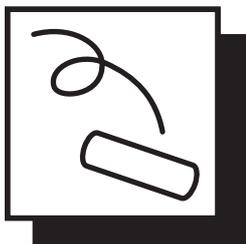
1月1日を除く8時30分から20時までといたします。

ただし、修理訪問についての詳細は、お買い上げの販売店または最寄りのサービスステーションにご相談ください。サービスステーションの連絡先は、『サービスステーション所在地一覧』をご覧ください。



修理サービスについて

ご使用中に異常が生じたときは、ただちに使用をやめて電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、ご相談されるときは製品の型式名、およびお買い上げ時期を忘れずにお知らせください。



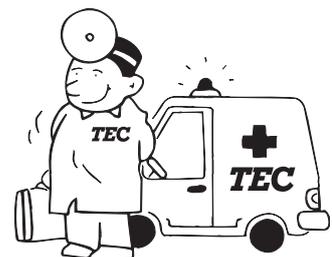
消耗品について

消耗品は製品に合った当社純正品を、お買い上げの販売店にご注文ください。

- ・用紙
- ・リボン
- ・ヘッドクリーナーペン(図番:FDQB0001401)

便利メモ	お買い上げ日	年 月 日
	販売店名	
	電話番号	() -
	サービス担当名	
	電話番号	() -

お買い上げ日、販売店名、サービス担当名、電話番号などを記入しておくとう便利です。



サービスステーション所在地一覧

地方	都道府県名	サービスステーション名	電話番号	所在地	郵便番号
北海道	北海道	札幌 第一	011(733)6500	札幌市東区北八条東 6 丁目 12-79	060-0908
		札幌 第二	011(733)6500	札幌市東区北八条東 6 丁目 12-79	060-0908
		旭川	0166(29)3100	旭川市 2 条通 13 丁目左 3 号	070-0032
		北見	0157(36)4168	北見市東相内町 23-3	099-0878
		釧路	0154(53)0640	釧路市昭和中央 1 丁目 1 番 1 号	084-0910
		帯広	0155(20)6622	帯広市西三条南 28 丁目 17-9	080-0013
		苫小牧	0144(36)1690	苫小牧市元中野町 4-15-15	053-0005
東北	青森	函館	0138(45)6071	函館市昭和 2-25-13	041-0812
		青森	017(729)4800	青森市第二問屋町 1-8-2	030-0113
	岩手	八戸	0178(45)3681	八戸市番町 3	031-0031
		盛岡	019(634)0531	盛岡市本宮 3-32-1	020-0866
	宮城	一関	0191(23)2953	一関市上大槻街 1-45	021-0882
		仙台	022(772)6351	仙台市泉区上谷刈 6-10-22	981-3121
	秋田	秋田	018(823)0364	秋田市川尻大川町 2-11	010-0942
		大館	0186(44)5641	大館市中道 2-1-35	017-0045
	山形	山形	023(631)1240	山形市松波 1-4-16	990-0023
		酒田	0234(24)6472	酒田市亀ヶ崎 3-7-5	998-0842
福島	郡山	024(933)4761	郡山市富田町逆池下 1-8	963-8041	
	いわき	0246(27)5581	いわき市小島町 3-3-5	973-8411	
関東	茨城	水戸	029(241)2934	水戸市笠原町 600-27	310-0852
		土浦	029(824)3030	土浦市桜町 4-3-18	300-0037
		古河	0280(32)7137	古河市本町 1-10-12	306-0023
	栃木	宇都宮	028(639)9241	宇都宮市中今泉 3-12-14	321-0968
		群馬	高崎 第一	027(363)6422	高崎市飯塚町 458-2
	高崎 第二		027(370)5587	高崎市飯塚町 458-2	370-0069
	埼玉	さいたま	048(856)8924	さいたま市中央区上落合 5-20-30	338-0001
		川口	048(294)8707	川口市差間 3-17-15	333-0816
		熊谷	048(524)8860	熊谷市万平町 1-33	360-0034
	千葉	川越	049(245)6881	川越市脇田本町 30-2	350-1123
		千葉	043(255)7221	千葉市稲毛区穴川 3-11-8	263-0024
		成田	0476(22)8958	成田市団護台 3-1-19	286-0035
		木更津	0438(37)7611	木更津市請西 2-24-4	292-0801
		船橋	047(432)7161	船橋市湊町 1-1-1	273-0011
		柏	04(7146)9121	流山市野々下 3-755-5	270-0135
		東京	城西 第一	東京コールセンター 03(5954)0810	新宿区大久保 2-4-12
	城西 第二		新宿区大久保 2-4-12		169-0072
	城南 第一		品川区東五反田 2-17-2		141-8664
	城南 第二		品川区東五反田 2-17-2		141-8664
城東 第一	江東区亀戸 1-4-2		136-0071		
城東 第二	江東区亀戸 1-4-2		136-0071		
東京都下	多摩 第一		立川市高松町 3-1-5	190-0011	
	多摩 第二		立川市高松町 3-1-5	190-0011	
神奈川	横浜 第一	045(348)8425	横浜市保土ヶ谷区神戸町 134	240-0005	
	横浜 北	045(973)1521	横浜市青葉区市ヶ尾町 1152-13	225-0024	
	川崎 第一	044(520)8390	川崎市幸区新塚越 201	212-0027	
	横浜 南	045(791)5208	横浜市金沢区福浦 1-1-1	236-0004	
	相模原	046(257)9931	座間市相模が丘 1-34-20	252-0001	
	藤沢	0466(54)3201	藤沢市鶴沼花沢町 1-17	251-0023	
	小田原	0465(23)1855	小田原市中町 2-7-17	250-0005	
山梨	甲府	055(235)4343	甲府市青葉町 20-7	400-0828	
信越	新潟	新潟	025(367)0030	新潟市中央区南出来島 1-9-1	950-0963
		長岡	0258(21)5411	長岡市新産東町 58	940-2128
	長野	上越	025(524)4800	上越市本町 4-2-25	943-0832
		長野	026(217)6360	長野市大字高田 943-1	381-0034
	松本	0263(25)1526	松本市出川 3-9-8	390-0827	

地方	都道府県名	サービスステーション名	電話番号	所在地	郵便番号	
北陸	富山	富山	076(491)2170	富山市根塚町 1-3-10	939-8204	
	石川	金沢	076(223)0126	金沢市西念 1-17-9	920-0024	
	福井	福井	0776(26)2948	福井市成和 2-708	918-8239	
中部	静岡	静岡岡	054(281)7428	静岡市駿河区登呂 6-5-47	422-8033	
		沼津	055(921)9942	沼津市若葉町 10-22	410-0059	
		伊豆	0558(76)9710	伊豆の国市大仁 570	410-2392	
		浜松	053(460)9735	浜松市東区宮竹町 171-1	435-0043	
	愛知	名古屋第一	052(350)6311	名古屋市中区正木 3-5-17	460-0024	
		名古屋第二	052(350)6311	名古屋市中区正木 3-5-17	460-0024	
		春日井	0568(85)0821	春日井市貴船町 148	486-0826	
		豊橋	0532(64)2335	豊橋市中岩田 5-1-5	440-0832	
	岐阜	安城	0566(77)2621	安城市井杭山町一本木 6-4	446-0074	
		岐阜	058(254)2430	岐阜市敷島町 9-28-1	500-8369	
三重	津	059(225)9141	津市柳山津興 617	514-0803		
	滋賀	滋賀	077(563)6202	草津市野村 1-2-16	525-0027	
関東	京都	京都	075(692)1605	京都市南区西九条東御幸田町 13-1	601-8443	
		福知山	0773(23)5405	福知山市末広町 5-10-1	620-0054	
	大阪	大阪北	06(6398)1825	大阪市淀川区宮原 5-6-11	532-0003	
		大阪中央第一	06(4790)7500	大阪市中央区内淡路町 2-3-13	540-0038	
		システム第一	06(6398)1806	大阪市淀川区宮原 5-6-11	532-0003	
		システム第二	06(6398)1805	大阪市淀川区宮原 5-6-11	532-0003	
		枚方	072(861)3351	枚方市東田宮 1-13-11	573-0023	
	兵庫	堺	072(253)0921	堺市北区中百舌鳥町 5-754	591-8023	
		神戸東	078(265)0062	神戸市中央区磯上通 4-1-6	651-0086	
		神戸西	078(265)0062	神戸市中央区磯上通 4-1-6	651-0086	
姫路		079(288)2048	姫路市安田 1-68-1	670-0955		
奈良	明石	078(914)4401	明石市樽屋町 8-34	673-0898		
	奈良	0742(33)8270	奈良市大宮町 4-465-10	630-8115		
和歌山	和歌山	073(475)6311	和歌山市黒田 278-1	640-8341		
	田辺	0739(25)3543	田辺市下万呂 584-1	646-0004		
中国	鳥取	鳥取	0857(24)5600	鳥取市元魚町 2-105	680-0034	
		島根	松江	0852(23)3702	松江市浜乃木 2-3-12	690-0044
	岡山	益田	0856(24)2260	益田市乙吉町イ 342-1	698-0003	
		岡山第一	086(231)4385	岡山市北区富田 503-6	700-0936	
		岡山第二	086(231)4385	岡山市北区富田 503-6	700-0936	
		広島第一	082(543)4550	広島市中区平野町 2-21	730-0047	
	広島	広島第二	082(543)4550	広島市中区平野町 2-21	730-0047	
		福山	084(945)2533	福山市南蔵王町 6-15-45	721-0973	
	山口	徳山	0834(29)0940	周南市桜木 3-5-69	745-0806	
		山口	083(973)4206	山口市小郡上郷 3582-1	754-0001	
四国	徳島	徳島	088(626)2183	徳島市沖浜東 3-67-2	770-8053	
		香川	高松	087(869)1036	高松市東ハゼ町 6-9	761-8054
	愛媛	松山	089(926)1275	松山市宮西 1-8-14	790-0065	
		新居浜	0897(34)2915	新居浜市坂井町二丁目 2-10	792-0812	
		宇和島	0895(25)6975	宇和島市栄町港 3-4-1	798-0031	
	高知	高知	088(821)7512	高知市知寄町 2-1-37	780-0806	
		四万十	0880(34)2875	四万十市中村大橋通 6-3-4	787-0033	
九州	福岡	福岡第一	092(451)7921	福岡市博多区東比恵 2-9-23	812-0007	
		福岡第二	092(451)7921	福岡市博多区東比恵 2-9-23	812-0007	
		北九州	093(562)3555	北九州市小倉北区青葉 2-6-31	803-0822	
	佐賀	福岡南	0942(84)5558	鳥栖市藤木町字若桜 3-6	841-0048	
		佐賀	0952(33)0046	佐賀市神野東 2-2-1	840-0804	
	熊本	長崎	095(887)5692	西彼杵郡長与町高田郷 3055-4	851-2127	
		熊本	096(370)8333	熊本市南区江越 1-16-28	860-0834	
		大分	097(545)4410	大分市大字三芳字庄の原 1292-1	870-0876	
		宮崎	宮崎	0985(25)1492	宮崎市柳丸町 232-2	880-0844
		鹿児島	鹿児島	099(253)9443	鹿児島市東郡元町 11-29	890-0068
沖縄	那覇	098(859)8712	那覇市小禄 3-12-13	901-0152		

諸事情により所在地、電話番号などが変更になることがあります。ご了承ください。
最新の電話番号・住所等は東芝テックソリューションサービス㈱のホームページにてご確認ください。

2015年6月1日現在

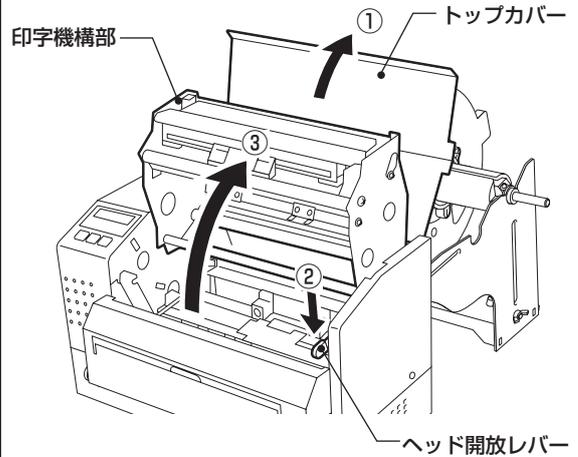
用紙の交換方法 1/2

交換前の用紙と同じタイプで、同じ幅の用紙に交換するものとして説明します。

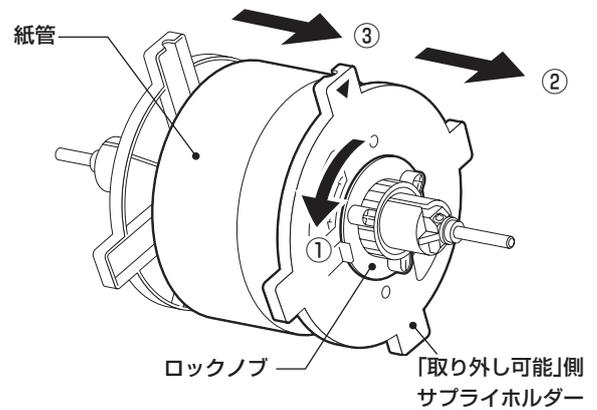
- ① トップカバーを後方へ倒すように全開にします。
- ② ヘッド開放レバーを押し下げ、印字機構部を垂直になる位置まで持ち上げます。

⚠ 注意

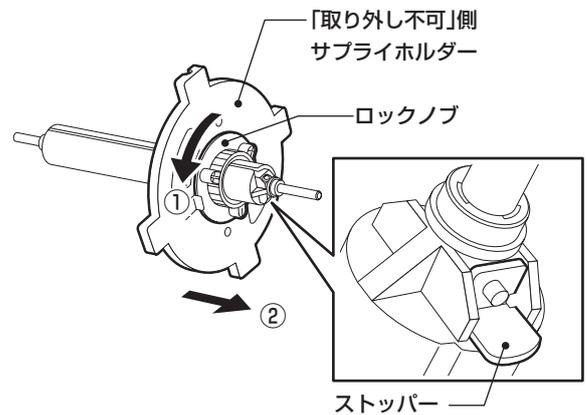
- 印字機構部は垂直になる位置まで持ち上げること中途半端な状態にしておくと勝手に閉まり、けがの原因となることがあります。
- 印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと
火傷の原因となることがあります。



- ③ サプライホルダーユニットを外し、「取り外し可能」側サプライホルダーのロックノブを解除方向(🔓)に回して緩め、サプライシャフトからサプライホルダーと使用中の用紙、または使用済みの紙管を抜き取ります。



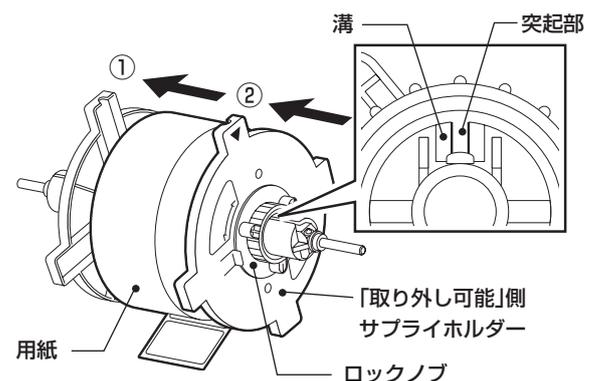
- ④ 「取り外し不可」側のサプライホルダーのロックノブを解除方向(🔓)に回して緩め、ストッパーで止まる位置まで端に寄せておきます。



- ⑤ サプライシャフトに用紙をセットし、「取り外し可能」側サプライホルダーの▼印をサプライシャフトの溝に合わせ、用紙と一緒に反対側のサプライホルダーの方へ押し込みます。

お願い

- 用紙の先端はまっすぐに切ってください。



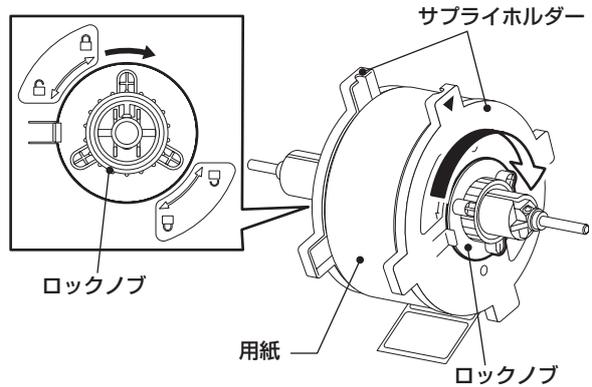
用紙の交換方法 2/2

(切り取り線で切り、クリアファイルなどに入れてお使いください)

- ⑥ 両方のサプライホルダーのロックノブをロック方向(🔒)に回して固定します。

⚠️ 注意

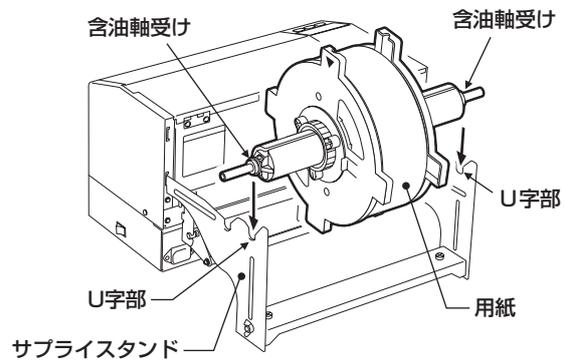
- ロックノブを固定しないまま、用紙をセットしたサプライホルダーユニットを傾けないこと「取り外し可能」側のサプライホルダーが外れて用紙が抜け落ち、けがの原因となることがあります。



- ⑦ 用紙を取り付けたサプライホルダーユニットを、サプライスタンドの後ろ側のU字部に乗せます。

お願い

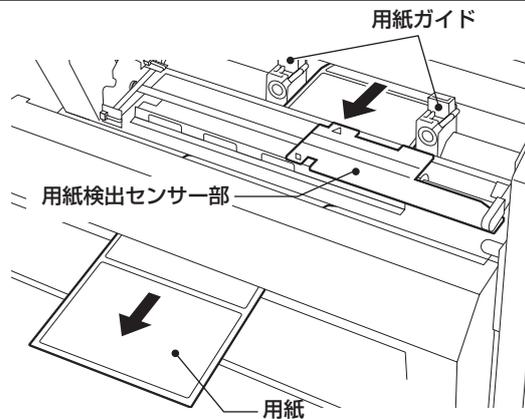
- 用紙の印字面が上を向くようにセットしてください。
- サプライシャフトの左右の含油軸受けが、サプライスタンドのU字部に正しく乗っていることを確認してください。



- ⑧ 用紙を50cm程引き出し、用紙ダンパーを持ち上げながら用紙挿入口に挿入します。

お願い

- 用紙は用紙ダンパーの下を通してください。
- 用紙ダンパーは、透明板の小判穴に指を引っかけて持ち上げてください。



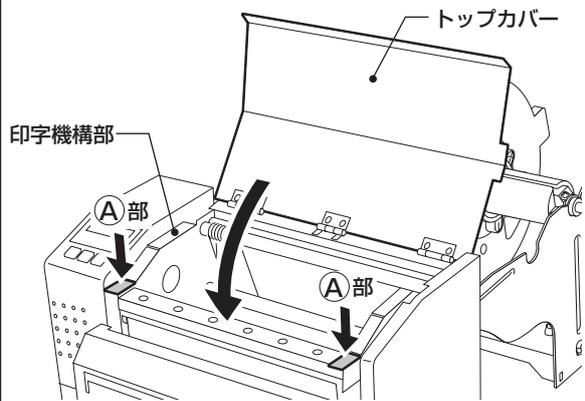
- ⑨ 用紙を用紙ガイドの間に通し、用紙検出センサー部の下を通して用紙発行口へ手で送り出します。

- ⑩ 印字機構部を静かに降ろし、印字機構部のA部を「カチッ」と音がするまで押してロックします。

- ⑪ トップカバーを静かに閉めます。

- ⑫ 用紙を取り付けたサプライホルダーユニットを、サプライスタンドの前側のU字部に乗せ替えます。用紙ダンパーの透明板が後方に倒れていないか確認します。

- ⑬ **FEED** キーを押して20～30cm程紙送りし、正しく紙送りすることを確認します。



※初めて用紙をセットするとき、または交換前の用紙と異なるタイプ、異なる幅の用紙に交換するとき、取扱説明書の『用紙を取り付ける』をご覧ください。(→P.27～32)

MEMO

取扱説明書

テック ラベルプリンタ

B-857-TC35-CTY-R

東芝テック株式会社